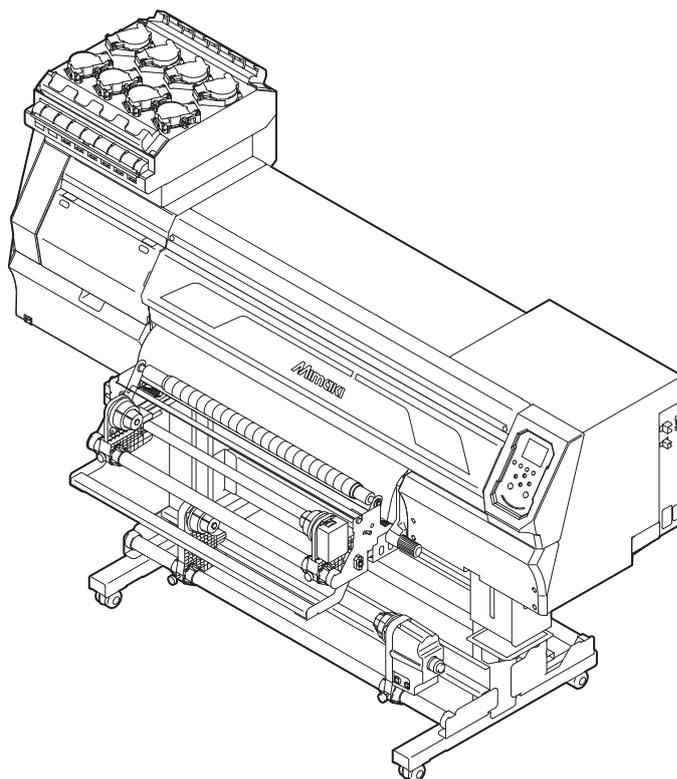


# Operation Manual

INKJET PRINTER

# UJV300DTF-75

## 取扱説明書



本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

<https://japan.mimaki.com/>

D203889-11

Original instructions

# 目次

はじめに .....	6
安全にお使いいただくために .....	7
シンボルマーク表示について .....	7
使用上の警告と注意 .....	8
インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意 事項.....	12
インク仕様 .....	14
インク消費有効期限に対する本機の制限について.....	15
設置上のご注意.....	16
設置スペース .....	17
本機を移設したいとき.....	17
安全インターロックについて .....	18
警告ラベル.....	19

## 第1章 ご使用の前に

1.1 各部の名称とはたらき.....	22
正面.....	22
背面/右側面 .....	23
キャリッジ.....	24
キャッピングステーション.....	24
ピンチローラーとグリットローラー .....	25
プラテン .....	25
インクステータスランプ .....	26
メディアセンサー .....	26
電源スイッチ .....	27
操作パネル.....	28
1.2 電源ケーブルを接続する .....	32
電源を入れる .....	33
電源を切る.....	34
1.3 本機とコンピューターを接続する.....	35
USBケーブルを使う .....	35
LANケーブルを使う.....	35
1.4 システム構成 .....	37
Mimakiドライバーをインストールする .....	38
RIP用ソフトウェアをインストールする .....	38
カラープロファイルを入手する .....	38
RIP用ソフトウェアを準備する.....	39
1.5 インクの交換方法.....	41
インクニアエンドが表示されたとき .....	41
インクエンドが表示されたとき .....	41
インクを交換する .....	42

## 第2章 プリントしてみる

2.1 プリントヘッドの高さを調整する.....	50
--------------------------	----

2.2 メディアをセットする.....	51
メディアについて .....	51
成果物と離型紙の巻き取りユニットについて .....	52
アプリケーションフィルムユニットについて .....	54
ロールメディアをセットする .....	55
2.3 テストプリントをする.....	67
テストプリントの配置方向を変更する.....	67
ホワイトインクの吐出を確認する .....	68
吐出不良について .....	68
2.4 ヘッドクリーニングをする.....	69
2.5 フィード補正をする .....	70
フィード補正の手順 .....	70
2.6 ドット位置補正をする.....	72
ドット位置補正の手順.....	72
2.7 RIPデータを準備する.....	74
2.8 プリントする .....	76
原点を変更する.....	76
プリントを開始する .....	76
プリントを中止する（データクリア） .....	78

### 第 3 章 各種設定

3.1 設定メニュー .....	80
3.2 メンテナンスメニュー.....	83
ノズルリカバリーを登録する .....	84
3.3 マシン設定メニュー .....	86
3.4 ノズルチェックメニュー .....	88
3.5 情報メニュー .....	89

### 第 4 章 メンテナンス

4.1 メンテナンスに関するご注意.....	92
------------------------	----

4.2 メンテナンスの方法 .....	93
メンテナンス項目とタイミング .....	93
インクのメンテナンス.....	95
ワイパーの清掃.....	95
キャップゴムの清掃 .....	98
NCUの清掃 .....	99
キャリッジ底面の清掃.....	99
ミストフィルターの清掃 .....	101
インク排出経路の洗浄 .....	102
メディアセンサーの清掃 .....	103
メディア押さえの清掃.....	104
ジャムセンサーの清掃.....	104
プラテンの清掃.....	105
カバー（外装）の清掃.....	106
ピンチローラーの清掃.....	106
圧着ローラー発泡材の位置確認と調整.....	109
長期間使用しないときは .....	110
4.3 消耗品の交換 .....	113
ワイパーの交換.....	113
キャップ吸収材の交換.....	114
ミストフィルターの交換 .....	116
排気ファンフィルターの交換 .....	117
ピンチローラーの交換.....	118
メディア押さえの交換.....	120
廃インクタンクの交換.....	122
インクボトルキャップの交換 .....	124

## 第5章 困ったときは

5.1 故障かな?と思ったときは .....	126
電源が入らない.....	126
プリントできない .....	126
メディア詰まり、メディアが汚れる .....	126
圧着が不十分 .....	126
画質不良が発生した .....	127
インクが漏れた.....	131
遮光カバーが外れてしまった .....	132
ピンチローラーのゴムがずれた .....	133
5.2 Aフィルム（糊付きフィルム）の粘着剤に関するトラブル .....	134
圧着ローラーの発泡材にAフィルム（糊付きフィルム）の粘着剤が付着した.....	134
カバー、キャリッジにAフィルム（糊付きフィルム）の粘着剤が付着した .....	135
Aフィルム（糊付きフィルム）の粘着剤の上でジャムが発生した... ..	136
5.3 メッセージを表示するトラブル .....	138
ワーニングメッセージ.....	138
インクエラー .....	140
エラーメッセージ .....	141
SYSTEM HALT .....	148

---

## 第 6 章 付録

6.1 仕様.....	150
6.2 LICENSE Library (EPL5 StarterWare).....	152

# はじめに

この度はUVインクジェットプリンター UJV300DTF-75をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、取扱説明書（以後、本書と称します）をよくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

本書で使用しているイラストは、機能や手順、操作の説明を目的としており、本機と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、Illustrator、Photoshop、およびPostScriptは、Adobe Incorporatedの米国ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

RasterLinkは、株式会社ミマキエンジニアリングの日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

その他本書に記載されている会社名、および商品名は各社の日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 2025 株式会社ミマキエンジニアリング

## ● 免責事項

- UJV300DTF-75（以後、本機と称します）の故障有無に関わらず、本機をお使いいただいたことによって生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機により作成された製作物に対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社推奨品以外の装置などを使用すると、火災、または本機の破損事故のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正インク、メンテナンス液をご使用ください。それ以外を使用すると、プリント品質の低下、本機の故障のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インクボトルのインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- UV-LEDユニット、UV電源装置は、弊社純正品以外は絶対に使用しないでください。弊社純正品以外を使用すると、本機の故障、感電、火災のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

## ● テレビ、ラジオの受信障害について



- 本機稼働中は、高周波が発生しています。不適切な条件下で使用した場合、テレビやラジオの受信障害が発生するおそれがあります。特殊なテレビやラジオに対して、保証しておりません。

テレビやラジオの受信障害が発生したら、本機の電源を切ってから、テレビやラジオの受信状態をご確認ください。電源を切って受信障害が解消すれば、本機が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせることで試してください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変えて、受信障害の発生しない位置を探してください。
- テレビやラジオは、本機から離れた場所に設置してください。
- テレビやラジオは、本機が接続している電源供給経路とは別のコンセントに接続してください。

## ● 電波障害自主規制

本機は、VCCIクラスA情報技術装置です。本機を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

# 安全にお使いいただくために

## シンボルマーク表示について

本書では、シンボルマーク表示により操作上の注意内容を説明しています。各マークの持つ意味を十分理解して、本機を安全に正しくお使いください。

内 容		
	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、または重傷のおそれがある内容を示しています。
	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷、または中程度の負傷のおそれがある内容を示しています。
	注記	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。
	一般警告	注意しなければならない事項を示しています。具体的な警告内容は、マークの中に描かれています。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な強制指示内容は、マークの中に描かれています。
	一般禁止	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は、マークの中に描かれています。
	重要	本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい事項を示しています。
	ヒント	知っておくと便利な事項を示しています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。

## 使用上の警告と注意

### ● 異常事態が発生したら

#### ⚠ 警告



- 万一、煙が出ていたり、変な臭いがしたりするなどの異常事態が発生したら、直ちに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのまま使用すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。煙が出なくなるのを確認してから、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

#### ⚠ 注意



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が皮膚に付着してしまったときは、直ちに布などでふき取ってください。そのあと石鹸を使用して、大量の水で洗い流してください。インクが付着したまま放置すると、皮膚が炎症をおこす原因になります。皮膚に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が目に入ってしまったときは、直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い流してください。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は、清浄な流水で15分以上洗い流したあとに外してください。また、まぶたの裏まで完全に洗ってください。インクが付着したまま放置すると、失明や視力が低下する原因になります。目に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が口に入ってしまったら、飲み込んでしまったりしたときは、無理に吐かせないで直ちにうがいをし、速やかに医師の診断を受けてください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ってしまうおそれがあります。
- 蒸気を大量に吸い込んでしまったときは、新鮮な空気のある場所に移動して、暖かくして呼吸しやすい姿勢で安静にしてください。症状が改善しない場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
- すぐに医師の診断を受けられない場合は、（財）日本中毒情報センター 中毒110 番に相談してください。  
（大阪）072-727-2499 24時間対応  
（つくば）029-852-9999 9～21時対応

#### 注記



- インクが漏れてしまったときは、すぐに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのあと、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

## ● 電源に関するご注意

## ⚠ 警告



- 付属の電源ケーブルを使用してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。なお、本機以外の電気機器には使用できません。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルが破損して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源プラグにホコリなどが付着したまま使用しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源プラグの刃に金属などが触れないようにしてください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルを傷つけたり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりしないでください。電源ケーブルが破損して、感電や火災につながるおそれがあります。
- 延長コードの使用やタコ足配線をしないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルの破損や芯線の露出、断線などが見られる場合は使用しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き挿ししないでください。感電のおそれがあります。

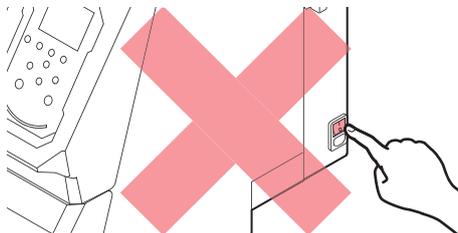


- 電源ケーブルのプラグは、接地（アース）極性付きのコンセントに接続してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- コンセントの増設には、感電事故防止のため接地（アース）工事が必要です。必ず電気工事士の免許を持った人が電気工事（C種接地工事（特別第3種接地工事））をしてください。

## 注記



- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 本機は指定された電源仕様で使用してください。
- 電源ケーブルは、必ず本機の近くにある電源コンセントに接続してください。また、電源プラグの刃を根元まで確実に挿し込んでください。
- 電源ケーブルを接続する際には、電源コンセントの入力電圧、ブレーカーの容量を確認してください。また、それぞれのケーブルはブレーカーが独立している別の電源に接続してください。同じブレーカーにつながっているコンセントに接続すると、ブレーカーが遮断する原因になります。

● 可動部に注意してください

⚠ 注意



- ・顔や手など体の一部を可動部に近づけないでください。また作業の妨げになるような服装（ダブついた服装、装飾品など）で、本機に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。



- ・長い髪の毛は束ねてください。ケガをするおそれがあります。

● 分解、改造はしないでください

⚠ 警告



- ・本機を分解したり、改造したりしないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

● 紫外線（UV）、UV-LEDユニットについて

⚠ 警告



- ・UV-LEDユニットの下に可燃物を置いたり、紙や布でUV-LEDユニットを覆ったりしないでください。発火や発煙のおそれがあります。
- ・UV-LEDユニットから、微量の紫外線が漏れてしまうことがあります。目や皮膚に紫外線を浴びないように、UV遮光メガネや遮光用フェイスシールド、マスク、手袋、長袖の服を着用してください。

- (1) 皮膚に紫外線を浴びると、炎症を起こすおそれがあります。炎症を起こさない場合でも、長期間、または反復暴露によって慢性障害に発展するおそれがあります。

- ・急性障害：炎症など
- ・慢性障害：皮膚がん、シワ、シミなど

- (2) 点灯中のライトを肉眼で見た場合、目の痛みや視力障害を起こすおそれがあります。目の痛みを起こさない場合でも、長期、または反復暴露によって慢性障害に発展するおそれがあります。

- ・急性障害：紫外線角膜炎、結膜炎、異物感、とう痛、涙が流れるなど
- ・慢性障害：翼状片、白内障など

⚠ 注意



- ・UV-LEDユニットは非常に高温になります。LEDが消灯して十分温度が下がるまで、手を触れないように注意してください。



- ・UV-LEDユニットの光を皮膚や目に直接、または間接的にあてないでください。UV-LEDユニットは、紫外線（UV）を発生させています。光を皮膚や目に紫外線を浴びると、炎症を起こすおそれがあります。



- ・必ず付属のUV遮光メガネを着用してください。目が痛くなったり、視力障害を起こしたりするおそれがあります。

## 注記



- UV-LEDユニットに無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。変形や故障の原因になります。
- UV-LEDユニットの下面についているガラスは、素手で触れないでください。UV インクの硬化が低下する原因になります。汚れが付着したときは、エタノールを含ませた清潔な柔らかい布で拭いてください。その際、カバーや他の部品にエタノールを付着させないように注意してください。変形や故障の原因になります。

## ● その他、使用上の警告と注意

## ⚠ 警告



- 本機に子供を近づけないでください。

## 注記



- クランプレバーが下がっている（メディアが保持されている）ときは、メディアを強く引っ張らないでください。本機が故障する原因になります。

重要!

- プリント済みメディアの保管状態（巻き取ったメディアの平置きによる荷重など）やメディアの種類によって、メディア裏面に裏移りしてしまうことがあります。事前にテストをして、裏移りしないかどうかを確認してください。

## ● 本機の廃棄について

## ⚠ 注意



- 販売店、またはサービス実施店にご相談ください。
- お客様自身で廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

# インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項

インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体の容器に、液体に関する注意書きが添付されています。よくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。



- 取り扱い前に必ず安全データシート（SDS）をご覧ください。 <https://japan.mimaki.com/supply/sds/>

## ⚠ 注意



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったおそれがあります。



- インクが入っているケースに強い衝撃を与えたり、激しく振り回したりしないでください。またインクを詰め替えないでください。インクが漏れて皮膚に付着したり、目や口の中に入ったおそれがあります。



- インクが入っているケースを分解しないでください。インクが漏れて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったおそれがあります。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

## 注記



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を直射日光が当たる場所に保管しないでください。
- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満している場所に保管しないでください。そのような場所に保管すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体は、他のプリンターで使用しないでください。故障の原因になります。



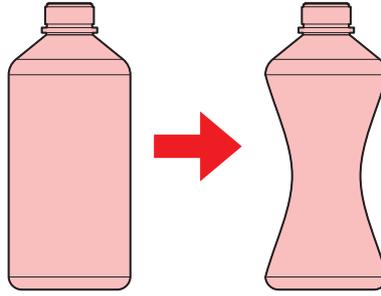
- 床から1m以内の低い場所に保管してください。落下したときに液体が飛散するおそれがあります。
- 密閉した状態で保管してください。
- 冷暗所で保管してください。
- (1) インクが凍結しない環境での保管をしてください。解凍したインクを使用すると、インクの成分が変質してプリント品質が低下するおそれがあります。
- (2) 寒い所から暖かい所に移したインクは、本機と同じ環境に3時間以上放置してから利用してください。
- (3) インクは使用直前に開封して、早めに使い切ってください。開封してから長時間経過したものは、プリント品質が低下するおそれがあります。



- インクICチップの金属部分には触れないでください。静電気でインクICチップが破損したり、汚れや傷などによってインクICチップが読み取りエラーになる原因になります。



- 種類の違うインクICチップでは、プリントすることができません。
- 本機にセットしているインクボトルがへこんでしまっても、使用上問題ありません。



## インク仕様

項目		内容
種類		専用UV硬化インク（弊社純正品）
カラー		シアン（C） マゼンタ（M） イエロー（Y） ブラック（K） ホワイト（W） クリアインク（CL）
形態		ボトル
インク容量		1,000 ml
消費有効期限		インクボトルに記載されているとおり。 ただし、開封後は消費有効期限内であっても3か月以内。
保存温度	保存時	5 - 30°C（1日の平均気温） ただし、30°Cの場合1か月以内 ・ 範囲を外れる場合、インクの品質が低下するおそれがある。
	輸送時	1 - 60°C ただし、60°Cの場合120 時間以内、40°Cの場合1か月以内 ・ 0°Cより低温になる場所、40°Cより高温になる場所は、できる限り避けること。 ・ 範囲を外れる場合、インクの品質が低下するおそれがある。

## インク消費有効期限に対する本機の制限について

例) 消費有効期限の記載が、20xx年4月の場合

- 同年5月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 同年6月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 同年7月：プリントすることができません。



- ディスプレイにメッセージを表示してお知らせします。



- インクの容器にインクの消費有効期限が記載されています。インクの消費有効期限を超えると、インクの吐出不良が生じたり、色みに変化を生じたりするおそれがあります。消費有効期限を超えてもプリントすることはできますが、新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ることをお勧めします。
-

# 設置上のご注意

## 警告



- 火気のある場所に本機を設置しないでください。
- 本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、化学薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。本機内部に浸入すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 湿気の多い場所や水のかかる場所に本機を設置しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 本機を子供が立ち入るおそれのある場所に設置しないでください。

## 注意



- 換気の悪い部屋、もしくは密閉された部屋に本機を設置する場合は、必ず換気装置を設けてください。
- 排気口施工については、必ず以下の内容をお守りください。
  - (1) 排気口の設置は、各国の地域のEHS（Environmental, Health and Safety）ガイドラインにしたがってください。
  - (2) 排気口に閉鎖弁などを設置した場合、本機使用中は必ず閉鎖弁を開けてください。

## 注記



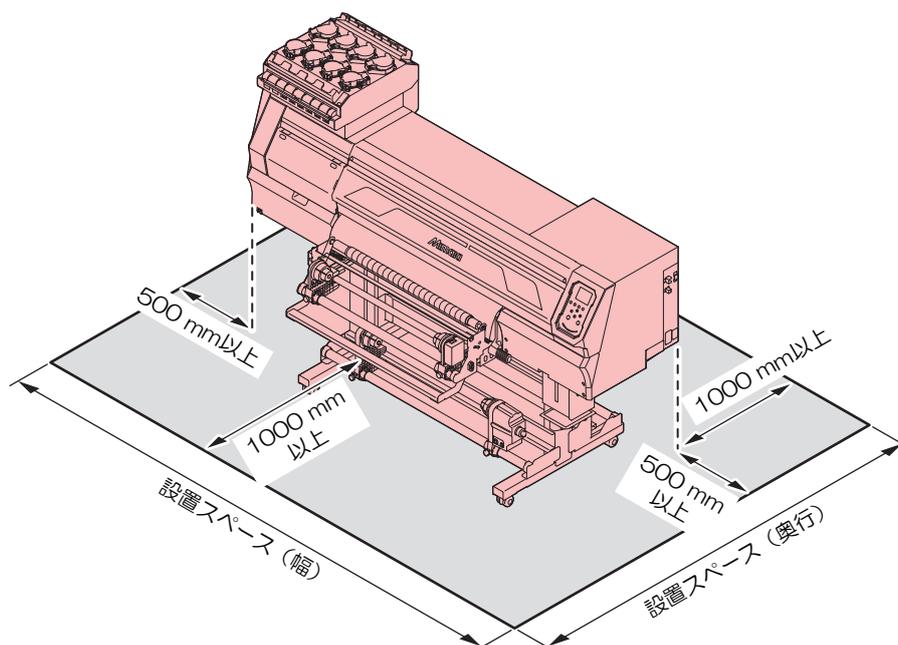
- ホコリや粉じんのある場所に本機を設置しないでください。本機の内部に浸入すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- エアコンなどの風が当たる場所に本機を設置しないでください。本機の内部にホコリや粉じんなどが浸入するおそれがあります。
- 不安定な場所や振動が発生する場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- 直射日光が当たる場所に本機を設置しないでください。
- 温度変化が激しい場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ノイズを発生する大型の機械が置いてある場所に本機を設置しないでください。
- 写真定着材の蒸気や酸性（酢酸、塩酸など）の気体が発生していたり、金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満してたりする場所に本機を設置しないでください。そのような環境下に設置すると、プリントヘッド表面のインクが固まり、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 動作可能環境：20~30 °C（68~86 °F）、35~65% Rh（結露なきこと）
- 精度保証温度：20~25 °C（68~77 °F）

## 設置スペース

メディアやインクの交換を安全に正しく行うためには、以下のスペースが必要です。



項目	UJV300DTF-75
幅 <sup>*1</sup>	3,090 mm以上 (2,090 mm)
奥行き <sup>*1</sup>	2,930 mm以上 (930 mm)
高さ <sup>*1, *2</sup>	(1,475 mm)
重量	180 kg

\*1. ( ) 内は、本機のサイズ

\*2. インクボトルの高さを除く

## 本機を移設したいとき

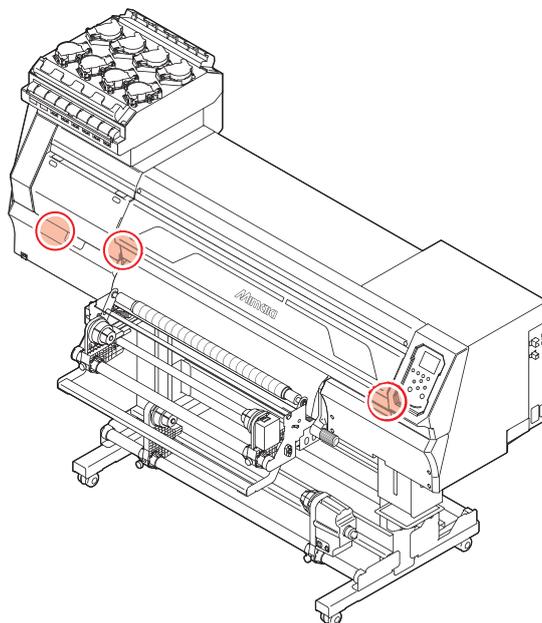
販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様が本機を移設すると、故障や破損のおそれがあります。

# 安全インターロックについて

本機は安全にご使用いただくため、インターロックが設置されています。

プリント実行中にカバーを開けるとプリントが中断されます。再度RIPデータの受信が必要になります。

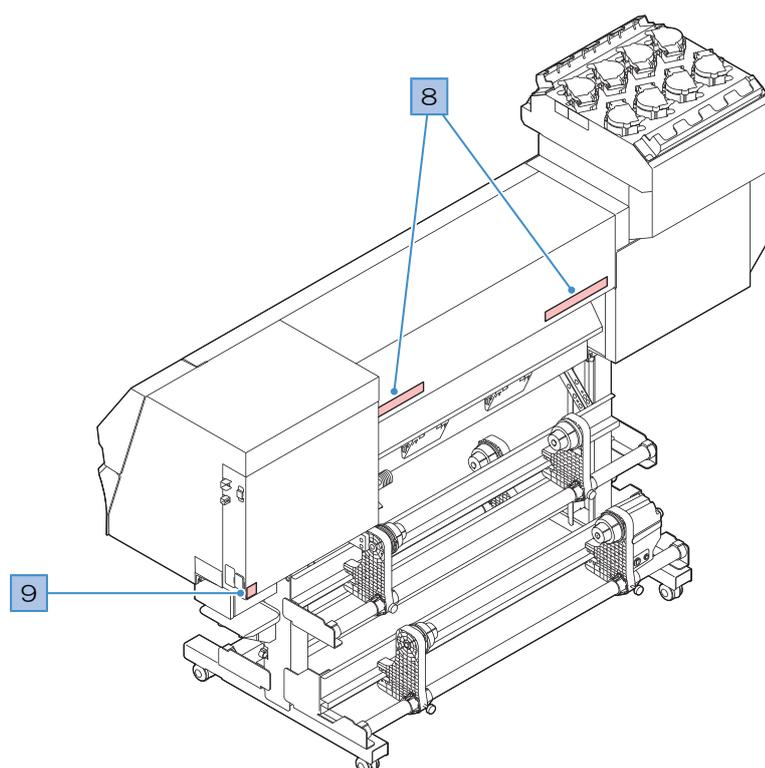
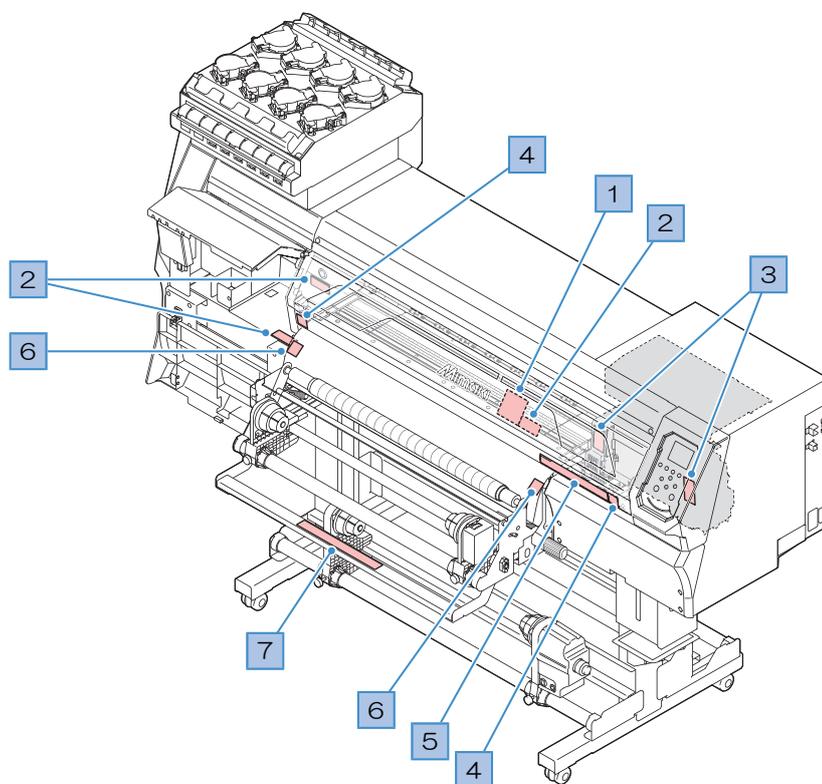
- インターロック設置場所

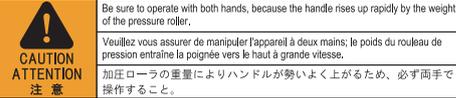


# 警告ラベル

警告ラベルの内容を十分理解してください。

警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれたりした場合は、販売店、またはお近くの弊社営業所で、新しい警告ラベルをお買い求めください。



No.	注文番号	ラベル	内容
1	M910931		カバーの開閉に注意してください。手を挟むとケガをするおそれがあります。
2	M903330		作業中に保護メガネや手袋を着用してください。
3	M913419		紫外線に注意してください。
4	M907833		危険な可動部を示しています。
5	M901607		カバーの開閉に注意してください。
6	M903239		高温部を示しています。
7	M913939		危険な可動部を示しています。
8	M905811		危険な可動部を示しています。
9	M907935		危険な電圧部を示しています。

# 第1章 ご使用前に



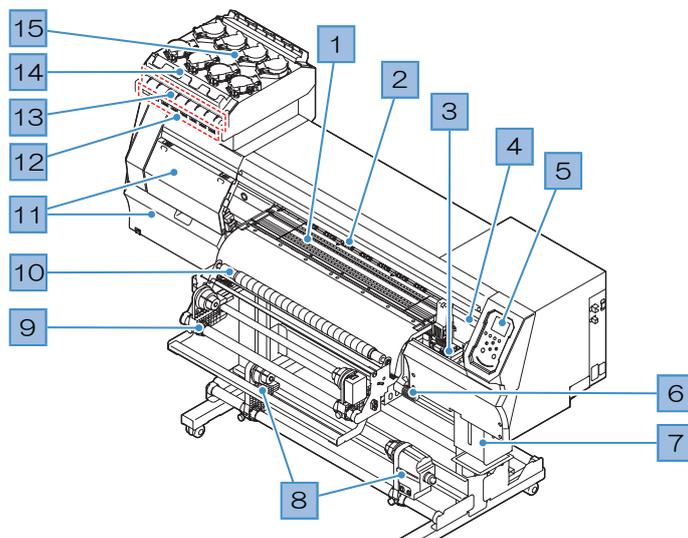
この章では...

各部の名称など、ご使用前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

各部の名称とはたらき.....	22	本機とコンピューターを接続する.....	35
正面.....	22	USBケーブルを使う.....	35
背面/右側面.....	23	LANケーブルを使う.....	35
キャリッジ.....	24	システム構成.....	37
キャッピングステーション.....	24	Mimakiドライバーをインストールする.....	38
ピンチローラーとグリットローラー.....	25	RIP用ソフトウェアをインストールする.....	38
プラテン.....	25	カラープロファイルを入手する.....	38
インクステータスランプ.....	26	RIP用ソフトウェアを準備する.....	39
メディアセンサー.....	26	インクの交換方法.....	41
電源スイッチ.....	27	インクニアエンドが表示されたとき.....	41
操作パネル.....	28	インクエンドが表示されたとき.....	41
電源ケーブルを接続する.....	32	インクを交換する.....	42
電源を入れる.....	33		
電源を切る.....	34		

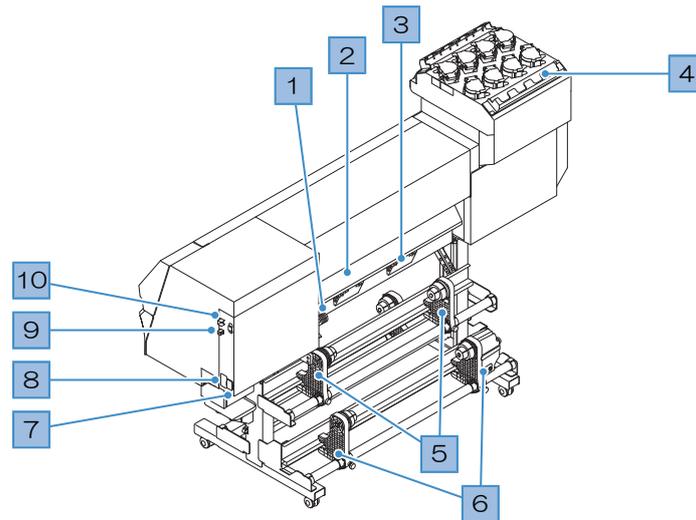
# 1.1 各部の名称とはたらき

## 正面



No.	名称	概要
1	プラテン	プリントするエリアです。☞ 「プラテン」 (P. 25)
2	ピンチローラー グリットローラー	ピンチローラーとグリットローラーでメディアを押さえてフィードしています。☞ 「ピンチローラーとグリットローラー」 (P. 25)
3	キャッピングステー ション	キャップやワイパー、プリントヘッドのノズル状態を監視するNCUなどで構成されています。☞ 「キャッピングステーション」 (P. 24)
4	キャリッジ	プリントヘッドやUV-LEDライト、ジャムセンサーなどで構成されています。☞ 「キャリッジ」 (P. 24)
5	操作パネル	各種設定や項目を表示するディスプレイ、操作キーが付いています。☞ 「操作パネル」 (P. 28)
6	クランプレバー (前)	クランプレバーを下げるとメディアが保持され、クランプレバーを上げるとメディアが開放されます。
7	廃インクタンク	廃インクを溜める容器です。☞ 「廃インクタンクの交換」 (P. 122)
8	巻き取りユニット	プリントされたロールメディアを巻き取ります。☞ 「成果物と離型紙の巻き取りユニットについて」 (P. 52)
9	アプリケーションフィ ルムユニット	Bフィルム (アプリケーションフィルム) の繰り出しから圧着までを行います。☞ 「アプリケーションフィルムユニットについて」 (P. 54)
10	圧着ローラー	プリント後のBフィルム (アプリケーションフィルム) を圧着します。
11	メンテナンスカバー	カバーを開けて、キャリッジ底面をメンテナンスします。カバーを開けた状態では、プリントやオートメンテナンス機能が実行できません。
12	インクICチップスロッ ト	インクボトルに付属しているICチップを挿し込みます。インクボトルの情報を管理しています。
13	インクステータスラン プ	インクの状態をランプでお知らせします。
14	インクふき取りフィル ター	インクボトルの専用キャップに付いたインク滴を吸い取るためのフィルターです。
15	インク供給ユニット	インクボトルを挿し込んで、プリントヘッドにインクを供給します。☞ 「インクの交換方法」 (P. 41)

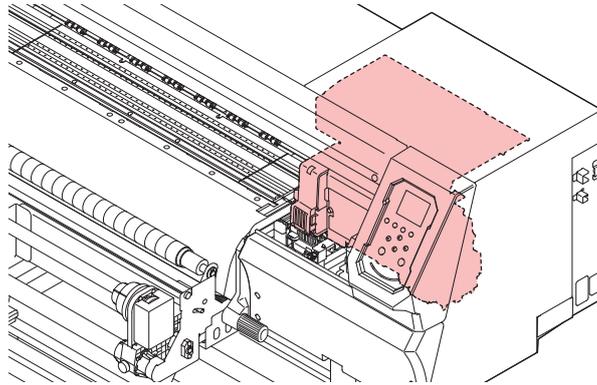
## 背面/右側面



No.	名称	概要
1	クランプレバー（後）	前面にあるクランプレバーと連動しています。
2	メディアセンサー	メディアの有無を感知しています。☞ 「メディアセンサー」 (P. 26)
3	メディア吸着ファン排気口	メディアを吸着するファンの排気口です。
4	インクふき取りフィルター	インクボトルの専用キャップに付いたインク滴を吸い取るためのフィルターです。
5	繰り出しユニット	プリントする前のロールメディアを取り付けます。2インチと3インチの紙管に対応しています。
6	離型紙巻き取りユニット	離型紙を巻き取ります。
7	ACインレット	付属されている電源ケーブルを接続します。☞ 「電源ケーブルを接続する」 (P. 32)
8	主電源スイッチ	本機の主電源です。プリントヘッドの吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）を防止するため、主電源は切らないでください。☞ 「電源を入れる」 (P. 33) ☞ 「電源を切る」 (P. 34)
9	LANポート	ネットワーク機能をお使いになるときに使用します。☞ 「LANケーブルを使う」 (P. 35)
10	USBポート	USBインターフェイスケーブルでコンピューターと接続します。☞ 「USBケーブルを使う」 (P. 35)

## キャリッジ

キャリッジは、インクを吐出するプリントヘッド、UVインクを硬化するUV-LEDライトとメディアが詰まったときにキャリッジを停止させるジャムセンサーなどで構成されています。左右にスキャンしながらインクを吐出して、プリントしています。

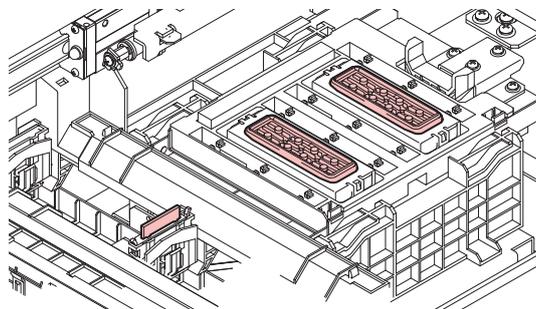


- 必ず付属のUV遮光メガネを着用してください。目が痛くなったり、視力障害を起こしたりするおそれがあります。

## キャッピングステーション

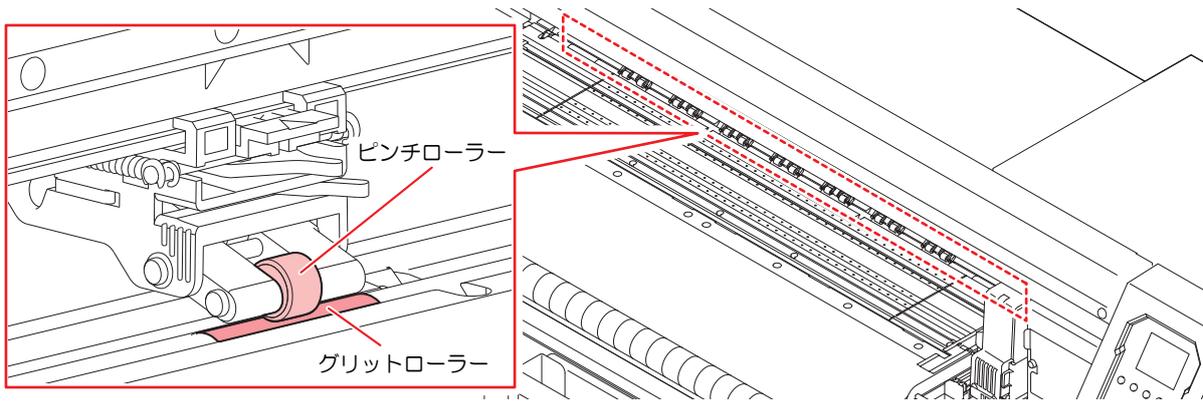
キャッピングステーションは、プリントヘッドのノズル面の乾燥を防止するキャップやプリントヘッドのメンテナンスに必要なワイパー、プリントヘッドのノズル状態を監視するNCUなどで構成されています。

NCU (Nozzle Check Unit) は、ノズル詰まりがあるかどうかを自動でチェックするユニットです。各種機能を設定すれば、プリントヘッドの自動クリーニングや別のノズルを使ってプリントさせることができます。☞ 「ノズルチェックメニュー」 (P. 88) ☞ 「ノズルリカバリーを登録する」 (P. 84)



## ピンチローラーとグリットローラー

ピンチローラーとグリットローラーで押さえて、メディアをフィードしています。

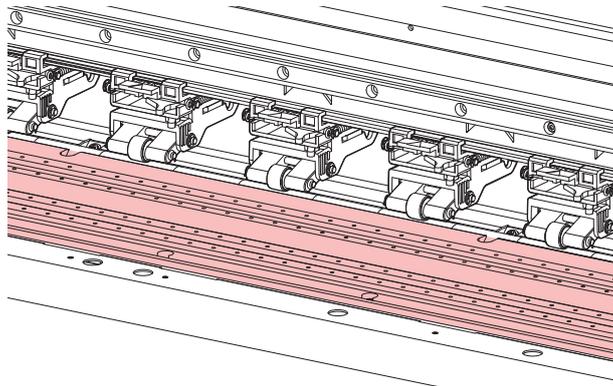


本機を使用しないときは、クランプレバーを上げてピンチローラーとグリットローラーを離してください。

- ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常にフィードできなくなるおそれがあります
- メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチローラー跡が残る原因になります。

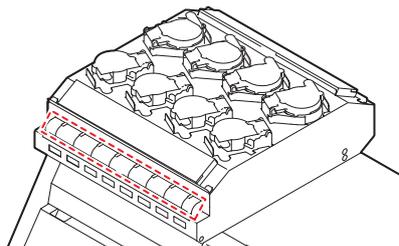
## プラテン

プリントするエリアです。プラテンは、メディアを吸着してメディアの浮きを抑えています。



## インクステータスランプ

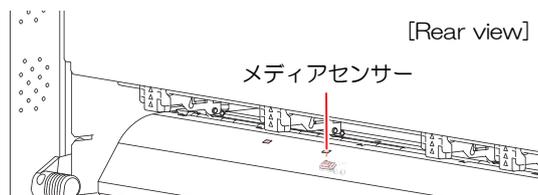
インク供給ユニットのランプで、インクの状態を確認することができます。



色	状態	概要
-	消灯	異常なし
青	点灯	インク供給中（異常なし）
黄	点灯 点滅	次のいずれかのエラーが発生しています。プリントすることは可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インクニアエンド</li> <li>・ インク期限切れ（1か月）</li> </ul>
赤	点灯	次のいずれかのエラーが発生しています。プリントすることができません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インクエンド</li> <li>・ インクICチップが挿入されていない</li> <li>・ その他のインクエラー</li> </ul>
	点滅	プリントすることができません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インク期限切れ（2か月）</li> </ul>

## メディアセンサー

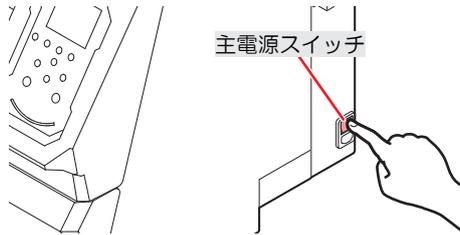
メディアセンサーは、メディアの有無を検出しています。メディアがセンサーを覆い隠していると、メディア幅を検出することができます。



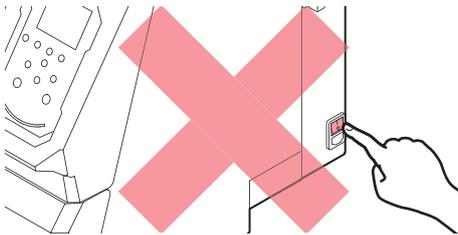
## 電源スイッチ

### ● 主電源スイッチ

本機の右側面にあります。

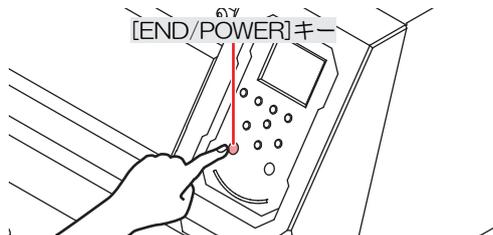


- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



### ● [END/POWER]キー

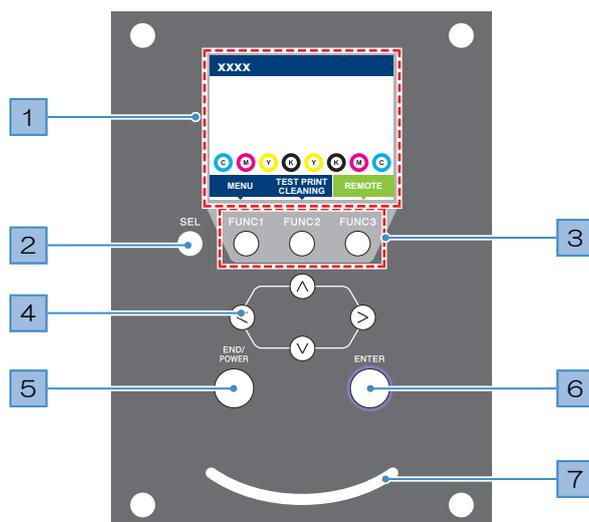
通常の電源オン/オフは、[END/POWER]キーを使用します。



- 正面カバーとメンテナンスカバーを閉じてください。カバーが開いていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）や故障の原因になります。

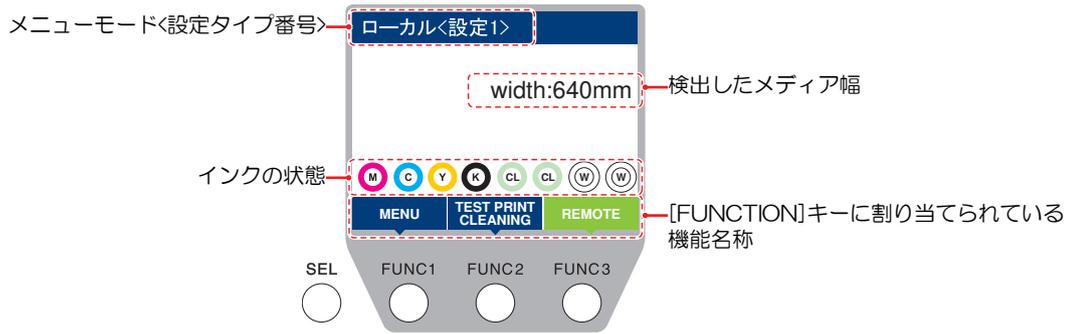
## 操作パネル

設定や各種操作をすることができます。



No.	名称	概要																
1	ディスプレイ	☞ 「ディスプレイ」 (P. 29)																
2	[SEL]キー	[FUNCTION]キーの機能を切り替えます。																
3	[FUNCTION]キー	テストプリントしたり、ヘッドクリーニングしたり、各種設定などしたりするときに使用します。☞ 「[FUNCTION]キー」 (P. 30)																
4	[JOG]キー ▲▼◀▶	キャリッジを移動したり、メディアをフィードしたり、各種設定の項目選択したりするときに使用します。																
5	[END/POWER]キー	直前に入力した設定をキャンセルしたり、設定メニューを1つ前の階層に戻したり、また電源をオン/オフしたりするときに使用します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>電源がオンのときは、青色に点灯しています。☞ 「電源を入れる」 (P. 33)</li> <li>電源をオフにしたいときは、長押ししてください。☞ 「電源を切る」 (P. 34)</li> </ul>																
6	[ENTER]キー	次の階層メニューに移動したり、設定を確定したりするときに使用します。また、本機の情報を表示させることができます。☞ 「本機の情報を表示する (ローカルガイダンス)」 (P. 31)																
7	ステータスランプ	本機の状態をランプでお知らせします。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">消灯</td> <td></td> <td>ローカルモードの状態です。テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定することができます。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">水色</td> <td style="text-align: center;">点灯</td> <td>リモートモードの状態です。プリントデータを受信するために、スタンバイしています。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">点滅</td> <td>プリント中です。テストプリントなど、本機に内蔵しているパターンをプリントしているときも点滅します。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">青色</td> <td style="text-align: center;">点灯</td> <td>プリントしていないデータが残っています。リモートモードに移行して、プリントしてください。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">赤色</td> <td style="text-align: center;">点滅</td> <td>エラーが発生しています。エラー一覧を参照して対処してください。☞ 「エラーメッセージ」 (P. 141)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">点灯</td> <td>システムエラー (SYSTEM HALT) が発生しています。コールセンターにお問い合わせください。☞ 「SYSTEM HALT」 (P. 148)</td> </tr> </table>	消灯		ローカルモードの状態です。テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定することができます。	水色	点灯	リモートモードの状態です。プリントデータを受信するために、スタンバイしています。	点滅	プリント中です。テストプリントなど、本機に内蔵しているパターンをプリントしているときも点滅します。	青色	点灯	プリントしていないデータが残っています。リモートモードに移行して、プリントしてください。	赤色	点滅	エラーが発生しています。エラー一覧を参照して対処してください。☞ 「エラーメッセージ」 (P. 141)	点灯	システムエラー (SYSTEM HALT) が発生しています。コールセンターにお問い合わせください。☞ 「SYSTEM HALT」 (P. 148)
消灯		ローカルモードの状態です。テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定することができます。																
水色	点灯	リモートモードの状態です。プリントデータを受信するために、スタンバイしています。																
	点滅	プリント中です。テストプリントなど、本機に内蔵しているパターンをプリントしているときも点滅します。																
青色	点灯	プリントしていないデータが残っています。リモートモードに移行して、プリントしてください。																
赤色	点滅	エラーが発生しています。エラー一覧を参照して対処してください。☞ 「エラーメッセージ」 (P. 141)																
	点灯	システムエラー (SYSTEM HALT) が発生しています。コールセンターにお問い合わせください。☞ 「SYSTEM HALT」 (P. 148)																

## ディスプレイ



### メニューモード

4つのメニューモードがあります。

名称	概要
ローカルモード	テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定します。
リモートモード	コンピューターから受信したプリントデータをプリントします。
メニューモード	ローカルモード画面から[MENU]を押すと、メニューモードになります。各種機能を設定します。
ノットレディモード	メディアを検出する前の状態です。

### インクの状態

インクの残量やエラーなど、インクボトルの状態がアイコンで表示されます。

アイコン	概要
	インクの残量を9段階のアイコンでお知らせします。
	フル    1/8消費    1/4消費    3/8消費    1/2消費    5/8消費    3/4消費    7/8消費
	インクニアエンドになると表示されます。インクの残りがわずかになっていきますので、新しいインクを準備してください。
	プリントすることができません。インクエンドやインクエラーになると表示されます。☞ 「インクエラー」 (P. 140)
	インクの消費有効期限が切れる则表示されます。新しいインクに交換する、もしくは早めを使い切ってください。プリントすることは可能です。☞ 「インク消費有効期限に対する本機の制限について」 (P. 15)

**[FUNCTION]キー**

[FUNCTION]キーに割り当てられている機能と役割を説明します。

アイコン	概要
	各種メニュー画面を表示します。☞ 「各種設定」 (P. 79)
	テストプリント、クリーニングなどのメンテナンス画面を表示します。
	ローカルモードからリモートモードに移行します。
	フィード補正、ドット位置補正などの調整画面を表示します。
	受信データをクリアします。
	リモートモードからローカルモードに移行します。
	各種メニュー画面で、前の画面へ移動します。
	各種メニュー画面で、次の画面へ移動します。
	メッセージが表示された場合など、確認画面を終了します。
	各種機能を無効にします。
	機能が割り当てられています。設定や機能を表示します。
	複数ある項目の有効/無効を切り替えます。

## 本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）

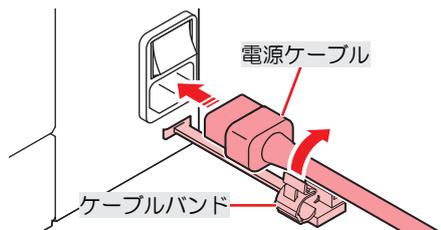
---

ローカルモード画面で[ENTER]キーを押すごとに、以下の情報を表示させることができます。

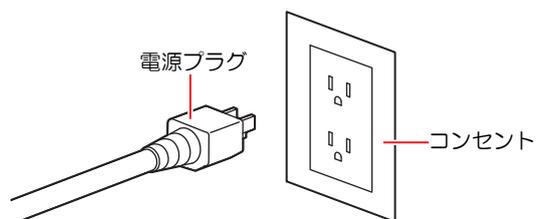
- インク情報：インク種類、インク残量、インクエラーが表示されます。
- インクICチップ登録情報：インクICチップの登録されている情報が表示されます。
- ワーニング：発生しているすべてのワーニングが表示されます。
- 情報：メディア幅、ヘッド高さ、本機シリアルNo.、ファームウェアバージョン、コマンドバージョン、LAN 接続状態が表示されます。
- ノズルチェック：ノズルチェックで検出したノズル詰まりしているノズル数が表示されます。

## 1.2 電源ケーブルを接続する

- 1 主電源が切れているかどうかを確認する。
- 2 本機にケーブルバンドを挿し込む。
- 3 本機のインレットに電源ケーブルを挿し込む。
- 4 ケーブルバンドに電源ケーブルを固定する。
  - ・ クランプに電源ケーブルを通して、「カチッ」と音がするまでクランプしてください。



- 5 コンセントに電源プラグを挿し込む。



- ・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

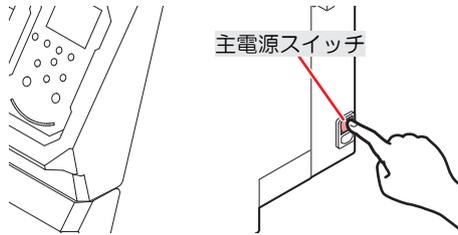
## 電源を入れる



- 正面カバーとメンテナンスカバーを閉じてください。カバーが開いていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）や故障の原因になります。

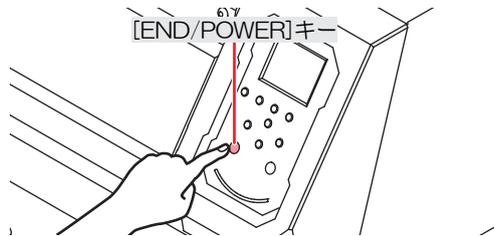
### 1 主電源が入っていることを確認する。

- 主電源が入っていない場合は、主電源を「I」側に倒します。



### 2 [END/POWER]キーを押して、電源を入れる。

- ディスプレイにファームウェアのバージョンが表示されて、初期動作が実行されます。そのあと、ローカルモードになって本機を使用することができます。



### 3 接続しているコンピューターの電源を入れる。

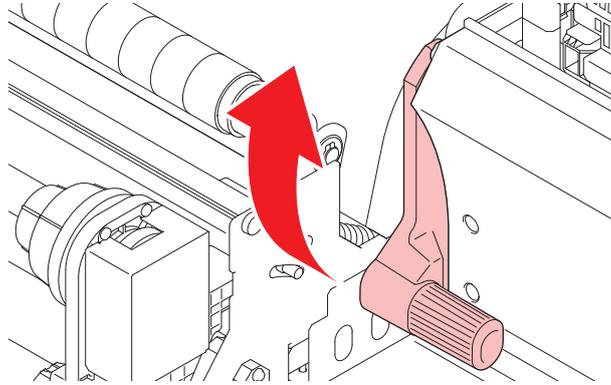
## 電源を切る



電源を切る前に以下の項目を確認してください。

(1) クランプが上がっていること。

- クランプレバーを使って、クランプを上げてください。クランプが下がったまま電源を切ろうとすると、エラーメッセージが表示されます。



(2) 正面カバーやメンテナンスカバーが閉じていること。

- カバーが開いていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。

(3) キャッピングステーションにキャリッジが戻っていること。

- プリントヘッドのノズル面が乾燥して、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

(4) データを受信していないこと。

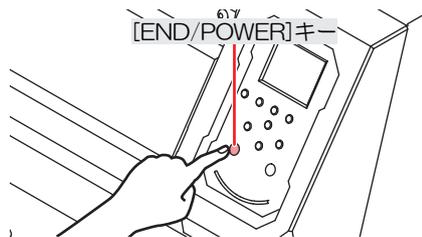
(5) エラーが発生していないこと。

- 「メッセージを表示するトラブル」 (P. 138)

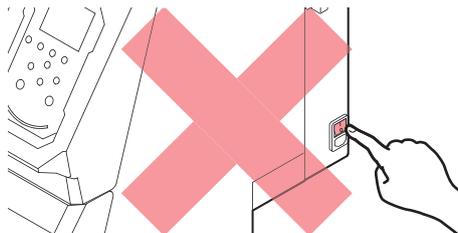
**1** 接続しているコンピューターの電源を切る。

**2** [END/POWER]キーを長押しする。

- 電源OFF確認画面が表示されます。[ENTER]キーを押すと、電源が切れます。



- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



## 1.3 本機とコンピューターを接続する

### USBケーブルを使う

USBインターフェースケーブルを使って、本機とコンピューターを接続します。



- データ転送中は、ケーブルを抜いたり挿したりしないでください。



- コンピューターにUSBポートが付いていない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

### USB接続についての注意事項

#### ● 1台のコンピューターに複数のUJV300DTF-75を接続する場合

UJV300DTF-75を正常に認識できないおそれがあります。

複数のUSBポートが付いているコンピューターの場合は、他のUSBポートでも本機を認識できるかどうかを確認してください。USBポートを挿し替えても認識しない場合は、市販のUSBアクティブリピーターケーブルを使用してください。

#### ● USBケーブルを延長する場合

市販のUSBアクティブリピーターケーブルを使用してください。ただし、USBケーブルとUSBアクティブリピーターケーブルの総距離が、20m以下になるようにしてください。

USBケーブルで延長した場合、本機へのデータ転送速度が遅くなって、プリント中にキャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります。

#### ● USBハイスピードモードの周辺機器について

本機を接続しているコンピューターにUSBハイスピードモードの周辺機器（USBメモリ、USB-HDDなど）を接続しても認識できないおそれがあります。また、外付けのUSBハードディスクドライブなどを接続すると本機へのデータ転送速度が遅くなって、プリント中にキャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります。

#### ● USBメモリーの抜きかた

本機を接続しているコンピューターからUSBメモリーを抜く場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。[ERROR \*\*コマンドエラー] 発生の原因になります。

### LANケーブルを使う

LANケーブルを使って、本機とコンピューターを接続します。カチッと音がするまでLANケーブルを挿し込んでください。



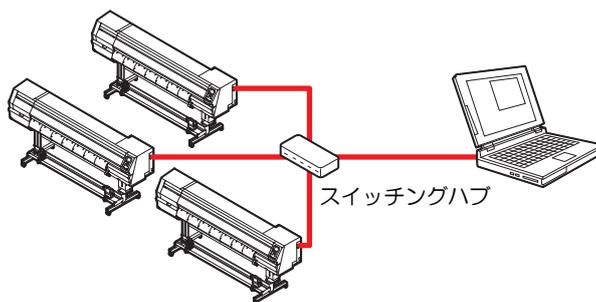
- データ転送中は、ケーブルを抜いたり挿したりしないでください。

#### ● イーサネット経由で接続するときの注意事項

イーサネットを以下の環境で構築してください。環境が適正でないとプリントすることができません。

- カテゴリー6または、カテゴリー6AのLANケーブルを使用してください。
- 本機とプリントデータを転送するコンピューターは、同じイーサネットに設定してください。ルーターを経由した接続はできません。

- 1000BASE-T対応のコンピューター、スイッチングハブを使用してください。未対応の場合はプリントすることができません。



## ● LAN接続確認方法

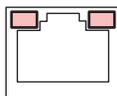
### 1 本機のディスプレイを確認する。

- ローカルガイドンスで確認することができます。☞ 「本機の情報を表示する（ローカルガイドンス）」（P.31）
- “100Mbps”、“10Mbps”、“接続なし”と表示されている場合は、プリントすることができません。



### 2 LANコネクターのランプを確認する。

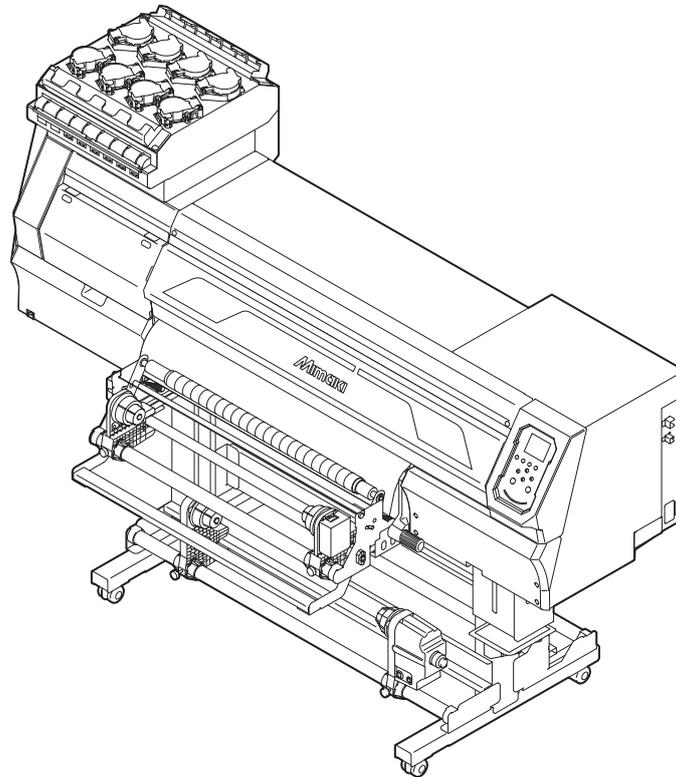
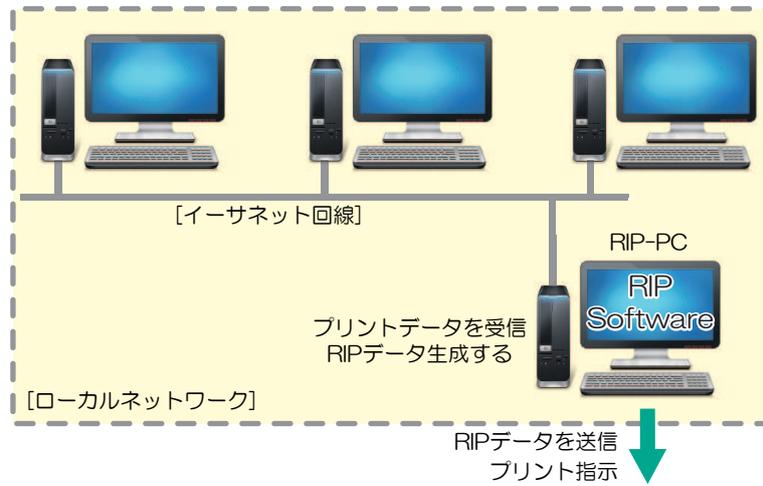
- 本機が起動しているとLANコネクターのランプが点灯します。



色	状態	概要
緑	点灯	1000BASE-Tで接続されています。
	消灯	1000BASE-T以外で接続されています。 ・ 橙ランプだけが点灯、もしくは点滅している場合、1000Mbpsに対応していません。コンピューターや周辺機器、ケーブルの仕様を確認してください。
橙	点灯	リンクアップ（接続されています）。
	点滅	データを受信中です。
	消灯	リンクダウン（接続されていません）。

## 1.4 システム構成

IllustratorやPhotoshopなどのアプリケーションで作成したプリントデータを、RIP用ソフトウェアを使ってプリントの指示をします。



## Mimakiドライバーをインストールする

### 1 弊社ウェブサイトから、Mimakiドライバーをダウンロードする。

- <https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html>  
[UJV300DTF-75] > [ドライバ/ユーティリティ]

### 2 MIMAKIドライバーをインストールする。

## RIP用ソフトウェアをインストールする

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。

### 1 “RasterLink”をインストールする。

- インストールされている場合は、コンピューターのデスクトップ上に以下のアイコンが表示されています。



- 詳しくは、“RasterLink”のインストールガイドをご覧ください。<https://japan.mimaki.com/download/software.html>



- インストールしたあとに、RasterLinkのライセンス認証を完了させてください。“プロフィールアップデート”を起動することができません。

## カラープロファイルを手りする

メディアやインクセットによって、プリント品質（色み、にじみなど）が、変わってしまいます。メディアやインクセットに合ったカラープロファイルを選択することで、プリント品質を一定に保つことができます。

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。

### 1 “プロフィールアップデート”を起動する。

- (1) スタートメニューから、[Mimaki RasterLink7] > [プロフィールアップデート]を選択する。
- (2) [次へ]をクリックする。

### 2 お使いのUJV300DTF-75を選択する。

- お使いのインクセットとインク種にチェックを入れて、[次へ]をクリックしてください。





- ・ [+]ボタンを展開すると、インクの種類を選択することができます。

### 3 必要な解像度とメディア材質を選択して、[次へ]をクリックする。

### 4 カラープロファイルをダウンロードする。

- (1) ご使用するメディアや解像度に合った、カラープロファイルにチェックを入れる。



- (2) [次へ]をクリックする。

- ・ ここでダウンロードしたプロファイルは、RasterLinkを起動したときにインストールされます。

### 5 [完了]をクリックする。

- ・ "プロファイルアップデート"が終了します。



- ・ 詳しくは、"RasterLink"のインストールガイドをご覧ください。 <https://japan.mimaki.com/download/software.html>



- ・ 弊社ウェブサイトからも、最新版のカラープロファイルをダウンロードすることができます。ダウンロードしたプロファイルは、プロファイルマネージャーを使ってインストールすることができます。

<https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html>  
[UJV300DTF-75] > [プロファイル]

## RIP用ソフトウェアを準備する

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。

### 1 "RasterLink"を起動する。

- ・ [プリンタ管理]画面が表示されます。
- ・ 新たに機種を追加したいときは、"RasterLink"を起動した後に、[環境設定] > [プリンタ管理]から、登録することができます。

## 2 UJV300DTF-75を登録する。

(1) [追加]をクリックする。



(2) UJV300DTF-75の情報を設定する。



- モデル名：モデルを選択
  - 出力ポート：接続しているケーブルを選択
  - カラー：充填されているインクセットを選択
  - 接続可能プリンタ：接続しているUJV300DTF-75を選択
  - プリンタ名：任意の名称を入力
- (3) [OK]をクリックする。
- 確認画面が表示されます。
- (4) [はい]をクリックする。
- プリンターの登録が開始されます。



- 詳しくは、"RasterLink"のインストールガイドをご覧ください。 <https://japan.mimaki.com/download/software.html>

## 1.5 インクの交換方法

### インクニアエンドが表示されたとき

インクの残量が残りわずかになっています。早めに新しいインクボトルに交換することをお勧めします。プリントすることはできますが、クリーニングや連続でプリントすることができません。またプリント中にインクがなくなるおそれがありますので注意してください。

ローカルモード画面で[ENTER]キーを押すと、交換が必要なインクボトルを確認することができます。☞ 「本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）」（P. 31）

### インクエンドが表示されたとき

インクがなくなりました。新しいインクボトルに交換してください。

以下をよくお読みいただき、十分に理解してからインクを交換してください。

☞ 「インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項」（P. 12）



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



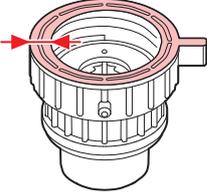
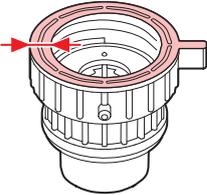
#### ● クリア、ホワイトインクについて

使用できるクリア、ホワイトインクの種類は、セットされているインクタイプによって異なります。以下の組み合わせ以外は使用できませんので、ご注意ください。

セットされているインクタイプ	クリア、ホワイトインクタイプ
ELS170インク	ELH100インク

#### ● インクキャップについて

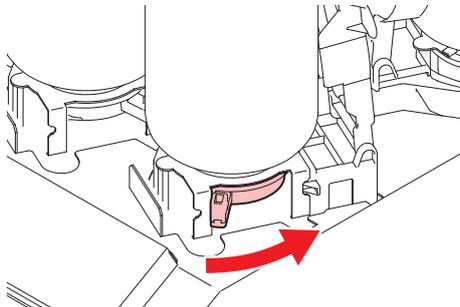
使用できるクリアキャップの種類は、インクタイプによって異なります。以下の組み合わせ以外は使用できませんので、ご注意ください。

インクタイプ	キャップタイプ
<ul style="list-style-type: none"> <li>LH100インク</li> <li>LUS120インク</li> <li>LUS350インク</li> <li>プライマーインク</li> </ul>	【キャップB】 
<ul style="list-style-type: none"> <li>ELH100</li> <li>ELS170</li> </ul>	【キャップB】 

## インクを交換する

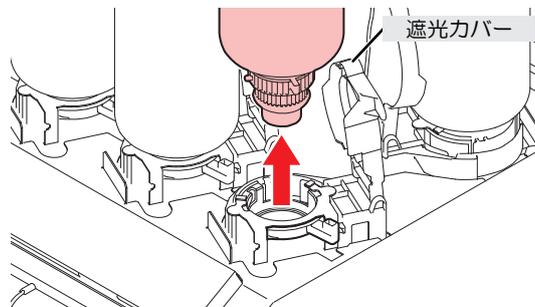
### ● インクボトルを外す

1 タンク部のレバーを左から右端まで回す。



・ インクボトルを絶対に回さないでください。インクが漏れるおそれがあります。

2 インクボトルを垂直に持ち上げる。

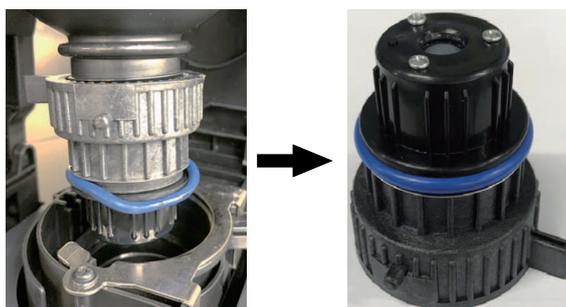


・ インクボトルを外したときに、遮光カバーが閉まっていることを確認してください。遮光カバーが開いているときは手で閉めてください。遮光カバーを開いたまま放置するとインクが硬化して、故障の原因になります。

・ インクボトルからのインク漏れに注意してください。

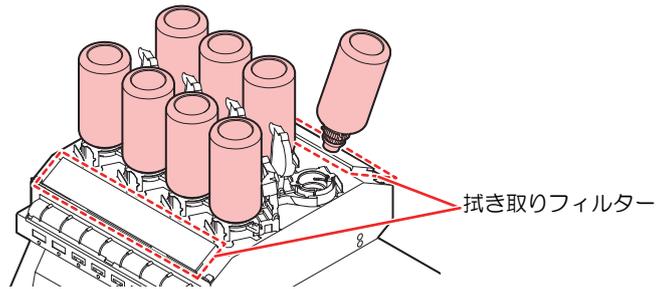


・ インクボトルを外したときに、ボトルキャップに付いているOリングが外れてしまうことがあります。Oリングが外れてしまったときは、元の状態に戻してください。



**3** 専用キャップに付着しているインク滴を吸い取る。

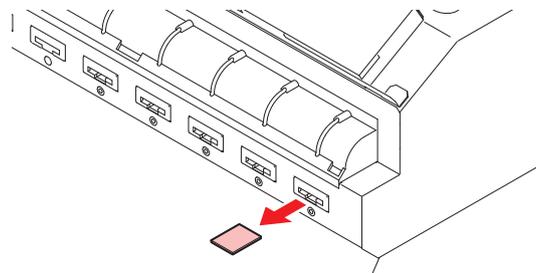
- ・ インク滴がたれない程度に拭き取りフィルターを使って吸い取ります。

**4** 専用キャップに付着しているインクを紙タオルなどで拭き取る。

- ・ ボトルキャップに不織布の欠片やホコリなどの異物が付着していないかどうかを確認してください。異物が付いたまま使い続けると、インク経路に異物が詰まって、インクが漏れてしまう原因になります。

**5** インクボトルから専用キャップを外す。

- ・ 専用キャップが外しづらいときは、締め付け治具を使って取り外してください。

**6** インクICチップを外す。

## ● インクボトルを準備する

**1** インクボトルを20回以上ゆっくりと左右に振る。

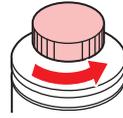
- ・ インクボトルのフタをしっかりと締めて、推奨の不織布でインクボトルのフタを押さえて、インクを流すように左右に振ってください。





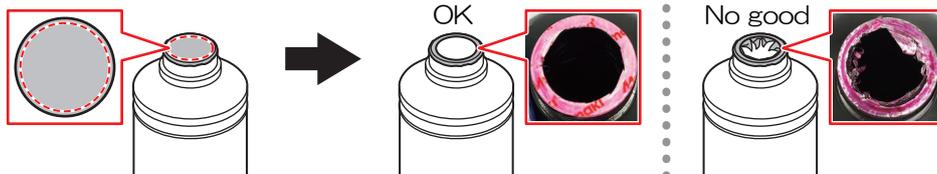
- ゆっくりと振ってください。強く振るとインクが漏れたり、インクの中に空気が入り込んでノズル詰まりになったりするおそれがあります。
- 使いかけのインクボトルの場合は、インクボトルが縦になるまで傾けてゆっくりと振ってください。

## 2 インクボトルのフタを外す。



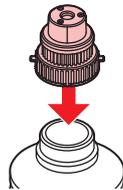
**重要!** インクボトルの口元にシールが付いている場合

- カッターなどを使って、シールを丸く切り取ってください。切り残しがあると、インクが漏れる原因になります。



- インクボトルの口元を傷付けないでください。傷が付いた部分から、インクが漏れるおそれがあります。
- シールの破片をインクボトル内に落とさないように注意してください。シールの破片がボトル内に入ったまま使用すると、ボトルキャップに詰まってインクが供給できなくなるおそれがあります。

## 3 インクボトルに専用キャップをセットする。

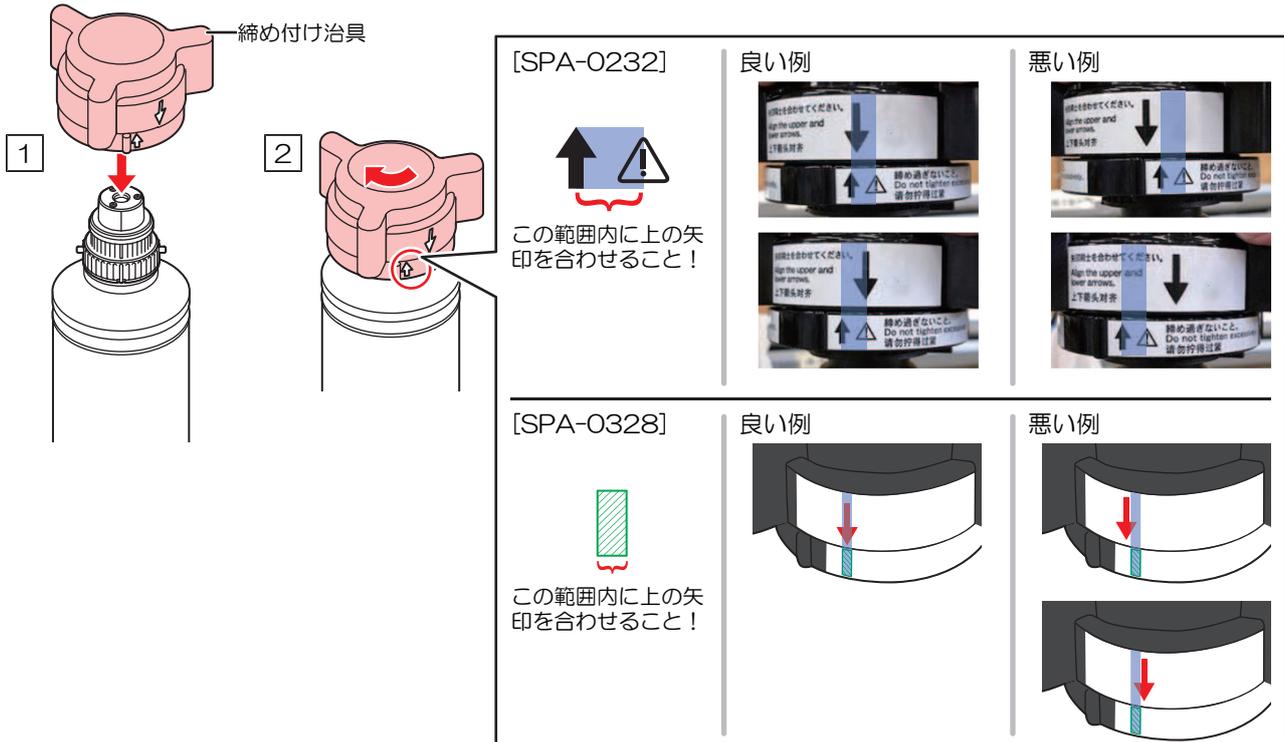


- インクボトルやボトルキャップにインクやメンテナンス液が付着しているときは、インクを拭き取ってください。ボトルキャップが空回りしてインクが漏れる原因になります。



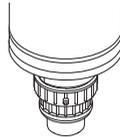
- ボトルキャップに紙タオルの欠片やホコリなどの異物が付着していないかどうかを確認してください。異物が付いたまま使い続けると、インク経路に異物が詰まってインクが漏れる原因になります。

#### 4 締め付け治具を使って、専用キャップを締める。



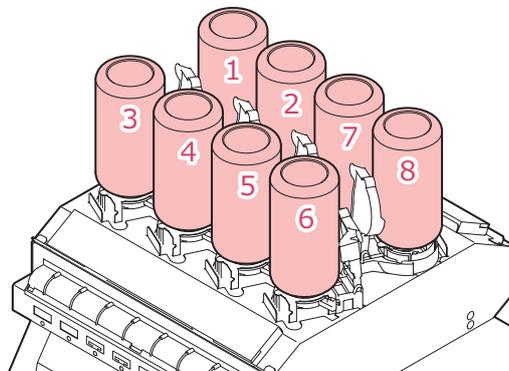
- ボトルキャップを締めすぎないでください。破損したり、空回りしたり、インクが漏れたりするおそれがあります。上記の範囲を超えた場合は、一度ボトルキャップを緩めてから、やり直してください。
- ボトルキャップを取り付けたまま、インクボトルを長時間放置しないでください。インクが硬化してしまう原因になります。

#### 5 インクボトルを逆さにして、インクが漏れないかどうかを確認する。



#### ● インクボトルをセットする

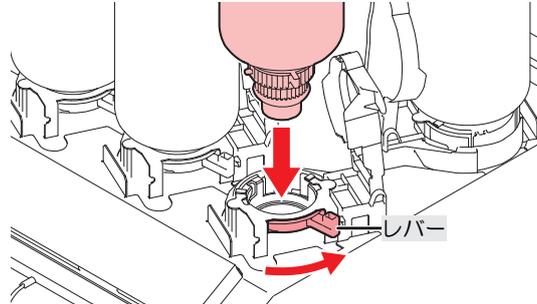
お使いになるインクセットによって、セットするインクボトルの順番が異なります。インクスロットの番号を確認してから、正しい色のインクボトルを挿し込んでください。



インクセット	インク配置							
	1	2	3	4	5	6	7	8
4-color, W, CL	C	M	Y	K	CL	CL	W	W

## 1 インクボトルをセットする。

- レバーを左から右端まで回してから、インクボトルをセットしてください。



- ボトルキャップのOリングにメンテナンス液を塗布すると、インクボトルが入りやすくなります。メンテナンス液は使用中のインクに対応したものを使用してください。



## 2 右から左端までレバーを回して固定する。

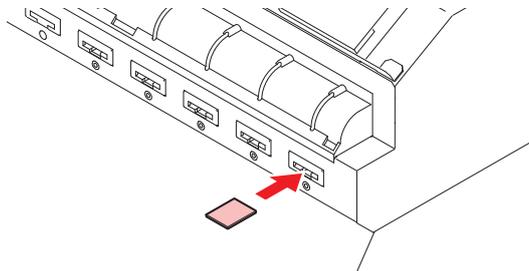


- インクボトルを絶対に回さないでください。インクが漏れるおそれがあります。



- 一度セットしたインクは使い切ってください。

## 3 インク供給ユニットの挿し込み口に新しいインクICチップを挿し込む。

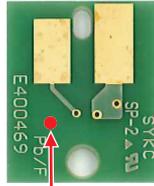


- インクICチップは金属が付いている面を上に向けて挿し込んでください。方向を間違えて挿し込むと、本機が故障したり、インクICチップが破損したりするおそれがあります。



- インクICチップの金属部分には触れないでください。静電気でインクICチップが破損したり、汚れや傷などによってインクICチップが読み取りエラーになる原因になります。

- インクICチップについて  
インクICチップのマークは、色情報を示しています。



マーク位置

インクカラー	表示マーク
シアン	● (青丸1つ)
マゼンタ	● (赤丸1つ)
イエロー	● (黄丸1つ)
ブラック	● (黒丸1つ)
ホワイト	○ (白丸1つ)
クリア	○○ (白丸2つ)



- インクと一緒に梱包されているインクICチップを挿し込んでください。インクICチップには、インクカラーやインク残量、消費有効期限などの情報が書き込まれています。異なるインクICチップを挿し込んだ場合、プリントすることができません。



## 第2章 プリントしてみる



この章では...

プリントの手順や設定方法について説明しています。

プリントヘッドの高さを調整する.....	50	ヘッドクリーニングをする .....	69
メディアをセットする.....	51	フィード補正をする .....	70
メディアについて .....	51	フィード補正の手順.....	70
成果物と離型紙の巻き取りユニットについて .....	52	ドット位置補正をする .....	72
アプリケーションフィルムユニットについて .....	54	ドット位置補正の手順 .....	72
ロールメディアをセットする .....	55	RIPデータを準備する.....	74
テストプリントをする.....	67	プリントする.....	76
テストプリントの配置方向を変更する .....	67	原点を変更する.....	76
ホワイトインクの吐出を確認する .....	68	プリントを開始する.....	76
吐出不良について .....	68	プリントを中止する（データクリア） .....	78

## 2.1 プリントヘッドの高さを調整する

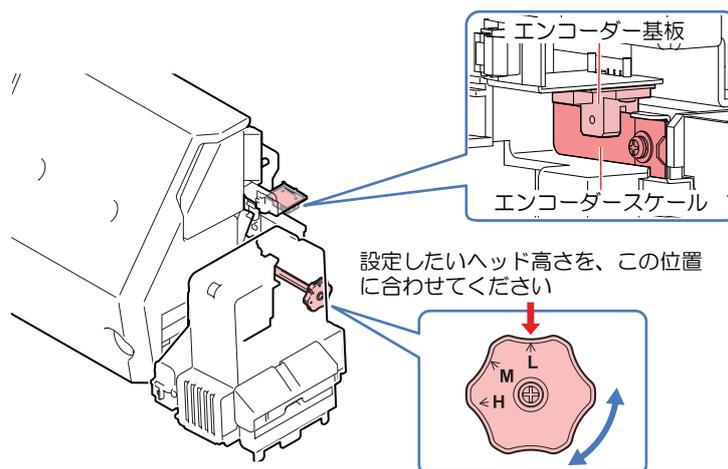
お使いになるメディアの厚みに合わせて、プリントヘッドの高さを調整してください。

レンジ	プリントヘッドとプラテンの距離
Low	2 mm (初期設定)
Middle	2.5 mm
High	3 mm



- プリントヘッドの高さを変更したあとは、必ずドット位置補正を実施してください。 「ドット位置補正をする」(P. 72)
- プリントヘッドの高さは推奨値3.0mmで使用してください。インクジェットプリンターは、プリントヘッドとメディア間のギャップが広がると、インク滴がメディアに到達できずにミスト化してしまうおそれがあります。ミスト化したインクは、プリントヘッドのノズル面やメディア、冷却用ファンのフィルターに付着します。同時にUV-LEDユニットからプリントヘッド面に対する反射光も増えてしまいます。ノズル面に付着したミスト化したインクが、反射光で硬化したり、インク粘度が高くなったり、プリント品質に影響がでたり、プリントヘッドが故障したりするおそれがあります。

- ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス] > [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - メンテナンスメニューが表示されます。
- [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ステーションメンテ]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - キャリッジがプラテン上に移動します。
- 正面カバーを開く。
- 高さ調整レバーで高さを変更する。
  - 高さ調整レバーは、設定したい高さが上になるように設定してください。正しい位置にレバーがないと、メディアジャムやミストなど、故障やプリント品質に影響がでるおそれがあります。



- 高さ調整レバーを操作している時は、エンコーダスケールやエンコーダ基板に触れないよう注意してください。

- 調整が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

## 2.2 メディアをセットする



- メディアをセットする前に、ヘッド高さを調整してください。メディアをセットしたあとにキャリッジを動作させると、プリントヘッドがメディアに接触して、破損するおそれがあります。

### メディアについて

#### ● メディアの取り扱いに関するご注意



- 高画質で安定したプリントをするために、弊社推奨のメディアをご使用ください。

#### ⚠ 警告



- ロールメディアは、2人以上で取り付けてください。メディアの重みで腰を痛めてしまうおそれがあります。

#### 注記



- ホコリが付着しないように保管してください。プリント品質が低下する原因になります。
- 定型サイズ紙をまるめて保管するときは、コーティング面が外側になるように保管してください。
- メディアに除電対策（イオナイザー、除電バー、ウォーターミスト加湿、アルコール系の帯電防止剤等）を実施してください。界面活性剤を含む帯電防止剤は使用しないでください。



- 本機にメディアをセットしたまま放置しないでください。メディアにホコリが付着する原因になります。また、ホコリをふき取ったメディアは使わないでください。静電気が発生して、プリント品質に影響がでるおそれがあります。
- 包装を開けてから間もないメディアを使用しないでください。メディア保管場所の温度や湿度によって、メディアが伸縮しているおそれがあります。本機と同じ室内環境下で、30分以上経過してから本機にセットしてください。
- カールしたメディアは使用しないでください。プリントヘッドが破損する原因になるだけでなく、プリント品質に影響がでるおそれがあります。
- UVインクをお使いの場合、金箔や銀箔などの光を反射するメディアは使用しないでください。メディア表面の光が反射することによって、プリントヘッドのインクが硬化してヘッドが破損するおそれがあります。保証の範囲外となりますのでご了承ください。

#### ● 本機で使用するメディアについて

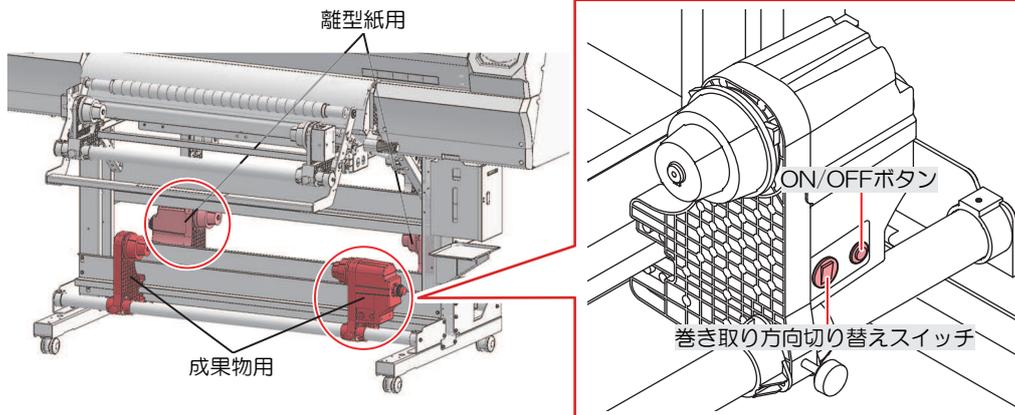
名称	概要
Aフィルム（糊付きフィルム）	<ul style="list-style-type: none"> <li>糊付きシートと離型紙の2層になっています。</li> <li>離型紙を剥がした糊面がプリント面です。</li> </ul>
Bフィルム（アプリケーションフィルム）	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリント後、Aフィルムに貼り付けるためのフィルムです。</li> </ul>



- 重要!** Aフィルム（糊付きフィルム）を交換する場合は、Bフィルム（アプリケーションフィルム）もセットで交換してください。Bフィルム（アプリケーションフィルム）の種類によっては、Bフィルム（アプリケーションフィルム）エンドが検出される前に、圧着ローラーにAフィルム（糊付きフィルム）の粘着剤が貼り付いてしまう場合があります。

## 成果物と離型紙の巻き取りユニットについて

本機は巻き取りユニットを2つ搭載しており、正面側は成果物用、背面側は離型紙用です。巻き取りユニットのスイッチを使って、メディアの巻き取り方向を変更することができます。



名称	概要	
方向切り換えスイッチ	上	プリント面を内側にして巻き取りたいとき。
	下	プリント面を外側にして巻き取りたいとき。
ON/OFF ボタン	ボタンを押すごとに、巻き取りユニットが回転、停止を繰り返します。ボタンを押している間だけ、巻き取りユニットが回転するように設定できます。☞「マシン設定メニュー」(P. 86)	

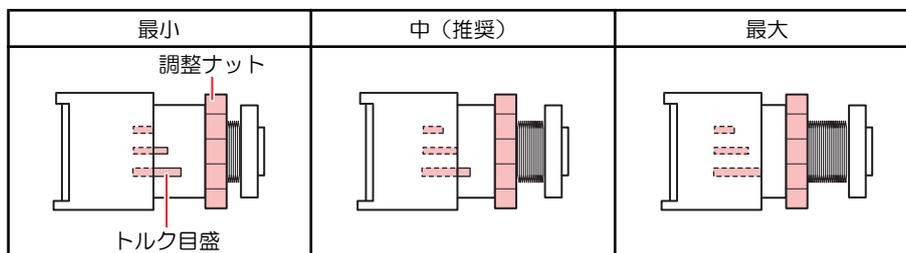


- 成果物
  - テンションが強すぎる場合、画質に乱れが発生する可能性があります。
  - テンションが弱すぎると、プリントしたメディアの巻き取りが正常に行われない可能性があります。
- 離型紙
  - テンションが強すぎると、離型紙からはがれず、メディアを巻き取ってしまいます。
  - テンションが弱すぎると、離型紙の巻き取りが正常に行われない可能性があります。

## トルクリミッターを調節する

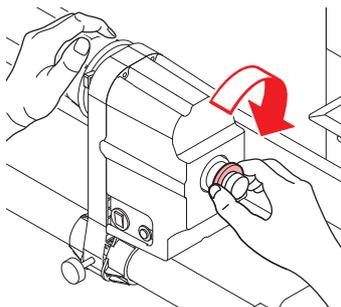
巻き取りユニットには、トルクリミッターが付いています。

トルクリミッターの調整ナットを回して、巻き取りの強さを変更できます。工場出荷時は、成果物側と離型紙側のトルクリミッターを、“中”に設定してあります。



### ● テンションを強くする（時計回り）

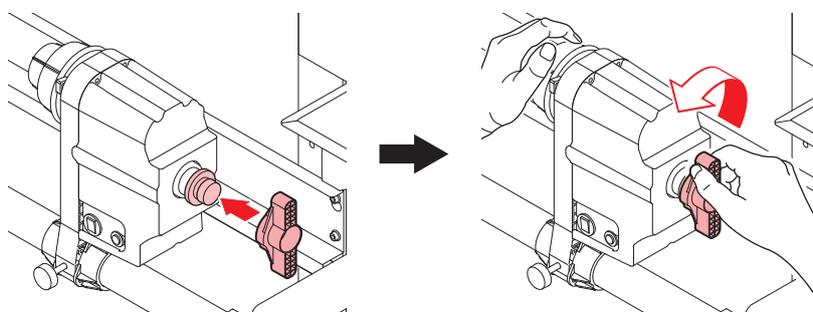
台紙の素材が紙等の厚いメディアをお使いのときにテンションを強くします。手で調整します。



- トルク調整ハンドルは使用しないでください。トルク調整ハンドルを使用すると強く締め過ぎる原因になります。強く締めてしまうと、巻き取りユニットが破損するおそれがあります。

### ● テンションを弱くする（反時計回り）

軽量のメディアをお使いのときにテンションを弱くします。付属の"トルク調整ハンドル"を使って調整します。



### ● シート材質による推奨トルク

クランプ使用個数によるクランプ圧は、メディア台紙によって異なります。

メディア台紙	クランプ使用個数		
	3個	5個	7個
紙	中	強	強
フィルム	弱	中	強

## アプリケーションフィルムユニットについて



- レバーの動作は両手で行い、圧着ローラーに挟まれないように注意してください。
- 圧着レバーは、ゆっくり動作させてください。



- 圧着レバーに寄りかかったり、座ったりしないでください。



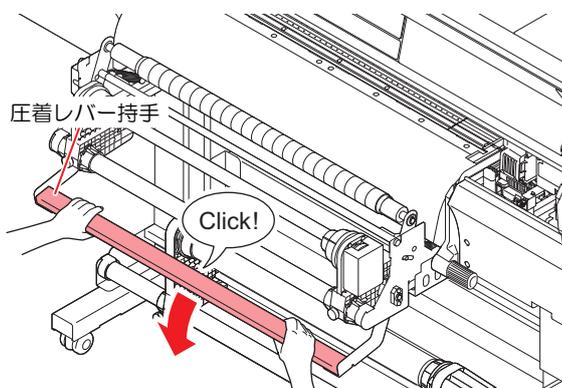
- 本機を使用しないときは、圧着ローラーを上げて圧着ローラーとアフターカバーを離してください。  
圧着ローラーを下げたまま放置すると、圧着ローラーが変形して、正常に圧着できなくなるおそれがあります。

### Bフィルム（アプリケーションフィルム）のクランプUp / Down

#### ● クランプDown状態からクランプUp状態にする場合

##### 1 圧着レバー持手を、ゆっくりと下に押す。

- 「カチン」と音がしたら、下に押すのをやめます。クランプUp状態になります。

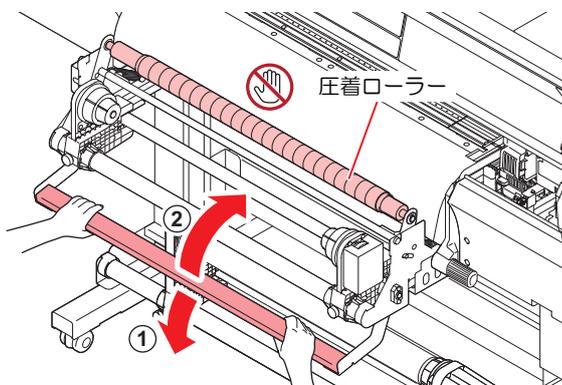


#### ● クランプUp状態からクランプDown状態にする場合

##### 1 圧着レバー持手を、ゆっくりと下に押せる所まで押すと、ロックが解除される。

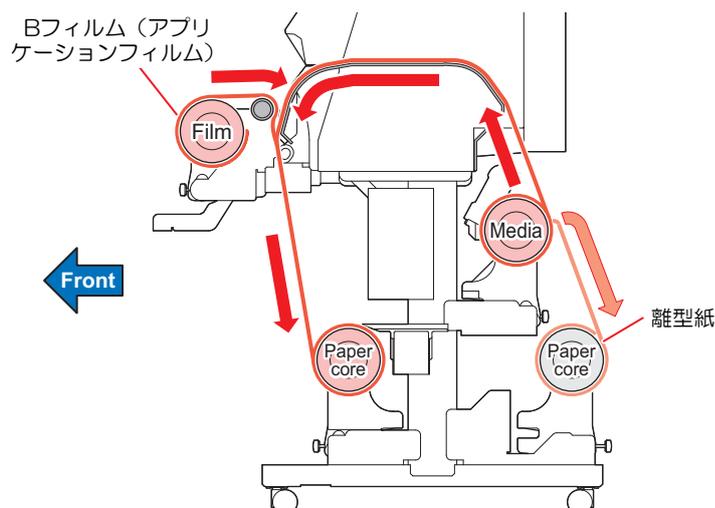
##### 2 圧着レバー持手をゆっくり上げると、クランプDown状態になる。

- 圧着ローラーに挟まれないように注意してください。



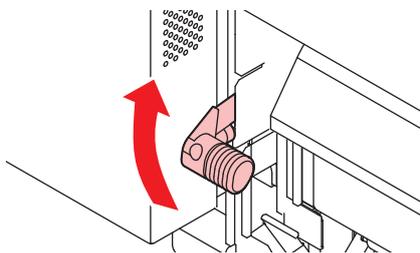
## ロールメディアをセットする

- メディアセット 完成状態

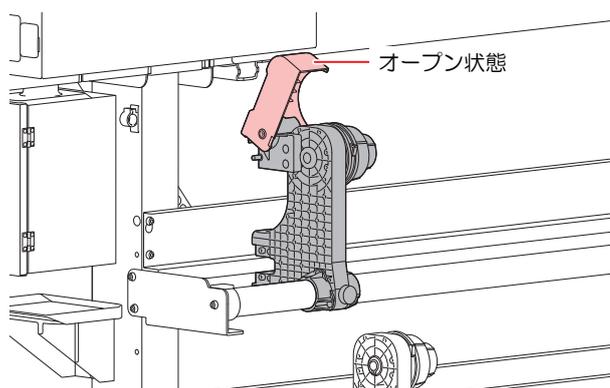


### 1 メディアセット前に、本機が以下の状態であることを確認する。

- ヒーターがOFF状態であること。
- 圧着ローラーがクランプUpされていること（アフターカバーに接触していない状態であること）。
- クランプレバーがクランプUpされていること（ピンチローラーがグリットローラーに接触していない状態であること）。

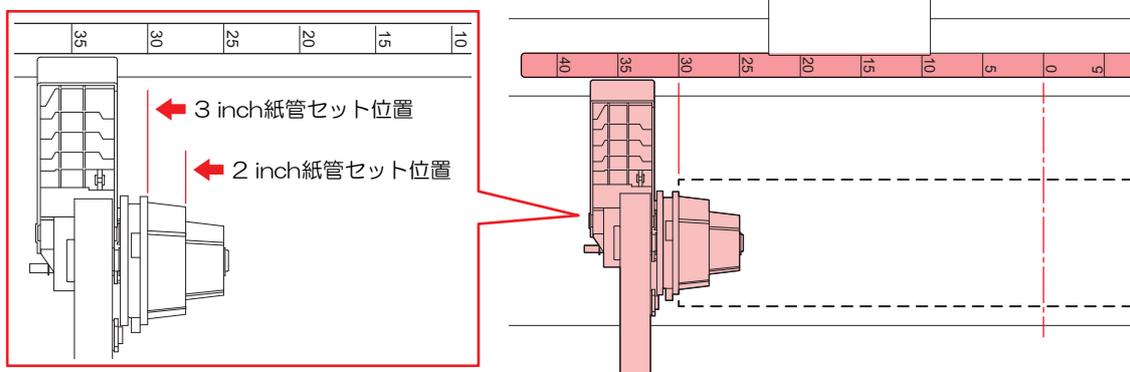


- 本機背面のメディアストッパーがオープン状態であること。



## 2 背面左側のロールホルダーを、ロールセット位置へ移動する。

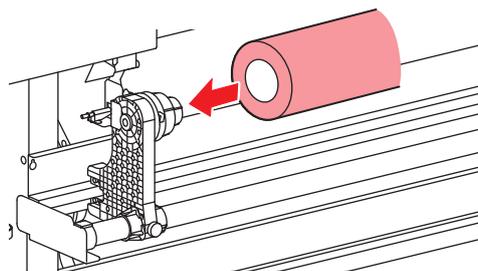
- (1) ロールホルダーの固定ネジを緩める。
- (2) メディア位置銘板を参考に、ロールメディアのセット位置が中央になるようにロールホルダーを移動する。
  - 例) 60 cm幅のメディアの場合、目盛り値30に合わせます。



## 3 背面左側のロールホルダー固定ネジを締める。

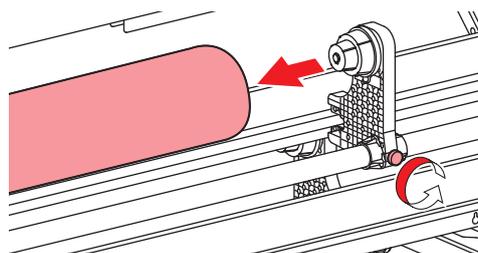
## 4 背面左側のロールホルダーに、ロールメディアの紙管を挿し込む。

- 紙管が動かなくなるまで、挿し込んでください。



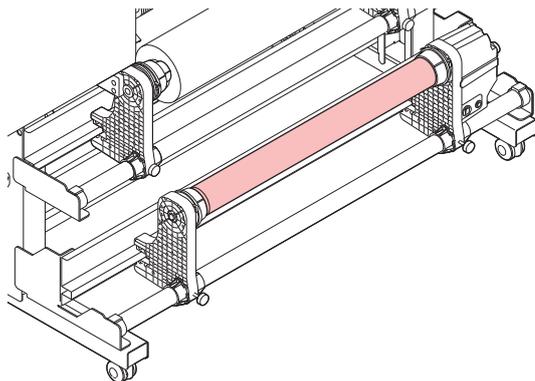
## 5 背面右側のロールホルダーを紙管に挿し込む。

- ロールホルダー固定ネジを緩めてから移動させます。



## 6 背面右側のロールホルダー固定ネジを締める。

## 7 離型紙巻き取りユニットに、空の紙管をセットする。



## 8 メディアを挿し込む。

- ピンチローラーとグリットローラーの間に挿し込みます。



- このときは、まだ離型紙を剥がさないでください。

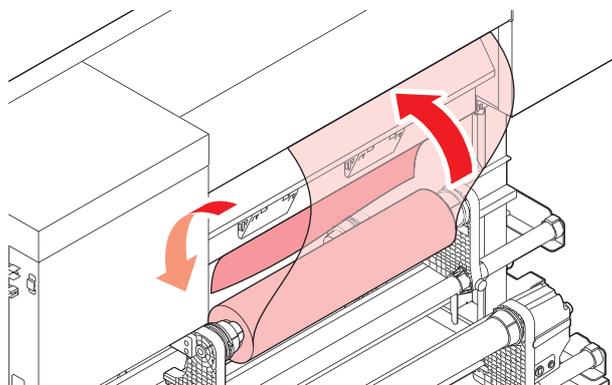


- メディアを斜めにすると、引っ掛かりが少なくスムーズに挿し込めます。

## 9 メディアを真っ直ぐにセットする。

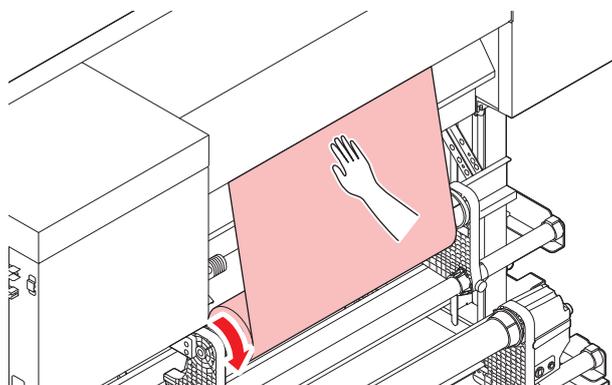
- (1) 挿し込んだメディアを多めに送る。

- 目安：送ったメディアが正面側から見えるくらい送ります。



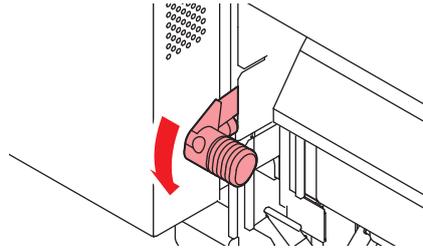
- (2) メディア中央を手で押さえながら、ロールホルダーを少し後ろに回す。

- メディアのズレが無くなり、真っ直ぐになります。



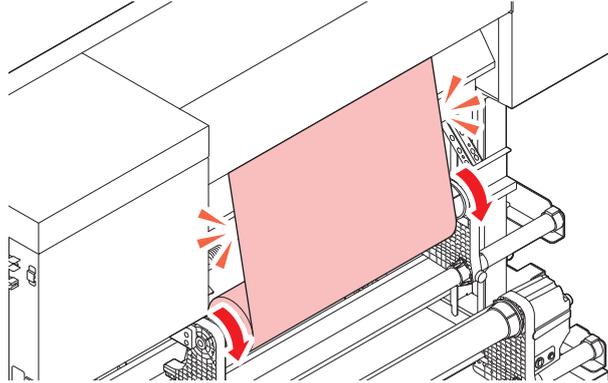
(3) クランプレバーを下げる。

- ピンチローラーとグリットローラーで、メディアを保持している状態にします。



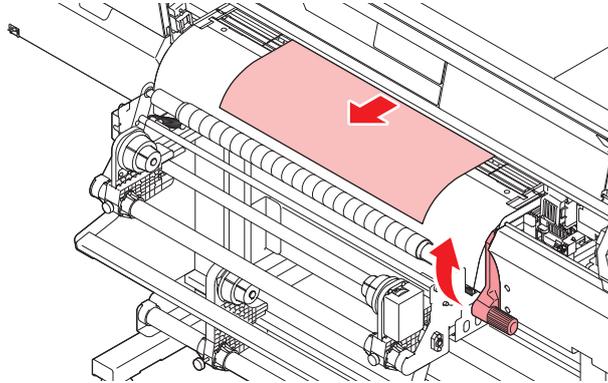
(4) ロールホルダーを軽く後ろに回して、メディアのテンションを確認します。

- メディアの左右に均等にテンションが掛かっている場合は、真っ直ぐにセットできています。
- スレがある場合は、セットし直してください。

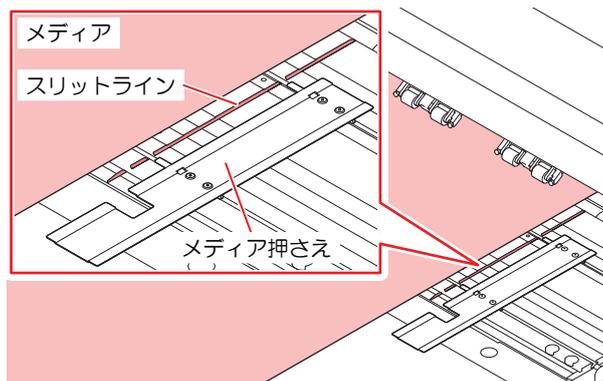


## 10 本機正面に移動し、正面カバーを開く。

- メディアが真っ直ぐにセットされていることを確認してください。



- プラテン右側のスリットラインがメディアに隠れないように、背面のロールホルダー位置を調整してください。メディアが斜行した場合、プリントヘッドが破損するおそれがあります。

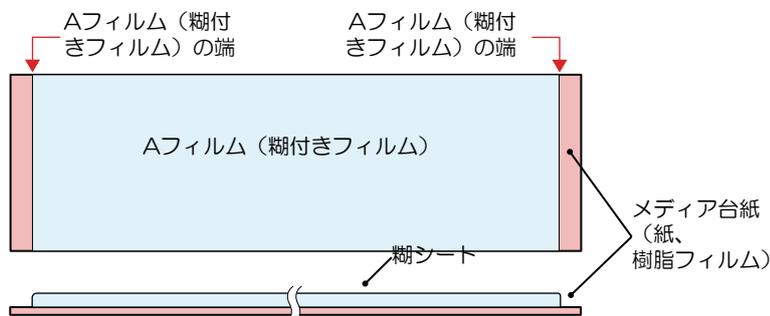




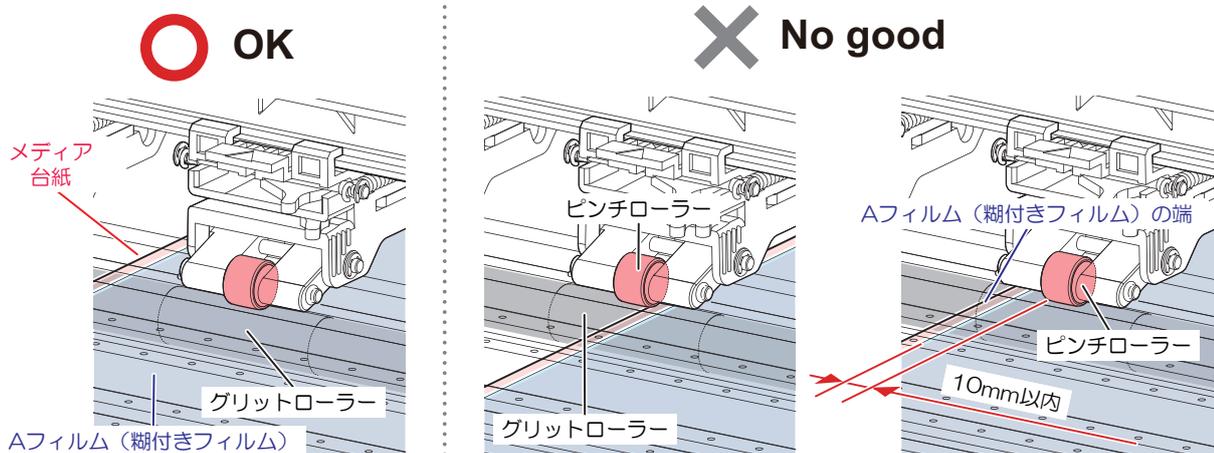
- メディアの両端から5mmは、デッドスペースになります。

## 11 ピンチローラーの位置を確認する。

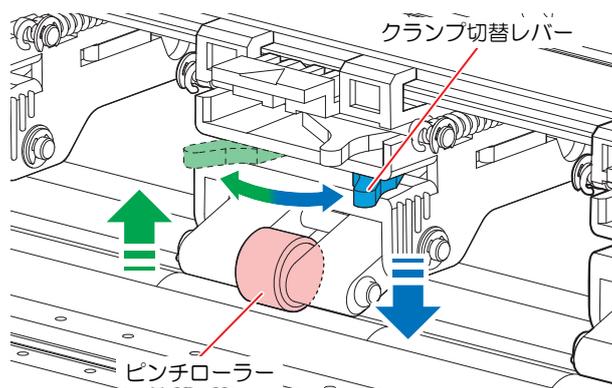
- 前提として、メディアの種類によっては、メディア台紙（紙、樹脂フィルム）の両端より内側にAフィルム（糊付きフィルム）があります。



- (1) Aフィルム（糊付きフィルム）の端から10mm以内にピンチローラーがないことと、グリットローラー上にピンチローラーが接触していないことを確認します。

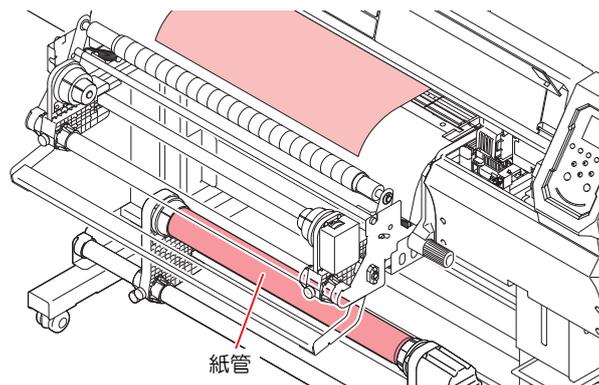


- (2) ピンチローラーが適切な位置ではない場合、Aフィルム（糊付きフィルム）がピンチローラーに巻き込まれる原因になります。クランプ切り替えレバーを操作して、ピンチローラーを上げてください。

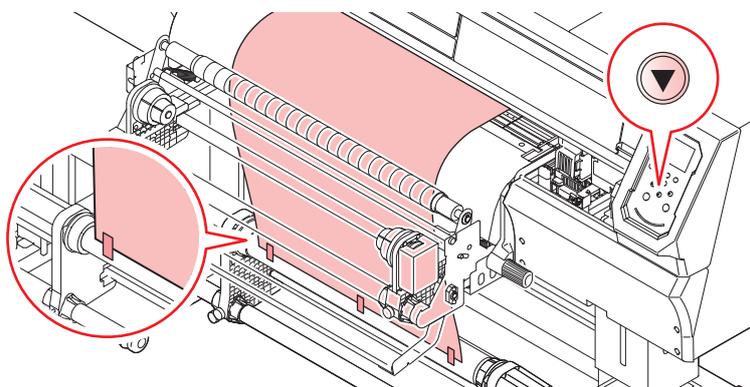


- ピンチローラーを上げる: クランプ切り替えレバーを左に移動
- ピンチローラーを下げる: クランプ切り替えレバーを右に移動

## 12 巻き取りユニットに、空の紙管をセットする。



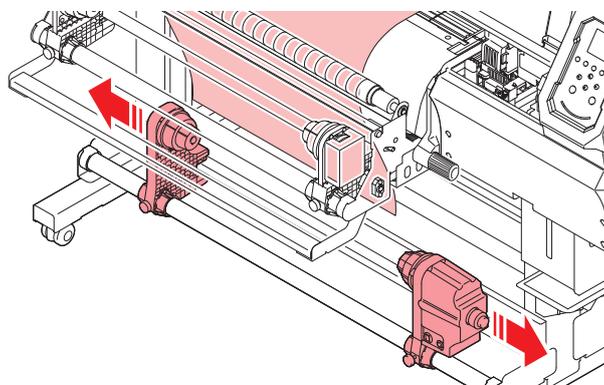
## 13 ⑦を押して、巻き取りユニットの紙管に届くまでメディアをフィードさせたら、[ENTER]キーを押す。



## 14 粘着テープを使って、紙管にメディアの中央を固定する。

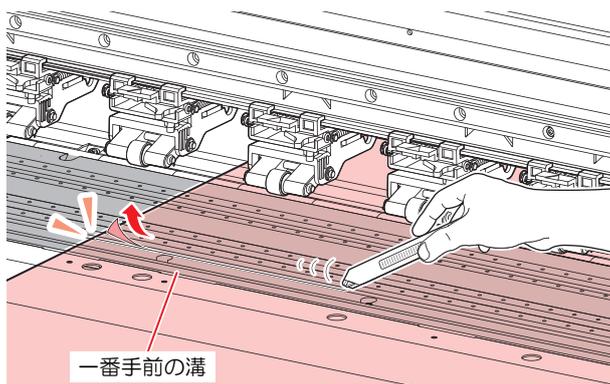
- 重要!**
- メディア端面がまっすぐの場合は、メディアの左右を固定してください。メディア下端を左右均等に引っ張り、メディアにたるみ・シワがないことを確認してから、テープを貼ってください。

- メディアは右寄せではなく、必ず中央にセットしてください。
- 圧着ローラーを使用してプリントする場合は、必ず巻き取りユニットを使用してください。
- 巻き取りユニットを使わないときは、巻き取りユニットを左右に退避させてください。メディアの前端が巻き取りユニットに触れた衝撃によって、プリント品質に影響がでるおそれがあります。



## 15 メディアの離型紙を切る。

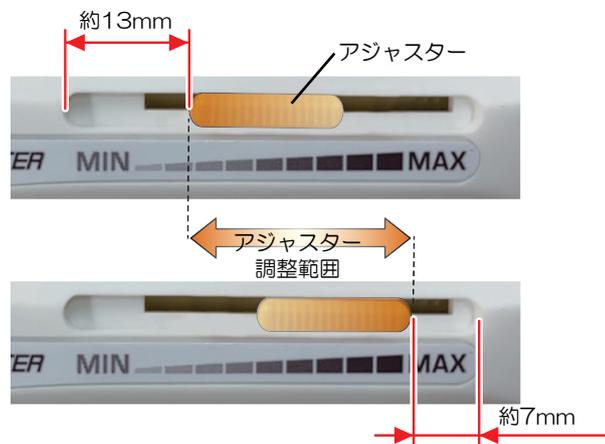
- プラテンの一番手前の溝で離型紙を切ります。



- 推奨カッター
  - 品名: キリヌーク (OLFA)
  - 品番: 209B
- オルファ (OLFA) 社製キリヌークを使用する時は、刃先の面を離型紙に当ててカットしてください。

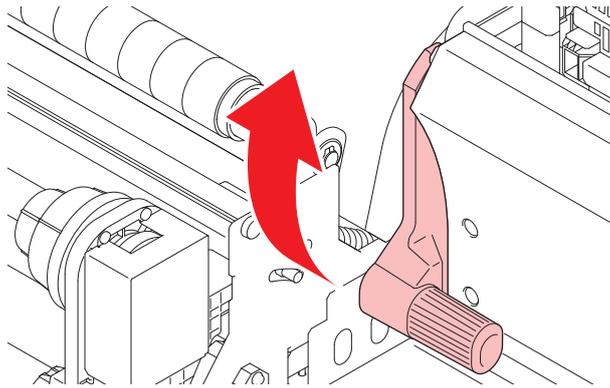


- キリヌークを使用して離型紙をカットする場合は、圧力調節用アジャスターをスライドさせ、刃の圧力を調整します。メディアによって適宜アジャスターの位置を調整し、離型紙のみカットしてください。調整範囲は以下(1)から(2)の間になります。
  - (1) MIN側の端からアジャスタの左端まで約13mm
  - (2) MAX側の端からアジャスタの右端まで約7mm

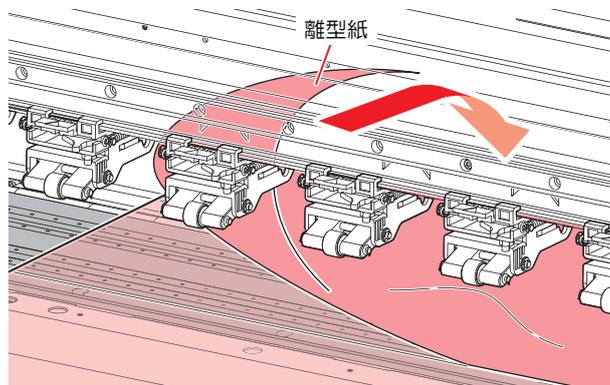


## 16 切った離型紙の奥側を、ピンチローラー後方に通す。

(1) クランプレバーを上げる。

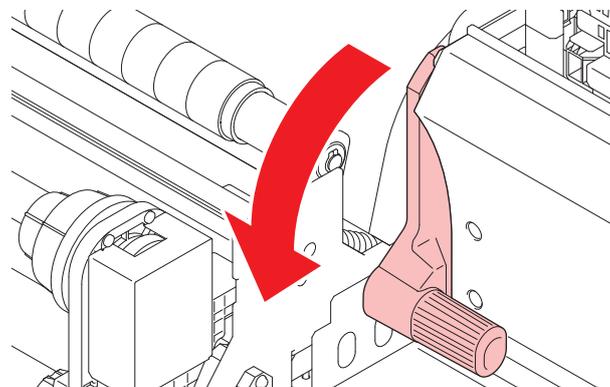


(2) 切った離型紙の本機背面側を、ピンチローラーとグリットローラーの間に通す。（本機背面側に逃す）

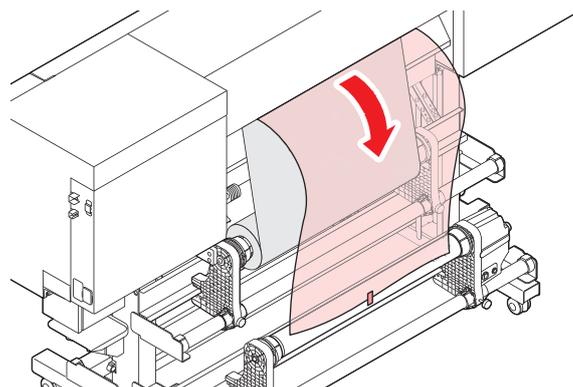


(3) クランプレバーを下げる。

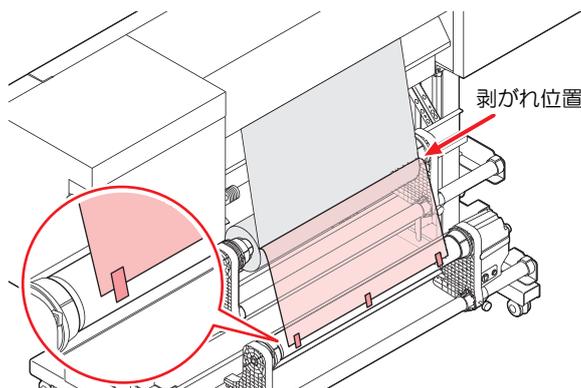
- 切った離型紙の本機正面側は剥がさないでください。



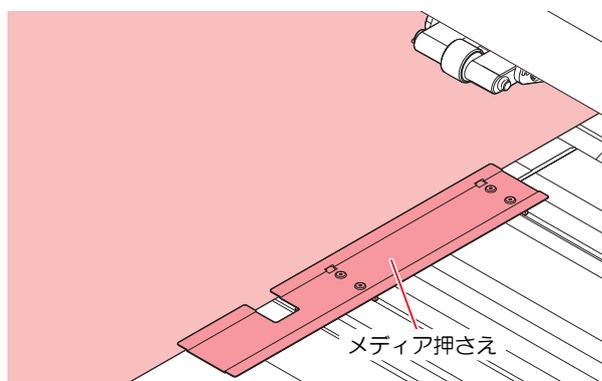
## 17 本機背面に移動し、離型紙巻き取りユニットの紙管に離型紙の中央を固定する。



- 重要!**
- 下図の位置まで、手で離型死紙を巻き取って剥がします。巻き取った離型紙の下端を左右均等に引っ張り、離型紙にたるみ・シワがないことを確認してから、紙管にテープで貼ってください。離型紙の端面がまっすぐにカットされている場合は、離型紙の左右2点を紙管に固定してください。



## 18 メディア押さえでメディアをはさむ。

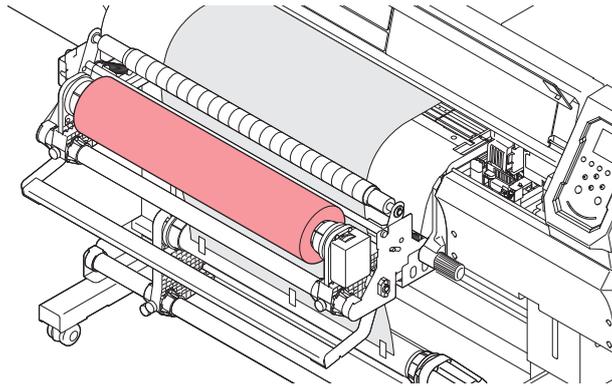


-  厚みのあるメディアにプリントするときは、メディア押さえを使用しないでください。但し、メディア検出を行う時は、メディア幅を検出するために、メディア押さえでメディアを挟んでください。
-  メディアのAフィルム（糊付きフィルム）が、メディア端部から6 mm以内のメディアは、メディア押さえを使用しないでください。Aフィルム（糊付きフィルム）の粘着剤がメディア押さえに貼り付き、メディアジャムになる可能性があります。使用しない場合、メディア押さえはプラテンの両端に避けてください。
- メディア押さえを使用しない場合、[マシン設定] > [メディア検出] > [検出方法] の設定を“MANUAL”に変更してください。

## 19 本機正面に移動し、 を押して、メディア検出を開始する。

- メディア幅の検出を開始します。
- [マシン設定] > [メディア検出] > [メディア残量] の設定が、“ON”に設定されている場合、メディア長さ入力画面が表示されます。

**20** アプリケーションフィルム繰り出しユニットに、Bフィルム（アプリケーションフィルム）のロールをセットする。

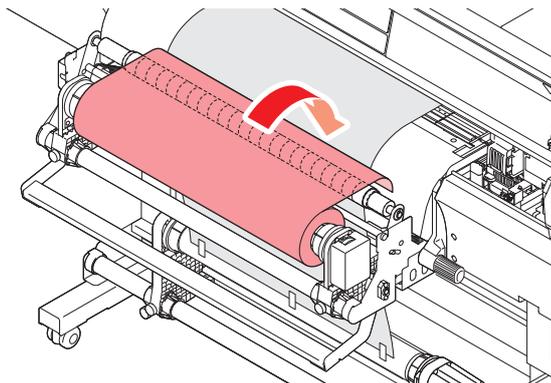


- (1) 左側のロールホルダーを、メディア幅に合わせて固定する。
- (2) 左側のロールホルダーユニットに、Bフィルム（アプリケーションフィルム）のロールを挿し込む。
- (3) 右側のロールホルダーを、紙管に挿し込んで固定する。

**21** Bフィルム（アプリケーションフィルム）を挿し込む。

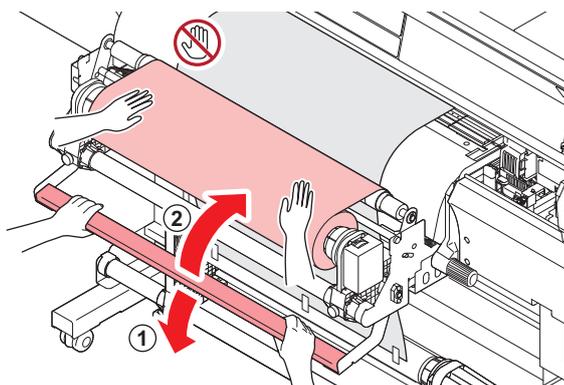


- メディアにBフィルム（アプリケーションフィルム）を貼る作業を1人で行う場合は必ず「1人で作業する場合」（P. 66）を参照してください。



- (1) 圧着ローラーとポストヒーターの間に挿し込みます。
  - Bフィルム（アプリケーションフィルム）の挿し込む量に注意してください。差し込む量が多いと、圧着ローラーへの巻きこみ・巻き取り不良が発生します（目安: 圧着ローラを覆う程度）。
- (2) Bフィルム（アプリケーションフィルム）に、たるみ・シワがないことを確認してください。

**22** 圧着ローラーを下げて、Bフィルム（アプリケーションフィルム）をメディアに貼る。



- (1) 1人はBフィルム（アプリケーションフィルム）を手で押さえてください。

- (2) フィルムを押さえてもらいながら、もう1人は加圧レバーを下げてください。
- 圧着ローラーは両手で操作してください。
  - 圧着ローラーに、手を挟まないように注意してください。

## 23 ヒーターの温度を60°C以上に設定する。

- (1) [SEL] > [FUNC1]を選択して、[ENTER]キーを押します。
- (2) ヒーターの温度を60°C以上に設定します。



- ヒーター温度が60°C以上に到達してから使用してください。Bフィルム（アプリケーションフィルム）が圧着ローラーに巻き込まれる可能性があります。
-

## 1人で作業する場合

**1** Bフィルム（アプリケーションフィルム）を挿し込む。

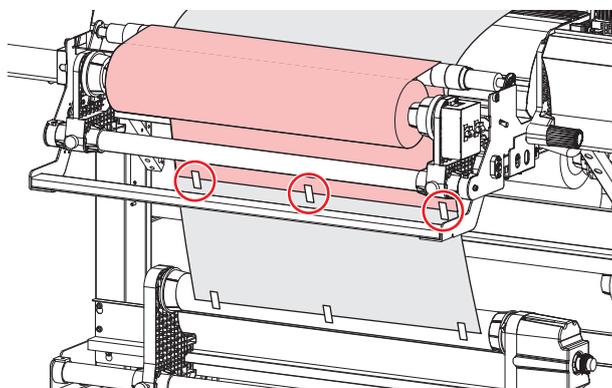
- ・ 圧着ローラーとポストヒーターの間にBフィルム（アプリケーションフィルム）を挿し込みます。



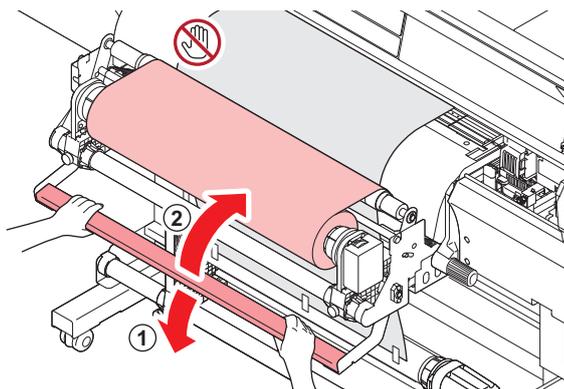
- ・ 圧着ローラーと巻取ユニットの中間程度まで挿し込んでください。

**2** Bフィルム（アプリケーションフィルム）をメディアにテープで貼り付ける。

- (1) Bフィルム（アプリケーションフィルム）のロールホルダーを反時計方向に回し、Bフィルム（アプリケーションフィルム）にテンションがかかるようにして、メディア中央に1か所テープで貼り付けます。
- (2) Bフィルム（アプリケーションフィルム）に、たるみ・シワがないことを確認してください。

**3** Bフィルム（アプリケーションフィルム）の左右にもテープを貼り、計3か所をメディアに固定する。**4** 圧着ローラーを下げる。

- ・ 圧着ローラーは両手で操作してください。
- ・ 圧着ローラーに、手を挟まないように注意してください。

**5** ヒーターの温度を60°C以上に設定する。

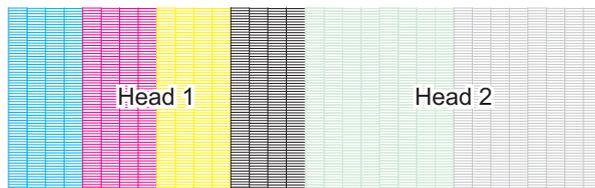
- (1) [SEL] > [FUNC1]を選択して、[ENTER]キーを押します。
- (2) ヒーターの温度を60°C以上に設定します。



- ・ ヒーター温度が60°C以上に到達してから使用してください。Bフィルム（アプリケーションフィルム）が圧着ローラーに巻き込まれる可能性があります。

## 2.3 テストプリントをする

テストパターンをプリントして、インクが正常に吐出されているかどうかを確認します。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）があった場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。☞「ヘッドクリーニングをする」(P. 69)



### 事前に確認してください

- プリントヘッドの高さを調整していますか? ☞「プリントヘッドの高さを調整する」(P. 50)
- メディアをセットしていますか? ☞「メディアをセットする」(P. 51)



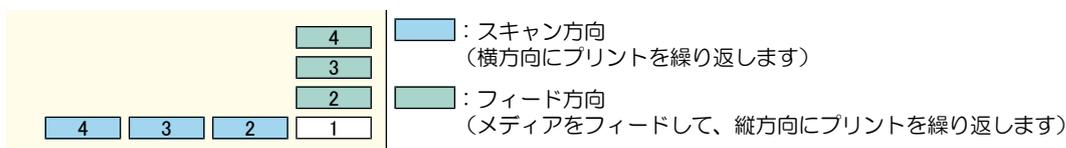
- 幅300mm以上のメディアをセットしてください。幅300mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。



- [メンテナンス]>[ノズルリカバリ]>[テストプリント]をONに設定すると、ノズルリカバリされてテストプリントされます。ノズルリカバリは登録が必要です。☞「ノズルリカバリを登録する」(P. 84)

### テストプリントの配置方向を変更する

テストプリントの配置方向を変更することができます。



- ローカルモード画面から[Test PRINT/CLEANING] > [テストプリント]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - テストプリントメニューが表示されます。
- [スキャン方向]、もしくは[フィード方向]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - テストプリントを開始します。



- プリント結果を確認する。

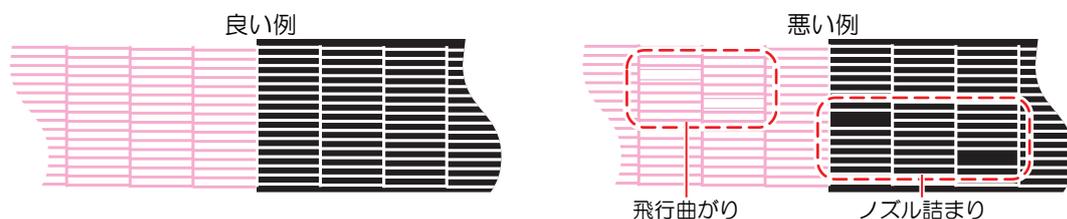
## ホワイトインクの吐出を確認する

ホワイトインクを確認するときは、以下の2つの方法があります。

- 透明フィルムにプリントする。
- テストパターンの下地をブラックインクでプリントする。

### ● 下地をブラックインクでプリントする方法

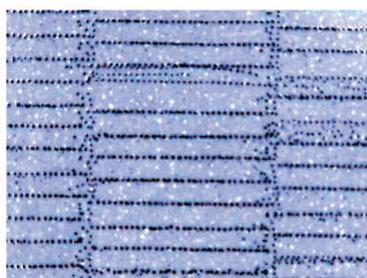
- 1** ローカルモード画面から[Test PRINT/CLEANING] > [テストプリント]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - テストプリントメニューが表示されます。
- 2** [特色確認]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - テストプリントを開始します。
  - 配置方向は、[スキャン方向]固定です。



- 3** プリント結果を確認する。

## 吐出不良について

吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の代表的な例を示します。このような状態でプリントされないように、プリント前など定期的にインクが正常に吐出されているかどうかを確認してください。



飛行曲がり



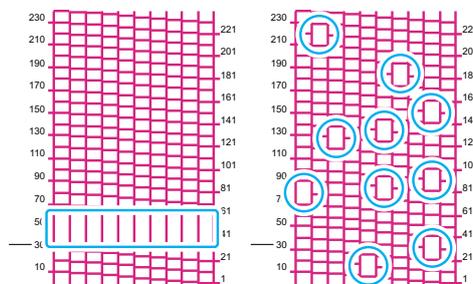
ノズル詰まり



ボタ落ち



ミスト (しぶき)



空気の混入

## 2.4 ヘッドクリーニングをする

ヘッドクリーニングには、以下のタイプがあります。テストプリントの結果によって使い分けてください。

項目	内容
ソフト	線の曲がり（飛行曲がり）があるとき。
ノーマル	線の抜け（ノズル詰まり）があるとき。
ハード	ソフトクリーニング、ノーマルクリーニングを実行しても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が改善しないとき。
ウルトラ	ハードクリーニングを実行しても、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）や混色が改善しないとき



- ・ [インクニアエンド]、[インクエンド]のときは、クリーニングすることができません。新しいインクに交換してください。☞ 「インクの交換方法」 (P. 41)



- ・ 本機に使われているインクは温めてから吐出をしています。インクの加温制御中は、プリントやクリーニングすることはできませんのでご了承ください。

- 1 ローカルモード画面から[TEST PRINT/CLEANING] > [クリーニング]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・ クリーニングメニューが表示されます。
- 2 クリーニングタイプを選択して、[ENTER]キーを押す。
- 3 クリーニングするヘッドを選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・ チェックボックスをオンにしてください。チェックが入っているヘッドをクリーニングします。
- 4 再度、テストプリントを実行して、プリント結果を確認する。
  - ・ プリント結果が正常になるまで、クリーニングとテストプリントを繰り返してください。



- ・ ヘッドクリーニングで、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が改善されない場合は、以下を実施してください。
  - ☞ 「ワイパーの清掃」 (P. 95)
  - ☞ 「キャップゴムの清掃」 (P. 98)
  - ☞ 「プリントヘッドのノズル洗浄」 (P. 127)

## 2.5 フィード補正をする

メディアを替えるとメディアの重さや厚さ、巻き取りユニットの使用有無などにより、メディアのフィード量が変わってしまいます。メディアの種類に合わせて補正してください。補正値が適切でないと、画質不良（濃い縞や薄い縞が入るなど）の原因になります。

### 事前に確認してください

- メディアをセットしていますか?  「メディアをセットする」(P. 51)
- ロールメディアをご使用の場合、背面ロールメディアが、たるみのない状態にセットされていますか?
- 巻き取りユニットをご使用の場合、巻き取りユニットの紙管にメディアがセットされていますか?  「ロールメディアをセットする」(P. 55)

### フィード補正の手順

補正パターンをプリントして補正量を入力します。ここで補正した値は、設定メニューに反映されます。



- 巻き取りユニットを使用するときは、巻き取りユニットにメディアをセットしてから調整をしてください。

#### 1 ローカルモード画面から[ADJUST]を選択する。

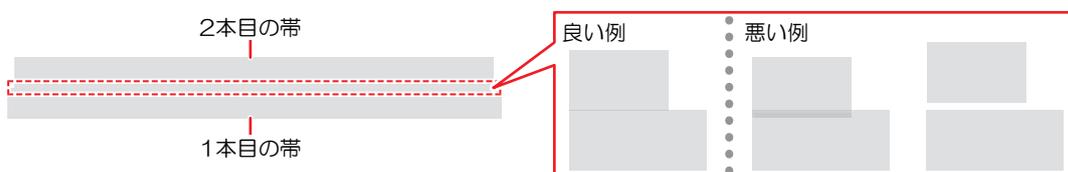


#### 2 [フィード補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 補正パターンのプリントを開始します。

#### 3 プリント結果を確認する。

- 補正値の入力画面が表示されます。
- 2本の帯の境が均等の濃さになるように調整します。



#### 4 補正値を入力して、[ENTER]キーを押す。

- "+" 入力：2本の帯の隙間が広くなります。
- "-" 入力：2本の帯の隙間が狭くなります。
- 補正値を"30"変更するごとに、帯が約0.1mm移動します。

#### 5 [ENTER]キーを押す。

- 再度、補正パターンをプリントして確認します。



- 調整が終了すると、プリント原点位置までメディアがフィードして、背面のロールメディアにたるみが生じます。ロールメディアを手で巻き戻して、たるみのない状態にしてください。

## プリント中にフィード補正をしたいとき

リモートモードやプリント中でも、メディアの送り量の補正ができます。

- 1 リモートモード、もしくはプリント中に、[ADJUST]を選択する。
- 2 補正值を入力して、[ENTER]キーを押す。
  - 補正值：-9999～9999
  - ここで入力した値は、すぐ補正值に反映されます。

## 2.6 ドット位置補正をする

メディアやプリントヘッドの高さを変更すると、ドットの着弾位置が変わってしまいます。メディアの種類に合わせて補正してください。補正値が適切でないと、画質不良（線が二重、ぼやけた画像など）の原因になります。

### 事前に確認してください

- プリントヘッドの高さを調整していますか?  「プリントヘッドの高さを調整する」 (P. 50)
- メディアをセットしていますか?  「メディアをセットする」 (P. 51)



- 幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。

### ドット位置補正の手順

補正パターンをプリントして補正量を入力します。ここで補正した値は、設定メニューに反映されます。

- 1 ローカルモード画面から[ADJUST]を選択する。



- 2 [ドット位置補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 3 解像度を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 調整したい解像度を選択します。"全て"を選択すると、すべての解像度の補正パターンをプリントします。



- 解像度はスキャン方向の解像度を示しています。

- 4 使用するメディア種に合わせて使用する色を選択し、[ENTER]キーを押す。

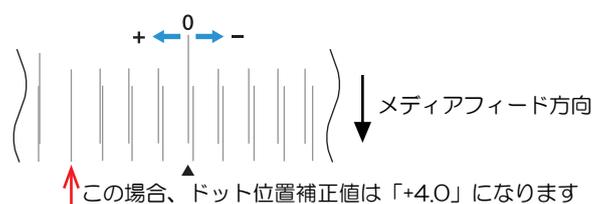
- [FUNC2]キーで使用する色を切り替えることができます。



- 透明なメディアを使用する場合はWhを選択、白地のメディアを使用する場合はCyを選択してください。

- 5 プリント結果を確認する。

- 補正値の入力画面が表示されます。
- 上下2本の線が1本の直線になっている位置を入力します。



**6** 補正值を入力して、[ENTER]キーを押す。

- 補正值：-40 ~ 40



- 補正值が-40 ~ 40の間に重なった線がない場合は、プリントヘッドの高さが適正でないことが原因と考えられます。プリントヘッドの高さを調整してください。  
 「プリントヘッドの高さを調整する」(P. 50)
- 

**7** パターン2以降も同様に補正值を入力する。

## 2.7 RIPデータを準備する

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。



- 任意のプリント用の画像データをご準備ください。

### 1 “RasterLink”を起動する。

- コンピューターのデスクトップ上にあるアイコンをクリックしてください。

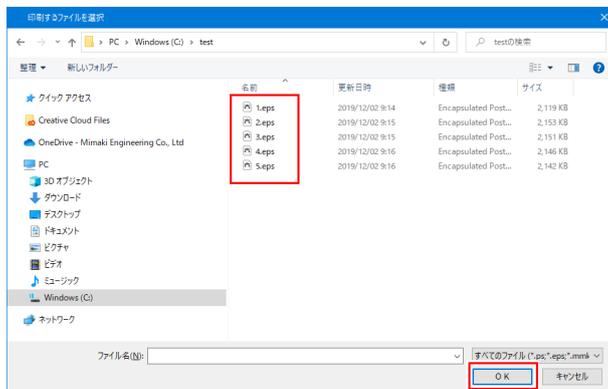


### 2 プリントする画像データを選択する。

(1) [ファイル] > [開く]を選択する。

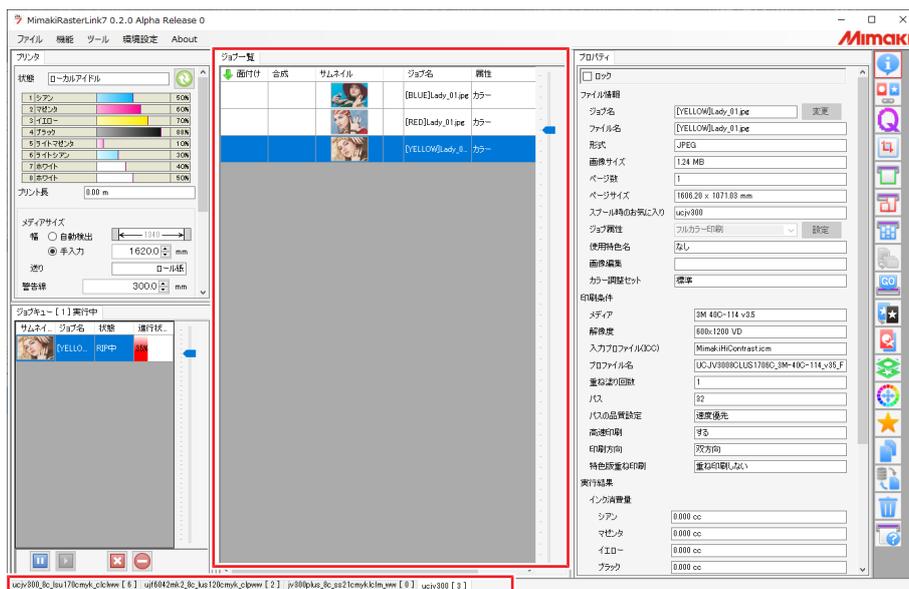
(2) 任意の画像データを選択して、[開く]をクリックする。

- 複数のプリンターが登録されている場合、“プリンタ名”からUJV300DTF-75を選択します。



### 3 読み込まれた画像データを選択する。

- “プリンタ名”で選択した、UJV300DTF-75のタブに表示されます。



## 4 各種設定を確認、変更する。

- 画面右の機能アイコンから、以下を設定します。

 (通常印刷) : 拡大/縮小、コピーなどを設定します。

 (印刷条件) : 本機にセットしているメディアやインクセットに合ったカラープロファイルを選択します。



- 詳しくは、"RasterLink"のリファレンスガイドをご覧ください。<https://japan.mimaki.com/download/software.html>

## 5 画像データをプリントする。

- 画面右の機能アイコンから  (実行) をクリックします。"RIP&印刷"、もしくは"RIP後印刷"を選択して、[開始]をクリックします。



- メディアを交換した場合、メディア幅を再取得する必要があります。

(1) メインウィンドウで、UJV300DTF-75のタブを選択する。

(2) プリンタタブの  (最新のプリンタステータスを表示) をクリックする。

**重要!** 全長が60mmを超過しないデータをプリントする場合、Bフィルム (アプリケーションフィルム) のエンドを検出できない場合があります。

- プリントする画像データが60mm以下のサイズの場合は、"後端に余白をつける"、"コピー機能を使いデータを複数配置する" などを実施して、1つのプリントデータ全長が60mmを超過するようにデータを作成してください。

## 2.8 プリントする

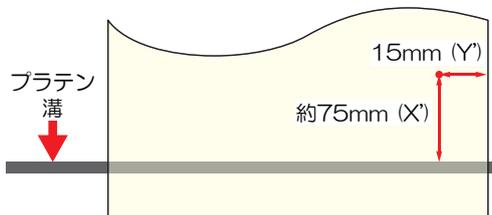
### 事前に確認してください

- ヘッドギャップを調整していますか?  「プリントヘッドの高さを調整する」 (P. 50)
- メディアをセットしていますか?  「メディアをセットする」 (P. 51)
- ロールメディアをご使用の場合、背面ロールメディアが、たるみのない状態にセットされていますか?
- 巻き取りユニットをご使用の場合、巻き取りユニットの紙管にメディアがセットされていますか?  「ロールメディアをセットする」 (P. 55)

### 原点を変更する

プリント開始位置を変更することができます。LEDポインターで原点位置を設定します。

- プリント原点の初期値
  - フィード（縦：X'）方向：プラテンのカット溝から奥へ約75mm
  - スキャン（横：Y'）方向：メディア右端から15mm



- 1 ローカルモード画面から、    を押す。
  - 原点設定画面が表示されます。
- 2     を押して、変更したい位置に原点を合わせる。
  - キャリッジが左右に動いて、メディアがフィードします。
- 3 [ENTER]キーを押す。
  - 原点が変更されます。

### プリントを開始する

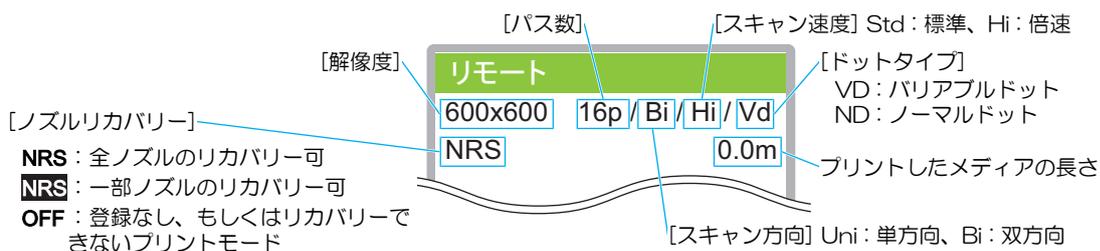
- 1 [REMOTE]を押す。
  - リモートモードになって、プリントの待機状態になります。
- 2 コンピューターから、RIPデータを送信する。
  -  「RIPデータを準備する」 (P. 74)



- エラーメッセージが表示されたときは、エラー番号を確認してから対処方法を参照してください。エラーメッセージ

### 3 プリントを開始する。

- RIPデータを受信すると、プリントが開始されます。



- 同じ画像データをプリントしても、セットしたメディアの幅やプリント原点の位置、解像度などによって、プリントが終了するまでの時間が異なります。
- エラーが発生している場合、プリントが終了したあとはローカルモードになって、続けてプリントすることはできません。

## プリントを一時停止する

### 1 プリント中に、[LOCAL]を押す。

- プリントが一時停止されます。
- コンピューターからデータを送信している場合は、コンピューター側でデータ送信を一時停止します。

### 2 [REMOTE]を押す。

- プリントが再開されます。



- 一時停止中は、その他の機能は操作することができません。

## プリントを中止する（データクリア）

- 1 ローカルモード画面から[DATA CLEAR]を選択する。



- 2 [ENTER]キーを押して、受信データをクリアする。
  - 受信バッファがクリアされます。

# 第 3 章 各種設定



この章では...  
[MENU]の各種機能について説明しています。

設定メニュー .....	80	マシン設定メニュー .....	86
メンテナンスメニュー .....	83	ノズルチェックメニュー .....	88
ノズルリカバリーを登録する .....	84	情報メニュー .....	89

## 3.1 設定メニュー

お使いになるメディアに合わせて、プリント条件（設定1～4）を個別に登録しておくことができます。

### ● メニュー一覧

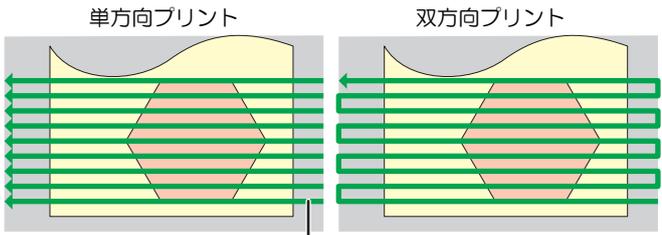
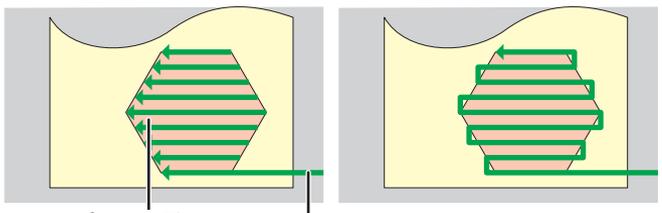
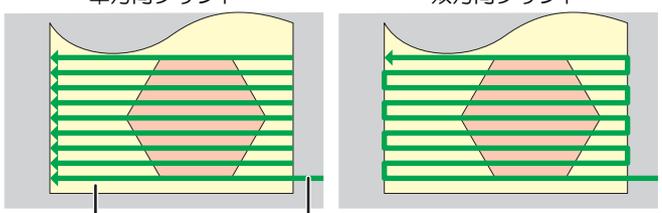
本機の設定と接続しているコンピュータの設定、どちらを優先させるかどうかを決めることができます。各メニューを"ホスト"に設定すると、コンピュータの設定が優先されます。本機の設定を優先させたいときは、"ホスト"以外に設定してください。



- RIP用ソフトウェアの指定方法は、RIP用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

\*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

\*2. RIP用ソフトウェア（ホスト）から設定できない、もしくは本機を優先設定しているときに使用される値です。

項目	設定値		内容
	*1	*2	
フィード補正	-9999 ~ <u>0</u> ~ 9999	-	メディアの送り量を補正します。 • パターンをプリントして、補正量を入力します。
ドット位置補正	-40.0 ~ <u>0</u> ~ 40.0	-	双方向プリントのドット着弾位置を補正します。 • パターンをプリントして、補正量を入力します。
ロジカルシーク	<u>ホスト</u> / OFF / ON / メディア幅	OFF	<p>キャリッジの可動範囲を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• OFF：マシンサイズ領域   </li> <li>• ON：プリントデータ領域   </li> <li>• メディア幅：メディアサイズ領域 (F/W ver.2.8以降より対応)   </li> </ul>
乾燥時間	-	-	インクを乾燥させる時間を設定します。

項目		設定値		内容
		*1	*2	
スキャン	スキャン	ホスト / 0.0 ~ 9.9 sec	0	<p>キャリッジがスキャンするごとに、キャリッジを停止させる時間を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>弊社RIP用ソフトウェア (RasterLink) は、“スキャン毎の乾燥時間”と表示しています。</li> </ul>
	プリントエンド	ホスト / 0 ~ 120 min	0	<p>プリントしたあとの停止時間を設定します。設定した時間を超えると次のデータをプリントします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>弊社RIP用ソフトウェア (RasterLink) は、プリントエンドの指定ができません。本機を“ホスト”に設定すると、時間は“0分”になります。</li> </ul>
ヒーター		AFTER	OFF / 20 ~ 70° C	メディアを予熱し、圧着しやすくします。
		OFF時間	しない / 0 ~ 90分	プリント後、ヒーターを切るまでの時間を設定します。
マージン / 左	マージン / 右	ホスト / 0 ~ 85 mm	0mm	<p>メディア左右の標準余白 (15mm) からオフセットする値を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>弊社RIP用ソフトウェア (RasterLink) は、マージンの指定ができません。本機を“ホスト”に設定すると、左右のマージンはオフセット値が“0mm”になります。</li> </ul>
マージン / 右				
吸着ファン		強 / 弱 / 標準 / ホスト	強	<p>メディアを吸着する強さを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メディアの浮きによるメディアジャムやプリントヘッド破損を防止できます。</li> </ul>
常時動作		ON / OFF		<ul style="list-style-type: none"> <li>ON：常にメディアを吸着します。</li> <li>OFF：プリント実行中やメディアフィードなど、必要なときだけメディアを吸着します。</li> </ul>
フィード速度		ホスト / 10 ~ 100 ~ 200 %	100	<p>メディアの送り速度を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プリント条件によっては、速度が変わらない設定値があります。</li> <li>100%以上に設定した場合、プリント終了までの時間は短くなりますが、十分な乾燥時間が得られないため、画質に影響するおそれがあります。</li> </ul>
オートクリーニング		-	-	<p>自動的にヘッドクリーニングを開始させる条件を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>吐出不良 (ノズル詰まり、飛行曲がりなど) などの症状が発生した場合などに設定します。</li> </ul>
設定		ファイル / 距離 / 時間 / OFF	-	設定した条件の設定値を超えたタイミングで、ヘッドクリーニングを開始します。
間隔		-	-	-
(ファイル)		1 ~ 1000	-	“ファイル”を選択したときの間隔を設定します。設定されたファイル数をプリントし終わると、次ファイルのプリント開始時にクリーニングを実行します。
(距離)		0.1 ~ 100.0 m	-	“距離”を選択したときの間隔を設定します。設定されたプリント長さを超えたタイミングで、クリーニングを実行します。
(時間)		10 ~ 120 min	-	“時間”を選択したときの間隔を設定します。設定されたプリント時間を超えたタイミングで、クリーニングを実行します。

項目		設定値		内容
		*1	*2	
タイプ	タイプ	ノーマル/ソフト/ハード	-	ヘッドクリーニングのタイプを設定します。
	クリーニング後チェック	ON / OFF	-	ヘッドクリーニング終了後にノズルチェックをさせるかどうかを設定します。
定期ワイピング		3 ~ 255 min	-	自動的にプリントヘッドのワイピングを開始させる時間を設定します。プリントした時間が設定値を超えたら、プリント中でもプリントヘッドをワイピングします <ul style="list-style-type: none"> <li>インク滴が落ちるなどの症状が発生した場合などに設定します。</li> </ul>
UVモード		ON / OFF / 印刷無し	ON	UV-LEDの照射するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ON：UV-LEDを照射します。</li> <li>OFF：UV-LEDを照射しません。</li> <li>印刷なし：プリントせずに、UV-LEDを照射します（通常は使用しません）。</li> </ul>
UV光量調整		-50 ~ 0 ~ 50 %	-	あらかじめ設定されているUVランプの光量を変更することができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>マイナス方向：硬化を弱くしたいとき。</li> <li>プラス方向：硬化を強くしたいとき。</li> </ul> *プリントしたあとに、性能（ベタつき、臭気など）を確認してください。
MAPS4		-	-	MAPS：Mimaki Advanced Pass System <ul style="list-style-type: none"> <li>パスの境界を分散させて、パス間の送り縞を目立ちにくくさせる機能です。</li> <li>MAPSを変更すると、色の変化がみられることがあります。また、画像によっては効果が得られないことがあります。</li> </ul>
MAPS4	MAPS4	AUTO / MANUAL	-	通常は"AUTO"で使用してください。"MANUAL"に設定すると、以下の項目が表示されます。
	スムージングレベル	0 ~ 100 %	-	スムージングレベルを上げると、縞が目立ちにくくなります。
	速度	50 ~ 100 %	-	速度を下げると、縞が目立ちにくくなります。ただし、プリント速度が遅くなります。
イオナイザ		-	-	イオナイザー（オプション）の設定します。詳しくは、「イオナイザ取扱説明書」をご覧ください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>オプションを接続しているときに表示されます。</li> </ul>
設定リセット		-	-	設定した内容を初期化します。

## 3.2 メンテナンスメニュー

メンテナンスにお使いいただくメニューです。そのほかにクリーニングやノズル洗浄をしてもノズル詰まりが直らないときに使用するノズルリカバリ機能を設定することができます。

### ● メニュー一覧

\*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

項目	設定値 <sup>*1</sup>	内容
ステーションメンテ	-	キャリッジを移動させて、ステーションやプリントヘッド周辺のメンテナンスをします。
キャリッジアウト	-	
ステーションメンテ	-	キャップやワイパー、NCUなどステーション周辺を清掃します。 ☞ 「ワイパーの清掃」 (P. 95) ☞ 「キャップゴムの清掃」 (P. 98) ☞ 「NCUの清掃」 (P. 99)
ヘッドメンテナンス	-	プリントヘッド周辺を清掃します。 ☞ 「キャリッジ底面の清掃」 (P. 99) ☞ 「メディアセンサーの清掃」 (P. 103) ☞ 「ミストフィルターの清掃」 (P. 101) ☞ 「ミストフィルターの交換」 (P. 116)
ノズル洗浄	-	プリントヘッドのノズル面をメンテナンス液で浸して、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）を復旧します。 ☞ 「プリントヘッドのノズル洗浄」 (P. 127)
ポンプチューブ洗浄	-	吸引ポンプチューブ（キャップ下）を洗浄します。 ☞ 「インク排出経路の洗浄」 (P. 102)
保管洗浄	-	本機を長期間使わないときに実施します。ノズル洗浄と排路洗浄をして、本機を快適な状態に保ちます。 ☞ 「長期間使用しないときは」 (P. 110)
ワイパー交換	-	ワイパーの交換をするときに使用します。ワイパー交換をすると、本機で管理されていたワイパー使用回数が初期化されます。 ☞ 「ワイパーの交換」 (P. 113)
ピンチローラー	-	メッセージが表示されたときおよびAフィルム（糊付きフィルム）の粘着剤の乱れやピンチローラーへの貼り付きが発生した場合、ピンチローラーを清掃または交換してください。
清掃	-	ピンチローラーを清掃するときに使用します。ピンチローラー清掃を実行すると、前回清掃した時点から、ピンチローラー使用距離が初期化されます。 ☞ 「ピンチローラーの清掃」 (P. 106)
交換	-	ピンチローラーの交換をするときに使用します。ピンチローラー交換をすると、本機で管理されていたピンチローラー使用距離が初期化されます。 ☞ 「ピンチローラーの交換」 (P. 118)
ノズルリカバリ	-	ノズル洗浄などメンテナンスしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合、他のノズルを使用してプリントさせることができます。
プリント	-	パターンをプリントして、ノズルの状態を確認、登録します。☞ 「ノズルリカバリーを登録する」 (P. 84)
登録	-	パターンをプリントせずに、ノズルを登録します。

項目	設定値 <sup>*1</sup>	内容
リセット	-	設定した内容を初期化します。
テストプリント	ON / OFF	テストプリントにノズルリカバリーをしてプリントをするかどうかを設定します。
オートメンテナンス	-	各種メンテナンスを自動で実行するように設定できます。各メンテナンスを実行する間隔を設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ワーニングメッセージ"廃インクタンク交換"が表示されていると、オートメンテナンス機能が実行できません。 「<a href="#">廃インクタンクの交換</a>」 (P. 122)</li> <li>オートメンテナンス機能とは別に、"スリープ負圧かけ直し"機能がスリープモードで実行されます。"スリープ負圧かけ直し"機能とは、スリープしているときに、ヘッド内の負圧を保持するために定期的に負圧をかけています。はじめの1時間は15分間隔、それ以降は30分間隔で、"スリープ負圧かけ直し"機能を実行しています。</li> </ul>
リフレッシュ	0.5 ~ 4.0 h	リフレッシュをする間隔を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>プリントヘッドのノズルから、少量のインクを吐出します。ノズル詰まりを防止する効果があります。</li> </ul>
クリーニング間隔	1 ~ 12 h	ヘッドクリーニングをする間隔を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>プリントヘッドをクリーニングします。ノズル詰まりを防止する効果があります。</li> </ul>
クリーニングタイプ	ノーマル / ソフト / ハード	ヘッドクリーニングをするときのクリーニングタイプを設定します。
インク充填	-	インクを充填して、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）を解消します。
廃インクタンク交換	-	廃インクタンクの使用カウントを初期化、もしくは補正します。  「 <a href="#">廃インクタンクの交換</a> 」 (P. 122)
オーバーフローメンテ	-	エラー"インクオーバーフロー"が表示されたときに実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>サブタンク内の過剰なインクを排出して、インクオーバーフローを解消します。</li> <li>1回で解消されないときは、繰り返し実行してください。3回繰り返しても解消されない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
空気抜き	-	インクが混色してしまったときや、空気の混入によるノズル詰まりが発生したときに使用します。キャリッジの手前に付いているポートから、プリントヘッド内のインクや空気を抜き出します。  「 <a href="#">インクが混色した</a> 」 (P. 128)

## ノズルリカバリーを登録する

ノズル洗浄などメンテナンスしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合、他のノズルを使ってプリントさせることができます。



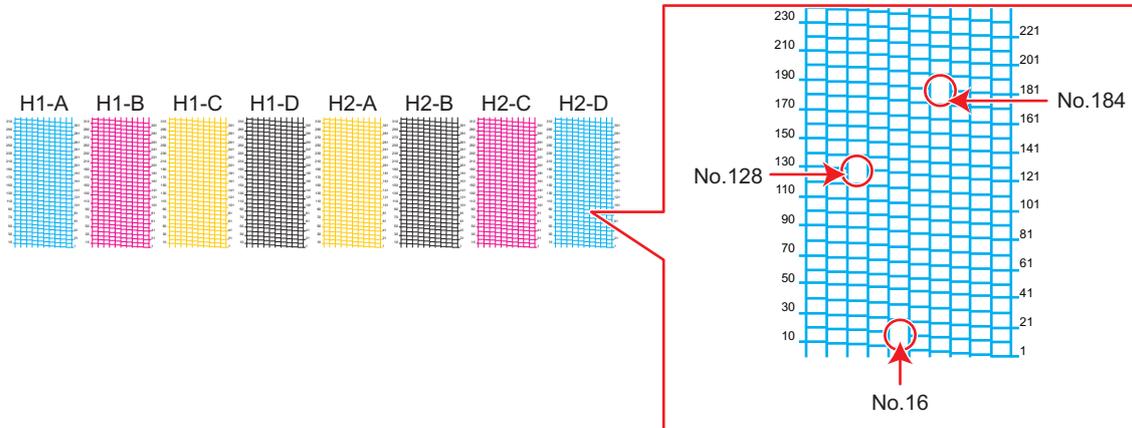
- ノズルリカバリーを1ノズル列あたり10個まで登録できます。ノズルリカバリーを設定しても、プリント時間は変わりません。



- 幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。

### 1 メディアをセットする。

- 2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - メンテナンスメニューが表示されます。
- 3 [ノズルリカバリ] > [プリント]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ノズルリカバリパターンをプリントします。
  - プリントが終了したあとに、登録ノズル選択画面が表示されます。



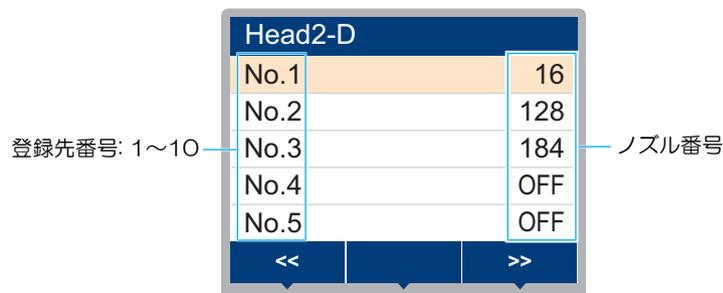
- 6色インクセットの場合、"H1-B"と"H1-D"はプリントされません。

- 4 ノズルリカバリをしたい”ヘッド番号-ノズル列番号”を選択して、[ENTER]キーを押す。



- 5 ノズルリカバリをしたい”ノズル番号”を入力して、[ENTER]キーを押す。

- 登録先の番号を選択してから、"ノズル番号"を入力します。
- ノズルリカバリが設定されます。



- 6 登録が終了したあとに、[ENTER]キーを押す。



- [メンテナンス] > [ノズルリカバリ] > [テストプリント]をONに設定すると、ノズルリカバリされてテストプリントされます。☞ 「テストプリントをする」 (P. 67)

## 3.3 マシン設定メニュー

本機を快適にお使いいただくために各種オペレーションを設定することができます。

### ● メニュー一覧

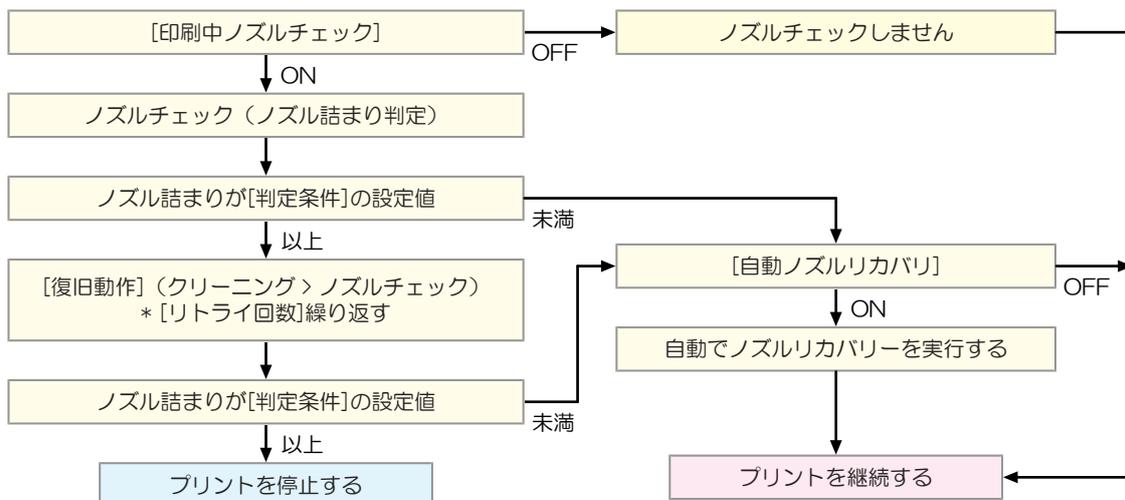
\*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

項目	設定値 <sup>*1</sup>	内容
オートパワーオフ	10 ~ <u>60</u> min	自動で電源を切る時間を設定します。
巻取ユニット	-	巻き取りユニットの動作を設定できます。
巻取ユニット	<u>ON</u> / OFF	巻き取りユニットを使わない場合は、OFFにしてください。
巻取スイッチ	<u>継続</u> / 一時	ローカルモードで、巻き取りユニットのON / OFFボタンの動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>継続：ボタンを押すごとに、巻き取りユニットが回転、停止を繰り返します。</li> <li>一時：ボタンを押している間だけ、巻き取りユニットが回転します。スイッチを放すと、回転が止まります。</li> </ul>
メディア残量	ON / <u>OFF</u>	リモートモードでロールメディア残量を表示、プリントすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ON：メディア幅検出後に、入力画面が表示されます。▲ ▼を押して、メディアの長さを設定します。“原点設定”画面で[FUNC3]キーを押すと、日付とメディア残量をプリントすることができます。</li> <li>OFF：メディア残量は表示されません。</li> </ul>
メディア検出	-	メディア幅の検出方法を設定します。
検出方法	<u>AUTO</u> / MANUAL	<ul style="list-style-type: none"> <li>AUTO：センサーを使って、メディアの幅を自動で検出します。</li> <li>MANUAL：◀▶を押して、メディアの幅を手動で決定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>メディア押さえを使用しないときは、メディア幅の検出方法を"MANUAL"に設定してください。</li> </ul> </li> </ul>
時刻設定	-20h ~ <u>0</u> ~ +4h	現在の日付と時刻を設定します。（日本時間基準） <ul style="list-style-type: none"> <li>-20 ~ +4 時間の間で設定できます。</li> </ul>
単位 / 温度	° <u>C</u> / °F	温度の表示単位（摂氏/華氏）を設定します。
単位 / 長さ	<u>mm</u> / inch	長さ、面積の表示単位を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>"inch"に設定しても、"mm"単位で表示している項目もあります。</li> </ul>
キーブザー	<u>ON</u> / OFF	キーを押したときのブザー音を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>"OFF"に設定しても、エラー / 警告 / 動作完了等のブザー音を消すことはできません。</li> </ul>
確認フィード	<u>ON</u> / OFF	テストプリントなどのプリント結果を確認するために、メディアを前方向にフィードさせるかどうかを設定します。
圧着フィード	<u>ON</u> / OFF	オンラインプリント終了時に次のプリントデータの送信がない場合、圧着ローラー位置まで自動的にフィードを行うかどうかを設定します。

項目	設定値 <sup>*1</sup>	内容
ネットワーク	-	ネットワークのアドレスを設定します。設定を有効にするには、本機の再起動が必要です。
IPアドレス確認	-	本機が使用中のIPアドレスが表示されます。 • IPアドレスが確定するまで、時間がかかります。IPアドレスが未確定の場合、“0.0.0.0”と表示されます。
MACアドレス確認	-	本機が使用中のMACアドレスが表示されます。
DHCP	ON / <u>OFF</u>	"ON"の場合、DHCPサーバーより与えられたIPアドレスが使用されます。
AutoIP	ON / <u>OFF</u>	"ON"の場合、AutoIPプロトコルにより使用するIPアドレスが決定されます。ただし、DHCPが"ON"の場合は、DHCPが優先されます。
IPアドレス	-	本機が使用するIPアドレスを設定します。 • [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。
デフォルトゲートウェイ	-	本機が使用するデフォルトゲートウェイを設定します。 • [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。
DNS アドレス	-	本機が使用するDNSサーバーのアドレスを設定します。 • [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。
サブネットマスク	-	本機が使用するサブネットマスクの桁数を設定します。 • [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。
自動リモート	<u>ON</u> / OFF	ローカルモードのときにデータを受信すると、自動的にリモートモードへ移行してプリントを開始するかどうかを設定します。
リモートコントロール	-	リモートコントロール機能をご利用になる場合は、アプリケーション（MRA：Mimaki Remote Access）が必要になります。MRAは、コンピューターやスマートフォンにインストールして、本機から離れた場所（同一セグメントのネットワーク内）でも、本機の情報を見ることができたり、パネル操作を可能にするリモートアクセスツールです。
設定	有効 / 無効	リモートコントロールの有効/無効を設定します。
PINコード	<u>0000</u> ~ 9999	MRAと同じPINコードを入力します。PINコードは、本機とMRA間の認証に使用します。 • 本機を“0000”に設定すると、MRAがどんなPINコードでも本機にアクセスできるようになります。
キーライフタイム	5 ~ <u>30</u> ~ 120 min	一定時間MRAを操作しなかったときに、本機とMRAの接続を解除する時間を設定します。

## 3.4 ノズルチェックメニュー

プリント前にノズル詰まりがあるかどうかをチェックします。ノズル詰まりがあった場合、自動でメンテナンス機能を実行させるかどうかを設定します。



### ● メニュー一覽

- \*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。
- \*2. ノズルリカバリーが適用されないプリント条件があります。



- ・ ノズルチェックを実行中にエラーが発生した場合、次のプリントを自動で停止して、[印刷中チェック]が"OFF"に変更されます。エラーを解消したら、[印刷中チェック]を手動で"ON"に設定してください。

項目	設定値 <sup>*1</sup>	内容	
印刷中チェック	ON / OFF	プリント開始前に自動でノズル詰まり検出動作を実行します。	
チェック間隔	距離	-	ノズル詰まり検出動作のタイミングを設定します。
	距離	0.1 ~ <u>30.0</u> ~ 50.0m	設定した距離に達したあとに、次のプリントが開始されるタイミングでノズル詰まり検出動作を実行します。
	ファイル	1 ~ <u>30</u> ~ 100 ファイル	設定した数のファイルをプリントしたあとに、次のプリントが開始されるタイミングでノズル詰まり検出動作を実行します。
	復旧動作	-	"ノズル詰まり"と判定された場合、復旧動作（クリーニング>ノズルチェック）を実行します。
	クリーニング	<u>ソフト</u> / ノーマル / ハード	クリーニングタイプを設定します。
	リトライ回数	<u>0</u> ~ 3回	指定回数分、復旧動作（クリーニング>ノズルチェック）を実行します。
自動ノズルリカバリ	ON / OFF	"ノズル詰まり"と判定された場合、自動でノズルリカバリーを実行します。手動で設定したいときは、以下を参照してください。  「ノズルリカバリーを登録する」 (P. 84)	
判定条件 <sup>*2</sup>	OFF / <u>1</u> ~ 64 ノズル	"ノズル詰まり"と判定するノズル数を設定します。1 ノズル列あたり16ノズルまで設定することができます。 連続プリント中に"ノズル詰まり"と判定された場合、次のプリントは開始されません。	

## 3.5 情報メニュー

本機の各種情報を確認することができます。

### ● メニュー一覧

項目	内容
使用状況	ワイピング ワイピングした回数が表示されます。 ・表示中に[FUNC2]キーを押すと、使用回数を初期化することができます。
	廃インクタンク 廃インクタンクに溜まっている廃インク量の目安(%)が表示されます。 ・表示中に[FUNC1]キーを押すと、廃インク量を初期化することができます。
	プリント長 累積されたプリント長が表示されます。
	プリント面積 累積されたプリント面積が表示されます。
	使用時間 累積された電源オンの時間が表示されます。
	UVランプ 累積されたUVランプ照射時間が表示されます。
	ピンチローラー ピンチローラーの累積されたプリント長が表示されます。
バージョン 本機のファームウェア、その他のバージョンが表示されます。	
インク交換レポート インクの履歴をプリントします。	
エラー履歴 エラー、ワーニングの履歴が表示されます。 ・発生順に発生日時とエラー、ワーニング情報をキー操作で切り替えて表示します。	
リスト 本機の情報を実機でプリントすることができます。	



# 第4章 メンテナンス



## この章では...

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるように、使用頻度に応じて定期的にお手入れをしてください。  
メンテナンスに関する注意事項をよくお読みになってから、お手入れをしてください。

メンテナンスに関するご注意.....	92	消耗品の交換.....	113
メンテナンスの方法.....	93	ワイパーの交換.....	113
メンテナンス項目とタイミング.....	93	キャップ吸収材の交換.....	114
インクのメンテナンス.....	95	ミストフィルターの交換.....	116
ワイパーの清掃.....	95	排気ファンフィルターの交換.....	117
キャップゴムの清掃.....	98	ピンチローラーの交換.....	118
NCUの清掃.....	99	メディア押さえの交換.....	120
キャリッジ底面の清掃.....	99	廃インクタンクの交換.....	122
ミストフィルターの清掃.....	101	インクボトルキャップの交換.....	124
インク排出経路の洗浄.....	102		
メディアセンサーの清掃.....	103		
メディア押さえの清掃.....	104		
ジャムセンサーの清掃.....	104		
プラテンの清掃.....	105		
カバー（外装）の清掃.....	106		
ピンチローラーの清掃.....	106		
圧着ローラー発泡材の位置確認と調整.....	109		
長期間使用しないときは.....	110		

## 4.1 メンテナンスに関するご注意



- 定期的に交換しなければならない部品がありますので、保守契約をしていただくことをお勧めします。また品質不良や事故を未然に防ぐために、定期的にメンテナンスしたり、消耗品を交換したりしてください。

### 警告



- 定期的に清掃してください。本機を長年使用していると、電気部品にゴミやホコリがたまってしまう。漏電による本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- エアブローなどエア吹き付けによる清掃はしないでください。飛散したゴミやホコリが電気部品に侵入して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。もしくは、掃除機などで吸い取ってください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

### 注意



- UV-LEDユニットは非常に高温になります。LEDが消灯して十分温度が下がるまで、手を触れないように注意してください。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったおそれがあります。



### 注記



- プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。また、水やアルコールを付着させないでください。本機の故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ヘッドの周辺やキャリッジの周辺を清掃するときは、綿棒を使わないでください。綿棒の繊維がヘッドノズル面に付着すると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- カバーにインクやメンテナンス液を付着させないでください。カバーの表面が変質したり、変形したりする原因になります。
- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。部品が変質したり、変形したりする原因になります。
- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。
- キャリッジを手動で移動しないでください。キャリッジを移動したいときは、メニューからキャリッジアウトを実行してください。

## 4.2 メンテナンスの方法

### メンテナンス項目とタイミング

タイミング	項目
1日の作業が終わったとき	ワイパーとワイパーブラケットを清掃してください。☞ 「ワイパーの清掃」 (P. 95)
	ワイパークリーナーを清掃してください。☞ 「ワイパーの清掃」 (P. 95)
	キャップゴムを清掃してください。☞ 「キャップゴムの清掃」 (P. 98)
	NCUを清掃してください。☞ 「NCUの清掃」 (P. 99)
	UV-LEDランプの底面を清掃してください。☞ 「キャリッジ底面の清掃」 (P. 99)
	キャリッジの底面を清掃してください。☞ 「キャリッジ底面の清掃」 (P. 99)
	ミストフィルター1 紙タオルなどで押さえて、インクを吸い取ってください。☞ 「ミストフィルターの清掃」 (P. 101)
	メディアセンサーを清掃してください。☞ 「メディアセンサーの清掃」 (P. 103)
	メディア押さえを清掃してください。☞ 「メディア押さえの清掃」 (P. 104)
ジャムセンサーを清掃してください。☞ 「ジャムセンサーの清掃」 (P. 104)	
1週間の作業が終わったとき	ワイパーのインク受けのインク吸収材 紙タオルなどで押さえて、インクを吸い取ってください。☞ 「ワイパーの清掃」 (P. 95)
	ミストフィルター2 紙タオルなどで押さえて、インクを吸い取ってください。☞ 「ミストフィルターの清掃」 (P. 101)
	インク排出の経路を清掃してください。☞ 「インク排出経路の洗浄」 (P. 102)
	プラテンを清掃してください。☞ 「プラテンの清掃」 (P. 105)
	カバー（外装）を清掃してください。☞ 「カバー（外装）の清掃」 (P. 106)
	廃インクタンクの廃インク量を確認してください。
汚れが目立つとき	排気ファンフィルターを交換してください。☞ 「排気ファンフィルターの交換」 (P. 117)
	排気ファンBOXを交換してください。
隙間が目立つとき	圧着ローラーの発泡材の間に隙間がある時は、位置を調整してください。☞ 「圧着ローラー発泡材の位置確認と調整」 (P. 109)
	排気ファンBOXを交換してください。

タイミング	項目
1週間以上使わないとき	ワイパーの清掃、キャップの清掃、インク排出経路の洗浄をしてください。清掃が終了した後は、主電源は切らずに保管してください。☞「長期間使用しないときは」(P. 110)
定期的に	インクボトルを振ってください。☞「インクのメンテナンス」(P. 95)
	インクボトルのキャップを交換してください。☞「インクボトルキャップの交換」(P. 124)
メッセージが出たとき	ピンチローラーを清掃してください。☞「ピンチローラーの清掃」(P. 106)
	ピンチローラーを交換してください。☞「ピンチローラーの交換」(P. 118)

## メンテナンスに必要な道具

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト (<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>) にてご覧になれます。



- 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

## インクのメンテナンス

インクに含まれている成分が沈降すると、インクの濃度が不均等になってしまうおそれがあります。安定してプリントしていただくために、定期的にインクボトルを振っていただくことをお勧めします。

UVインク：1か月に1回程度。

ホワイトインク：1日に1回程度。

### ● インクボトルを振る

#### 1 インクボトルを20回以上ゆっくりと左右に振る。

- インクボトルのフタをしっかりと締めて、推奨の不織布でインクボトルのフタを押さえて、インクを流すように左右に振ってください。



- ゆっくりと振ってください。強く振るとインクが漏れたり、インクの中に空気が入り込んでノズル詰まりになったりするおそれがあります。
- 使いかけのインクボトルの場合は、インクボトルが縦になるまで傾けてゆっくりと振ってください。

## ワイパーの清掃

ワイパーは、プリントヘッドのノズル面に付着したインクを拭き取っています。汚れたまま使い続けると、固まったインクやホコリの付着したワイパーがノズル面を傷つけて、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）のおそれがあります。



- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

#### 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス] > [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

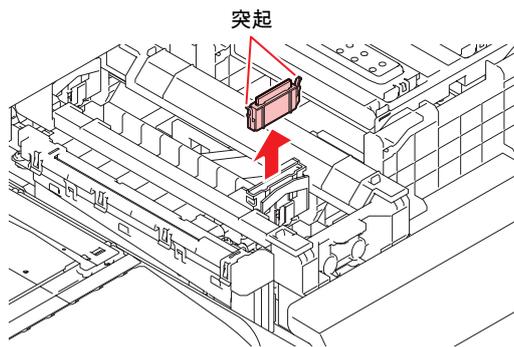
#### 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ステーションメンテ]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- キャリッジがプラテン上に移動します。

#### 3 正面カバーを開く。

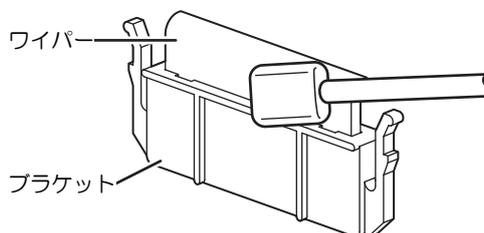
#### 4 ワイパーを外す。

- ・ワイパーブラケットの両端の突起を持って引き抜きます。



#### 5 ワイパーとブラケットを清掃する。

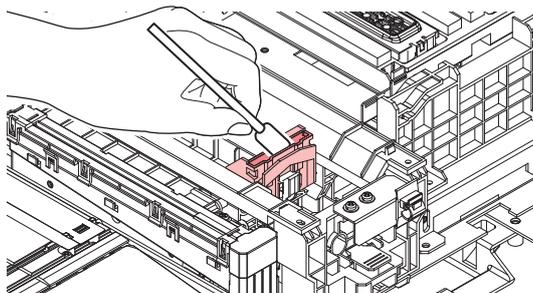
- ・メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



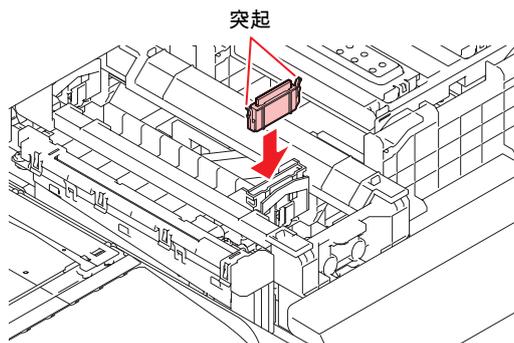
・ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。☞「ワイパーの交換」(P. 113)

#### 6 ワイパーライダーを清掃する。

- ・メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。

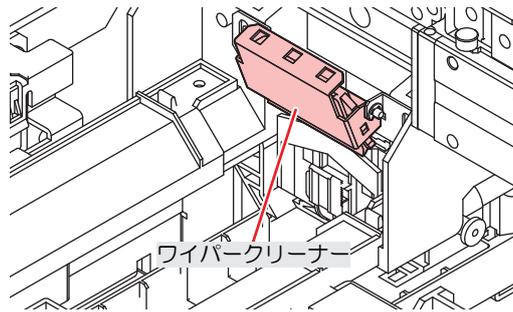


#### 7 ワイパーを元の位置にセットする。



## 8 ワイパークリーナーを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



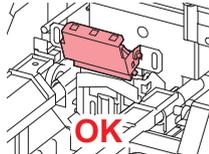
- ワイパークリーナーのワイパーは、表面だけ清掃します。裏面の清掃は必要ありません。



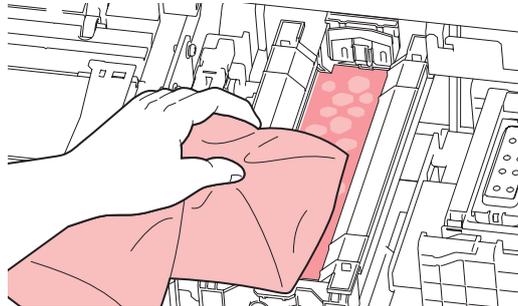
- ワイパークリーナーは、ブラケットから取り外さないでください。



- 清掃が終了したあとに、ワイパークリーナーが上を向いていないことを確認してください。



- 1週間に1回、紙タオルなどを使い、インク受けの中のインクを吸い取ってください。インクが溢れるおそれがあります。



- 吸収材ケースの中の吸収材は、取り外さないでください。インクが溢れるおそれがあります。

## 9 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

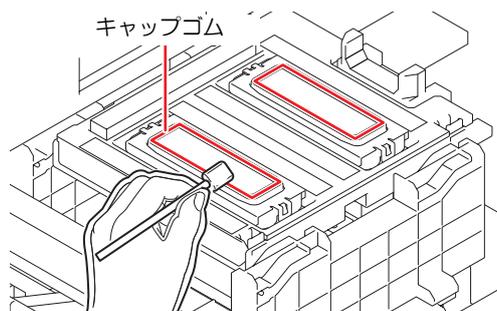
## キャップゴムの清掃

キャップは、プリントヘッドのノズル面を乾燥から守る役割があります。汚れたまま使い続けると、インクの吸引が正常にできなくなって、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）のおそれがあります。



- ・ クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

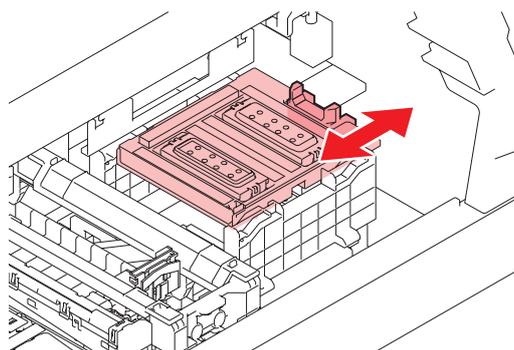
- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス] > [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ステーションメンテ]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3 正面カバーを開く。
- 4 キャップゴムを清掃する。
  - ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- 5 清掃が終わったら、キャップスライダの傾きを確認する。



- ・ キャップスライダーが傾いている場合、スライダーブロックを左右へ動かして、傾きを直してください。



- 6 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

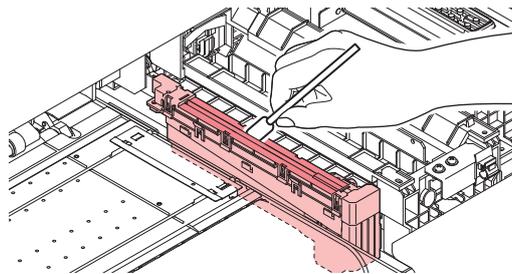
## NCUの清掃

NCUは、プリントヘッドのノズルから吐出インク滴をセンサーで監視しています。汚れたまま使い続けると、ノズルチェック機能が正常に動作しないおそれがあります。

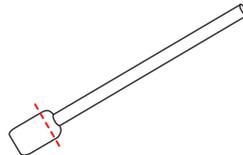


- ・ クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス] > [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ステーションメンテ]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3 正面カバーを開く。
- 4 NCUを清掃する。
  - ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- ・ クリーンスティックは、イラストの位置まで挿し込んでください。



- 5 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

## キャリッジ底面の清掃

キャリッジ底面は、ワイパーで拭き取ったインクが付着しています。汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがメディアをこすり付けて、成果物を汚してしまう原因になります。

また、プリントヘッドは非常に微細なメカニズムを採用しております。お手入れの際には十分な注意が必要です。

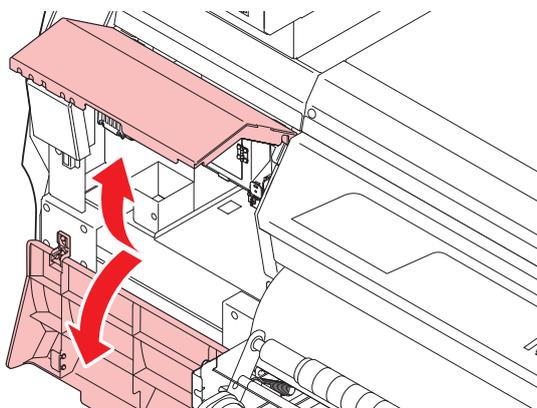


- ・ クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス] > [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・ メンテナンスメニューが表示されます。

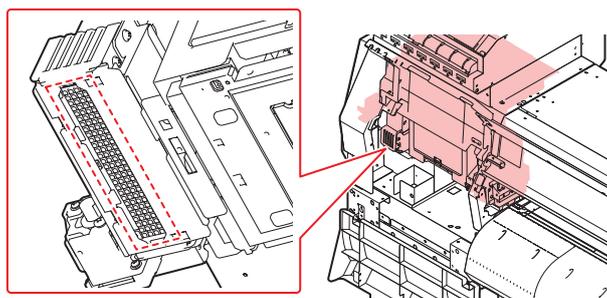
- 2 [ステーションメンテ]>[キャリッジアウト]>[ヘッドメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- ・キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

- 3 メンテナンスカバーを開く。



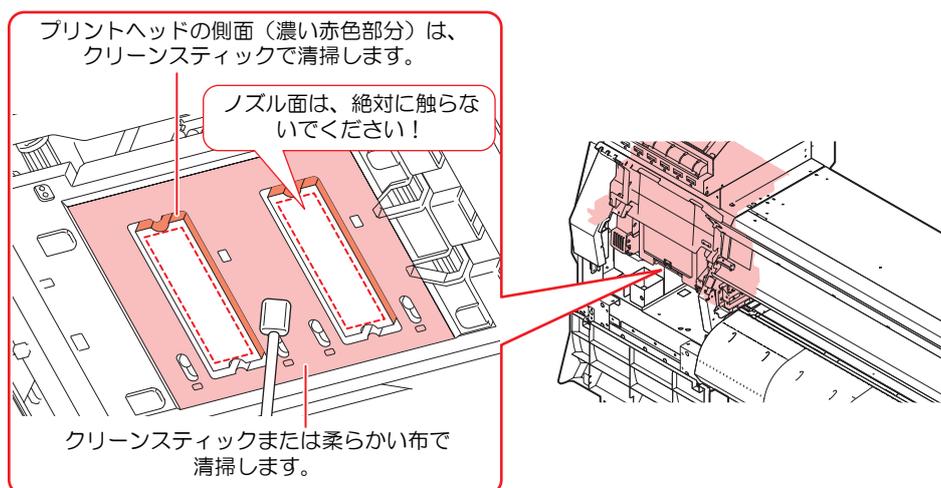
- 4 UV-LEDランプを清掃する。

- ・メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- 5 プリントヘッド周辺を清掃する。

- ・メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。

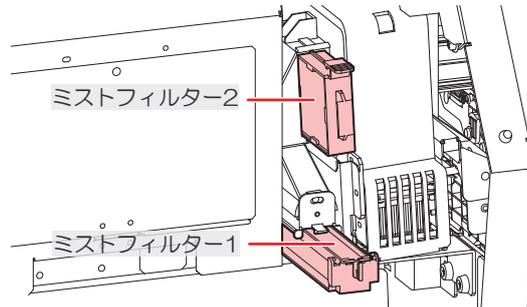


- ・プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。

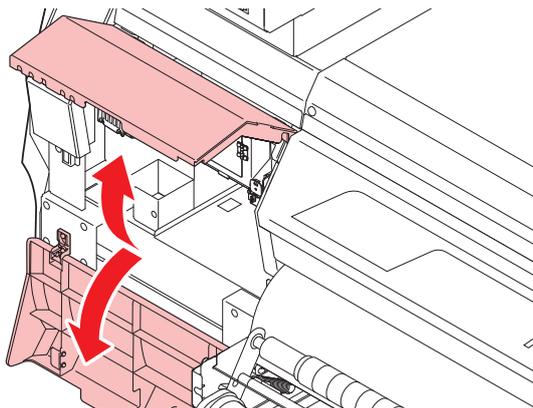
- 6 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

## ミストフィルターの清掃

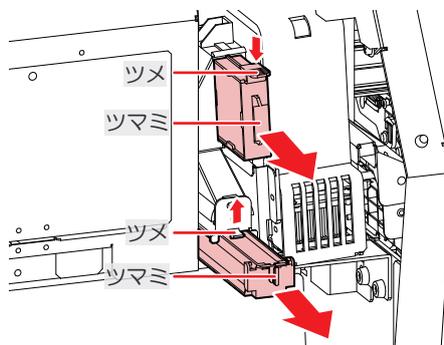
ミストフィルターは、プリントヘッドからインク滴を吐出した際に発生するミストを吸収しています。汚れたまま使い続けると、成果物を汚してしまう原因になります。



- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス] > [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ヘッドメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 3 メンテナンスカバーを開く。



- 4 ミストフィルターを外す。
  - ・ ツメを矢印の方向に押しながら、つまみを手前に引いて外します。

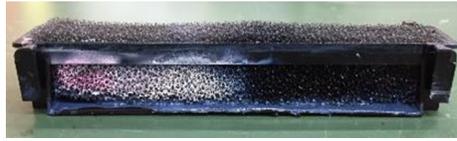


- 5 フィルターを清掃する。
  - ・ フィルターを外して、紙タオルなどで押さえて汚れを落とします。
  - ・ フィルターケースに付着した汚れを拭き取ります。



- フィルターについたインクが液状化するなど、汚れがひどい場合は、フィルターを交換してください。

☞ 「ミストフィルターの交換」 (P. 116)

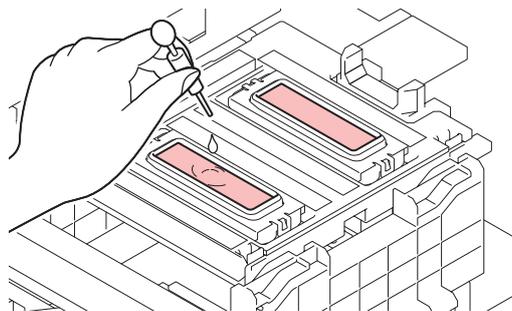


- 6 ミストフィルターを元の位置にセットする。
- 7 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

## インク排出経路の洗浄

キャップ下のインク排出経路のインク詰まりを防止するため、定期的にインク排路の洗浄をしてください。

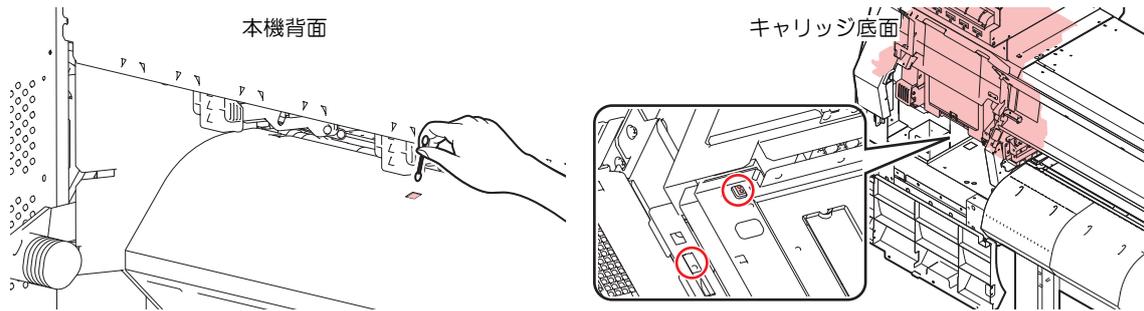
- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス] > [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [ポンプチューブ洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - キャリッジがプラテン上に移動します。
  - ディスプレイに"洗浄液を満たす 終了 次へ [ENT]"と表示されます。
- 3 正面カバーを開く。
- 4 キャップいっぱいメンテナンス液を満たす。
  - スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。



- 5 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。
  - ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。

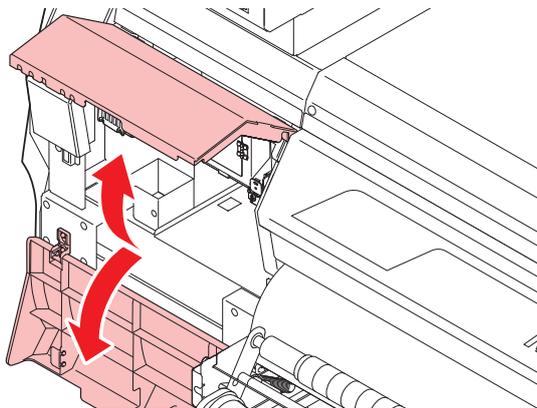
## メディアセンサーの清掃

背面側のリアカバーとキャリッジ底面に、メディアセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたまると、メディアの誤検出の原因になります。綿棒や柔らかい布で取り除いてください。



### ● キャリッジ底面のセンサーを清掃するときは

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス] > [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ヘッドメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 3 メンテナンスカバーを開く。



- 4 メディアセンサーを清掃する。
- 5 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

## メディア押さえの清掃

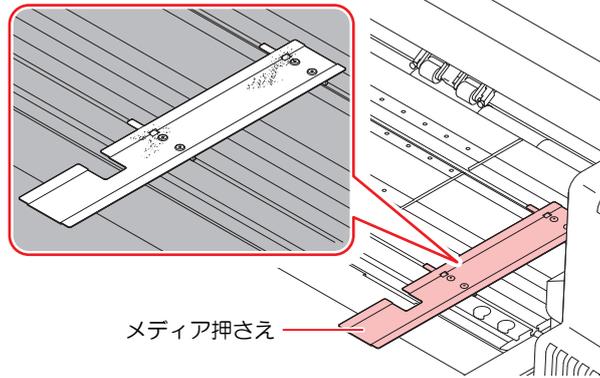


- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



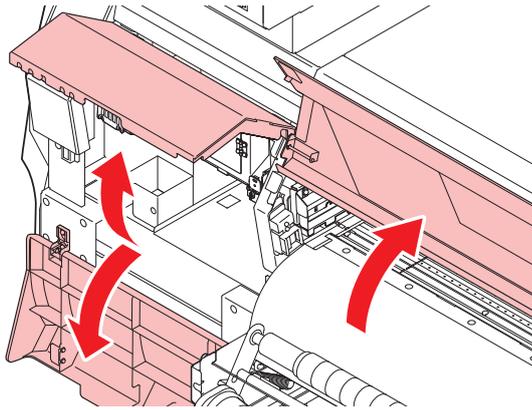
- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。

## ジャムセンサーの清掃

キャリッジ両側のUV-LEDユニット側面に、ジャムセンサーユニットが付いています。センサーユニットにインク汚れやホコリがたまると、メディアジャムの原因になります。紙タオル等で清掃してください。

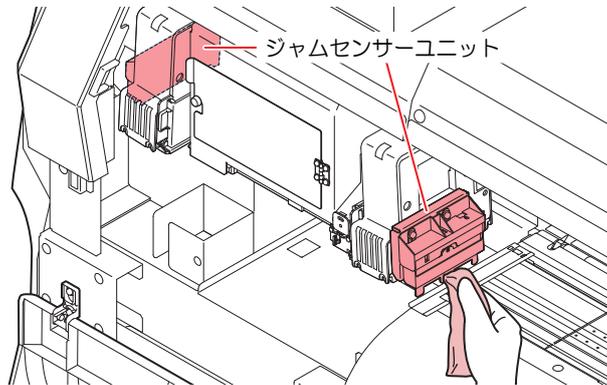
- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス] > [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ヘッドメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

### 3 正面カバーとメンテナンスカバーを開く。



### 4 キャリッジの左右にある、ジャムセンサーユニットを清掃する。

- ジャムセンサー下部を重点的に、正面カバー側とメンテナンスカバー側の両方から清掃してください。
- メンテナンス液を含ませた紙タオルで、付着したインクやホコリを拭き取ります。清掃後は、メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



### 5 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

## プラテンの清掃

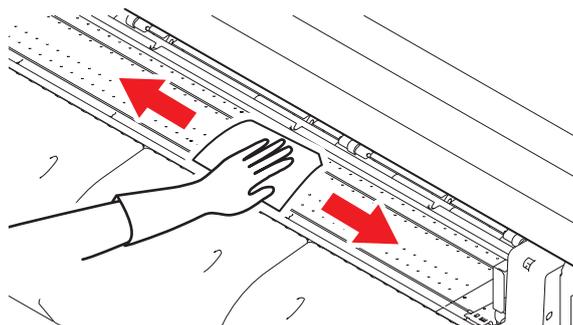


- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。





- メディア押さえをスライドする溝やメディアを裁断する溝は、ゴミがたまりやすい場所です。丁寧にゴミを取り除いてください。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

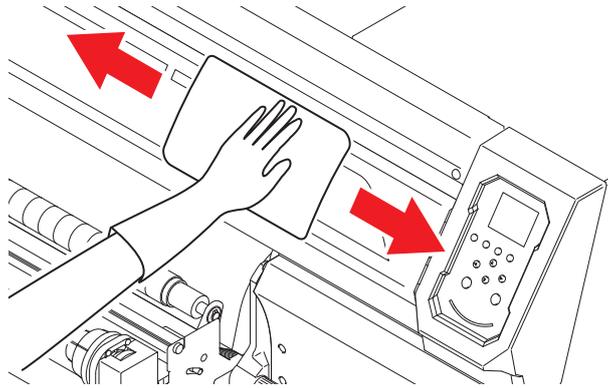


- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。

## カバー（外装）の清掃



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

## ピンチローラーの清掃

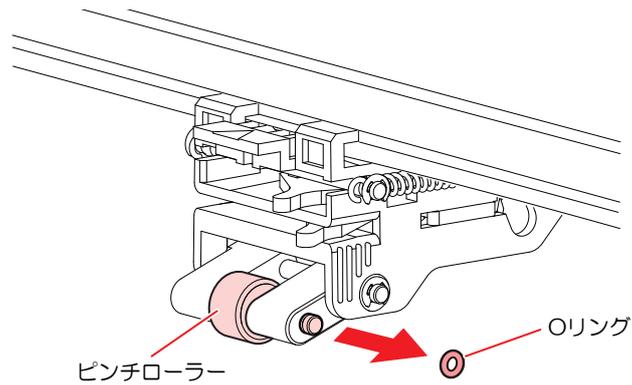
本機は印刷距離をカウントして、規定値になるとディスプレイに“ピンチローラー清掃”が表示されます。糊剤の乱れやピンチローラーへの貼り付きが発生するときもピンチローラーを清掃してください。



- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。

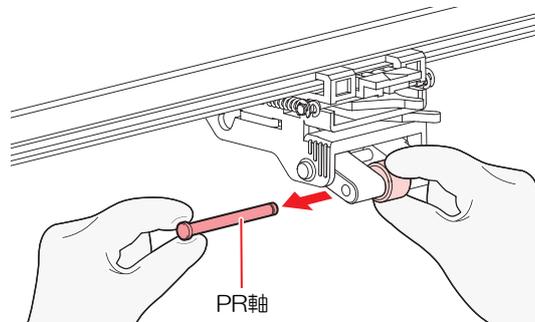
- 1 正面カバーを開く。
- 2 クランプレバーを上げる。

### 3 ピンチローラを固定しているOリングを外す。



- 部品が小さいので、すき間に落下させないように注意してください。

### 4 PR軸を外す。



- ピンチローラ表面には素手で触れないように注意してください。ピンチローラにAフィルム（糊付きフィルム）の粘着剤が貼り付きやすくなるおそれがあります。

### 5 ピンチローラを中性洗剤か弱アルカリ性の洗剤で洗浄する。



**6** 洗剤を水で洗い流す。



- スポンジ等で表面の汚れをこすり落とすように洗浄してください。
  - 洗浄後は30分以上乾燥させてください。
- 

**7** 洗浄したピンチローラーをセットして、Oリングで固定する。

**8** 正面カバーを閉じる。

**9** 電源を入れる。

**10** ローカルモード画面から [MENU] > [メンテナンス] > [ピンチローラー] > [交換] を選択して、[ENTER] キーを押す。

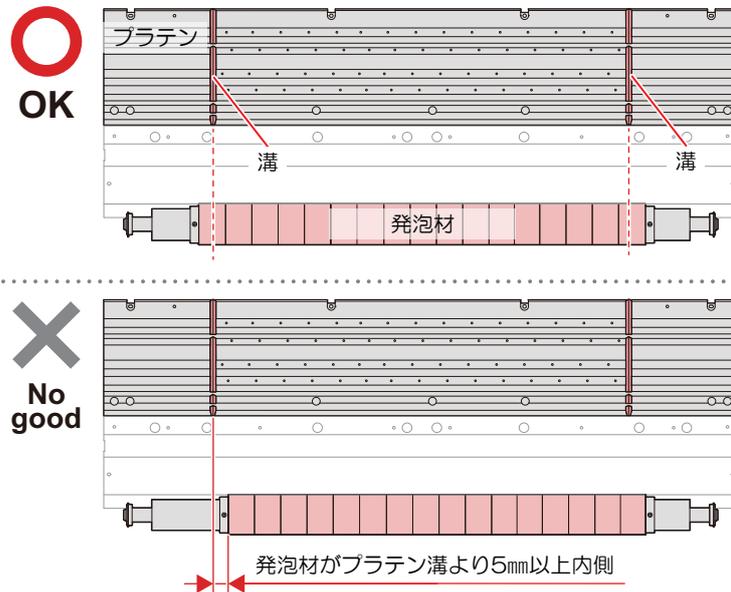
- 実行すると、清掃メッセージが消えます。

## 圧着ローラー発泡材の位置確認と調整



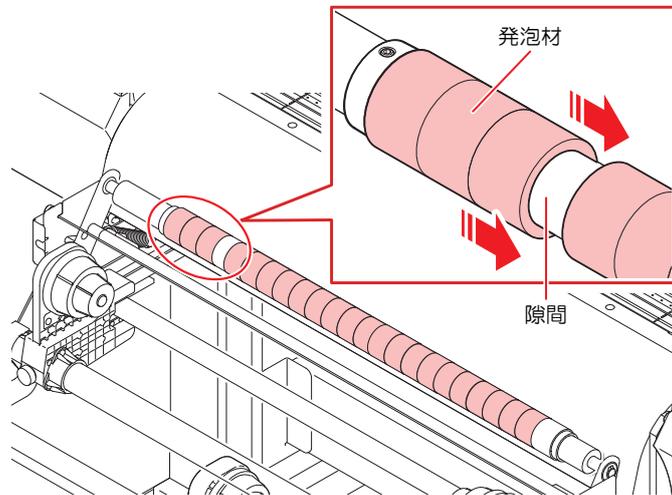
- 発泡材が適切な位置にあることを確認してください。

(1) 圧着ローラーの発泡材の両端が、プラテンの溝より外側にあれば適正です。プラテン溝より発泡材が内側にある場合、その間が4mm以下であれば問題ありません。5mm以上内側に発泡材がある場合は、メディアの搬送に支障が出る恐れがあります。



(2) 圧着ローラーの一つひとつの発泡材の間に隙間がある場合も、発泡材の位置を移動させてください。

発泡材同士が強く当たると、圧着時に気泡が発生しやすくなります。発泡材の間の隙間がなくなったら、それ以上強く押さないでください。



圧着ローラーの発泡材が適正な位置にない場合は、以下の手順に従って取り付け位置を調整します。



- 使用する工具

(1) 六角レンチ (対辺1.5mm)

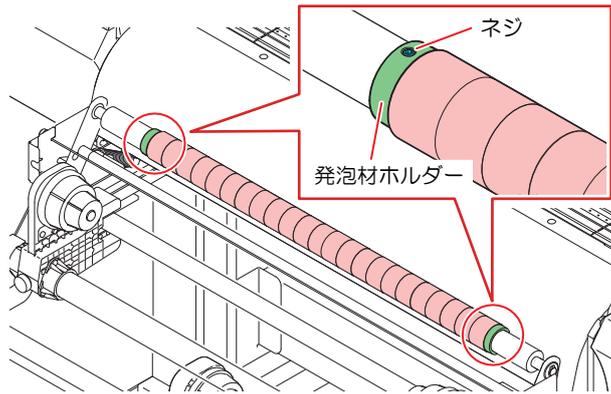
- 付属品として本機に同梱しています。

### 1 発泡材ホルダーの固定ネジを緩める。

- 付属の六角レンチを使ってネジを緩めます。



- 位置が均等になるように、発泡材ホルダーは左右両方の固定ネジを緩めて、調整してください。

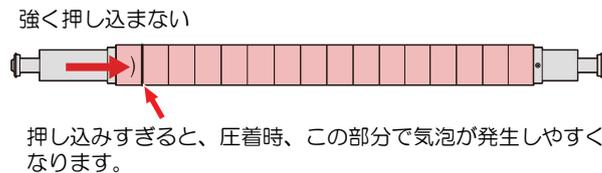


## 2 発泡材の位置を移動する。

- 隣り合う発泡材同士が、隙間なく平らに並ぶように発泡材を移動します。
- プラテンの溝に対して、左右の発泡材が適正な位置にくるように確認してください。



- 発泡材同士が強く当たると、圧着時に気泡が発生しやすくなります。発泡材の間の隙間がなくなったら、それ以上強く押さないでください。



## 3 発泡材ホルダーを発泡材に接触させた状態で、ホルダーの固定ネジを締める。

## 4 圧着ローラーを手でゆっくりと回転させ、ローラー全域で、発泡材の間に隙間がないことを確認する。

## 長期間使用しないときは

1週間以上使用しないときは、以下の内容にしたがって清掃してください。

### 事前に確認してください

[ニアエンド]、[インクエンド]は表示していませんか？

- 洗浄動作の際に、メンテナンス液やインクを吸引します。このとき、エラーが発生していると洗浄ができません。新しいインクに交換してください。

## 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス] > [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

## 2 [ステーションメンテ] > [保管洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。

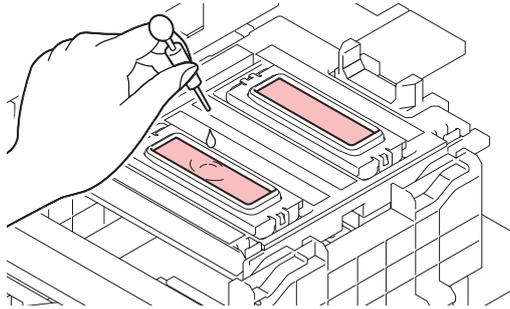
- キャリッジがプラテン上に移動します。

## 3 正面カバーを開く。

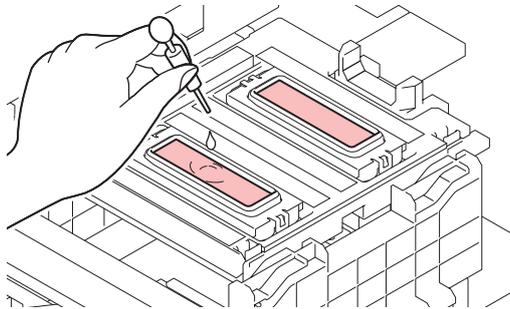
## 4 ワイパーとブラケットを清掃する。

- 「ワイパーの清掃」 (P. 95)

- 5 清掃が終わったら、[ENTER]キーを押す。
  - ・ ディスプレイに"キャップクリーニング 終了 次へ [ENT]"と表示されます。
- 6 キャップゴムを清掃する。
  - ・  「キャップゴムの清掃」 (P. 98)
- 7 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。
  - ・ ディスプレイに"洗浄液を満たす 終了 次へ [ENT]"と表示されます。
- 8 キャップいっぱいメンテナンス液を満たす。
  - ・ スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。



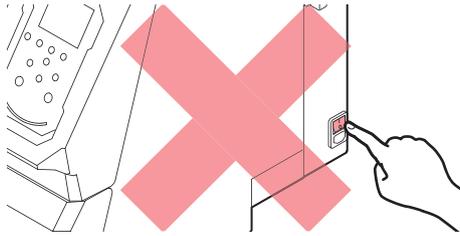
- 9   を押して、放置時間を入力する。(FW バージョン3.2以降より対応)
  - ・ 放置時間の推奨時間は1分です。
- 10 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。
  - ・ プリントノズルの洗浄を開始します。ディスプレイに経過時間が表示されます。
  - ・ プリントノズルの洗浄が終了すると、自動的にクリーニングを実行します。
  - ・ ディスプレイに"洗浄液を満たす 終了 次へ [ENT]"と表示されます。
- 11 正面カバーを開く。
- 12 キャップいっぱいメンテナンス液を満たす。
  - ・ スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。



- 13 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。
  - ・ ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。



- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- プラテン上にメディアをセットしたまま放置しないでください。メディアが波打つ原因になります。



本機を使用しないときは、クランプレバーを上げてピンチローラーとグリットローラーを離してください。

- ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常にフィードできなくなるおそれがあります
- メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチローラー跡が残る原因になります。



- ディスプレイに「廃インクタンク確認」が表示されたら、以下を実施してください。

☞ 「廃インクタンクの交換」 (P. 122)



- 本機を使用しないときは、圧着ローラーを上げて圧着ローラーとアフターカバーを離してください。

圧着ローラーを下げたまま放置すると、圧着ローラーが変形して、正常に圧着できなくなるおそれがあります。

## 4.3 消耗品の交換

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト (<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>) にてご覧になれます。



- ・ 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

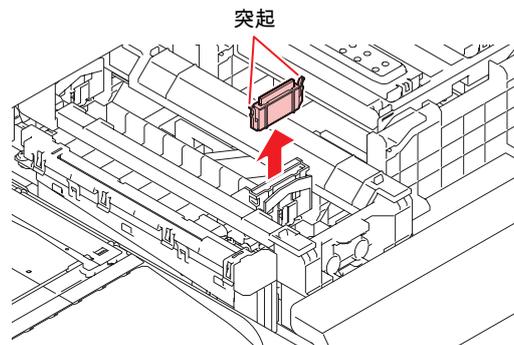


- ・ 消耗品を廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

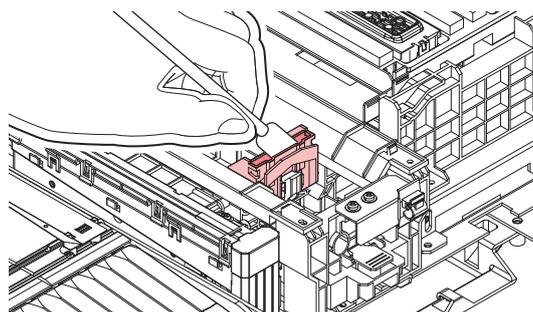
### ワイパーの交換

本機はワイピング回数をカウントしています。規定値になるとディスプレイに"ワイパー交換"が表示されま  
す。ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。

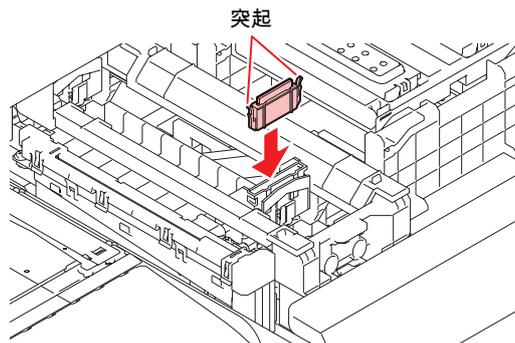
- 1 ディスプレイに"ワイパー交換"が表示される。
- 2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス] > [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト]を  
選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 3 [ステーションメンテ] > [ワイパー交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
- 4 正面カバーを開く。
- 5 ワイパーを外す。
  - ・ ワイパーブラケットの両端の突起を持って引き抜きます。



- 6 ワイパー-sliderを清掃する。
  - ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メ  
ンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



## 7 新しいワイパーをセットする。



## 8 交換が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

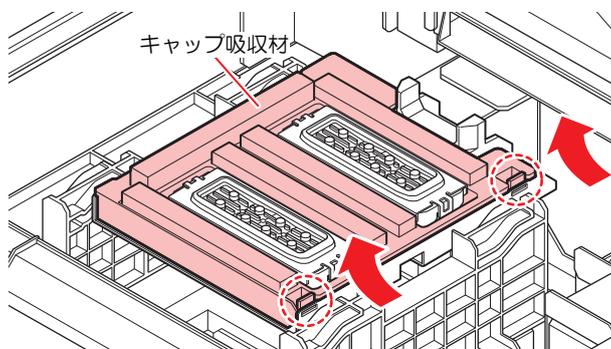
- ワイパーの使用回数が初期化されます。

## キャップ吸収材の交換

本機は使用回数をカウントしています。規定値になるとディスプレイに"キャップ吸収材交換"が表示されません。

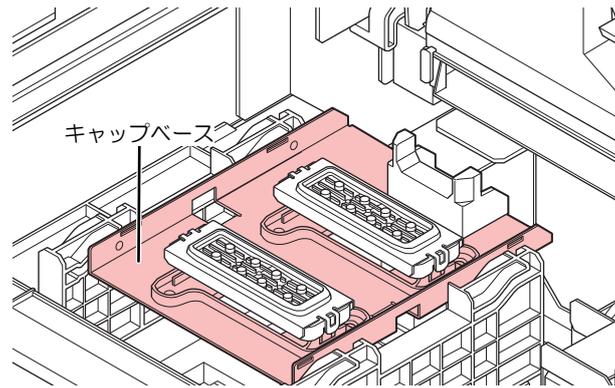
キャップ吸収材の汚れが激しいときや、メディアにポタ落ちなどがみられる場合も、新しいキャップ吸収材に交換してください。

- 1 ディスプレイにメッセージ"キャップ吸収材交換"が表示される。
- 2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス] > [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - メンテナンスメニューが表示されます。
  - キャリッジがプラテン上に移動します。
  - キャップ吸収材の使用回数が初期化されます。
- 3 主電源を切る。
- 4 正面カバーを開く。
- 5 キャップ吸収材を外す。
  - 手前のツメを押し上げて外します。



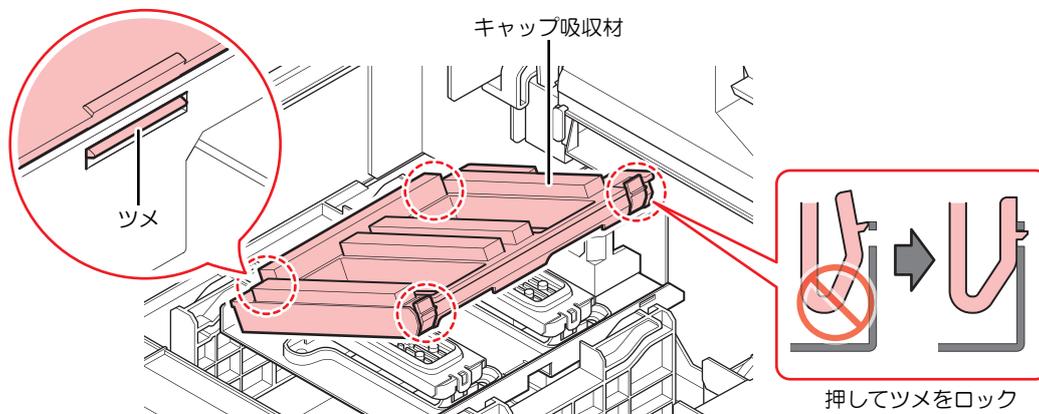
- キャップ吸収材を外したときに、インクが垂れないように注意してください。

## 6 キャップベースを清掃する。



## 7 新しいキャップ吸収材をセットする。

- Cスライダーの奥側のスリットにキャップ吸収材のツメを挿し込んでから、手前のツメをはめ込んでください。



## 8 交換が終わったら、ワイパーを手動で奥に戻す。

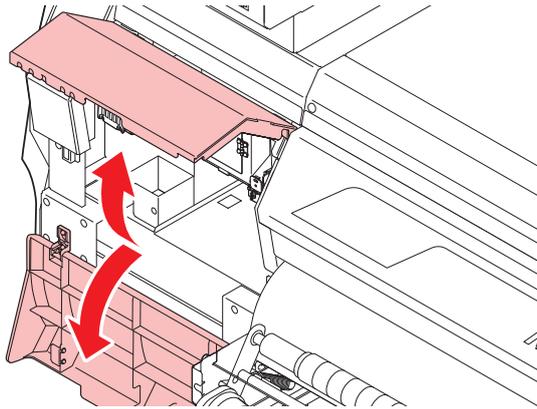
## 9 正面カバーを閉めて、電源を入れる。

- キャリッジがステーションに戻ることを確認してください。

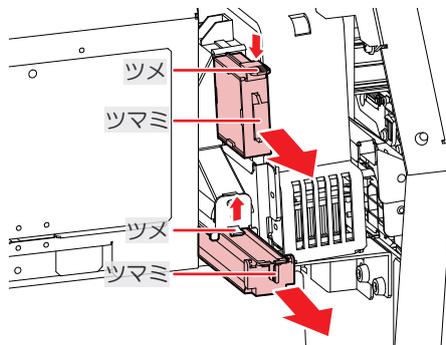
## ミストフィルターの交換

ミストフィルターの状態を確認して、汚れが激しいときは交換してください。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス] > [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ヘッドメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 3 メンテナンスカバーを開く。



- 4 ミストフィルターBOXを外す。
  - ツメを矢印の方向に押しながら、矢印の方向にスライドさせて外します。



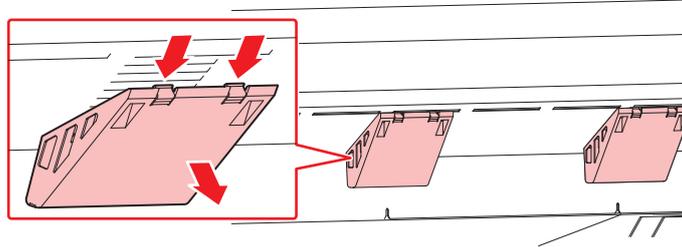
- 5 新しいミストフィルターに交換する。
- 6 ミストフィルターBOXをセットする。
  - カチッと音がするまで挿し込んで、ツメが固定されたことを確認してください。
- 7 交換が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

## 排気ファンフィルターの交換

排気ファンフィルターの状態を確認して、汚れが激しいときは交換してください。

### 1 排気ファンBOXを外す。

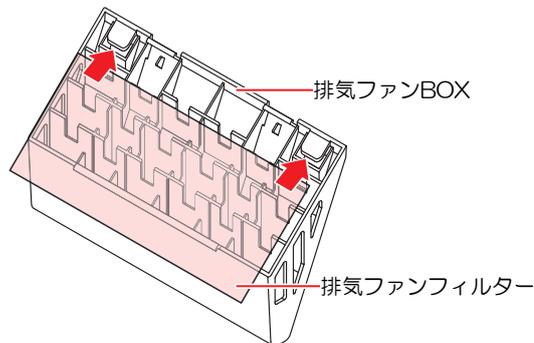
- 手前のツメを押して外します。



- 排気ファンBOXの汚れが激しいときは、新しい排気ファンBOXに交換してください。

### 2 排気ファンBOXに新しい排気ファンフィルターをセットする。

- 排気ファンBOXのツメのすき間に排気ファンフィルターを挿し込みます。



### 3 排気ファンBOXをセットする。

- 本機のスリットに排気ファンBOXのツメを挿し込んでから、手前のツメをはめ込んでください。

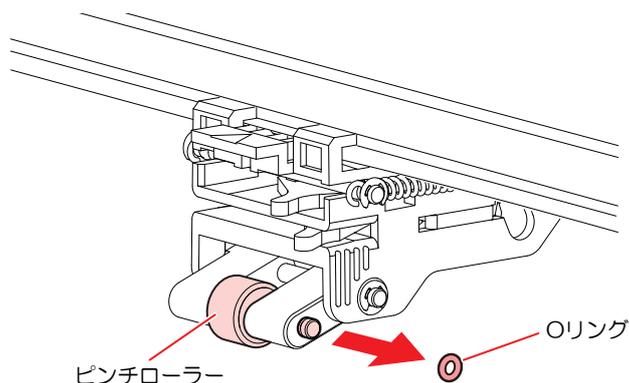
## ピンチローラーの交換

本機は印刷距離をカウントして、規定値になるとディスプレイに“ピンチローラー交換”が表示されます。ピンチローラーを清掃しても、粘着層の乱れやピンチローラーへの貼り付きが発生するときは、新しいピンチローラーに交換してください。



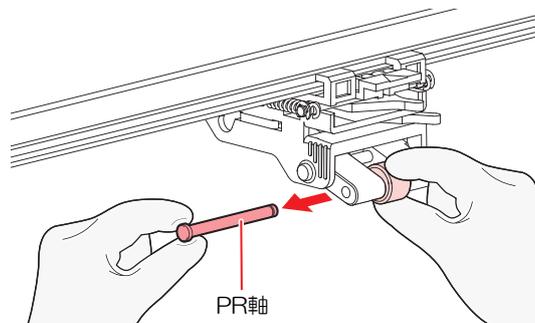
- ・ 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

- 1 正面カバーを開く。
- 2 クランプレバーを上げる。
- 3 ピンチローラーを固定しているOリングを外す。



- ・ 部品が小さいので、すき間に落下させないように注意してください。

- 4 PR軸を外す。



- ・ ピンチローラー表面には素手で触れないように注意してください。ピンチローラーにAフィルム（糊付きフィルム）の粘着剤が貼り付きやすくなるおそれがあります。

- 5 新しいピンチローラー(SP-01015)をセットして、PR軸を通し、Oリングで固定する。
- 6 正面カバーを閉める。
- 7 電源を入れる。
- 8 ローカルモード画面から [MENU] > [メンテナンス] > [ピンチローラー] > [交換] を選択して、[ENTER] キーを押す。
  - ・ 交換メッセージが消えます。



- 
- ピンチローラーにはメディアの粘着剤が付着します。定期的に交換してください。
  - 交換時期の目安: 3か月
-

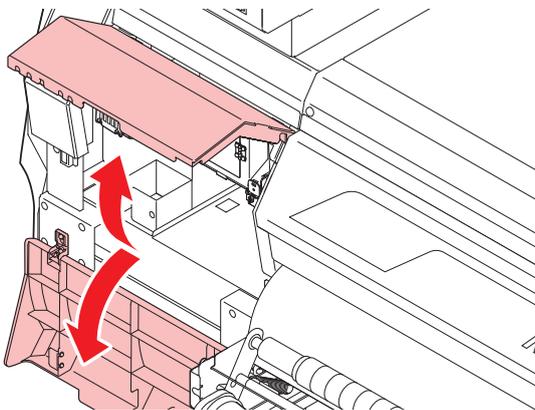
## メディア押さえの交換

メディア押さえが変形して、キャリッジやプリントヘッドに接触する場合は、新しいメディア押さえに交換してください。



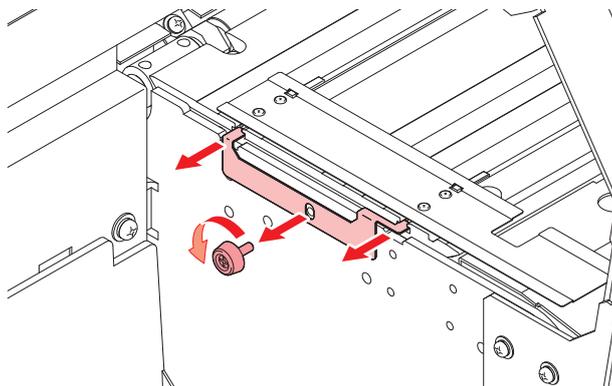
- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

### 1 メンテナンスカバーを開く。

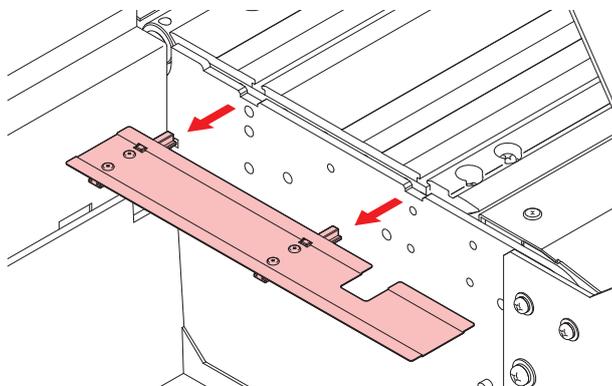


### 2 側面のネジを外して、メディア押さえストッパーを外す。

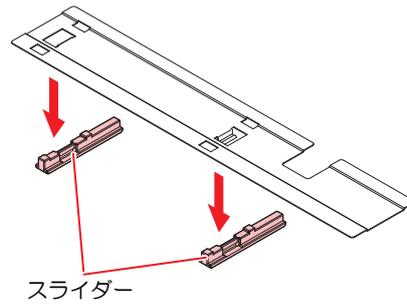
- 下図のように、メディア押さえがネジ止めされていないタイプのももありますが、プラテンからの取り外し方は同じです。



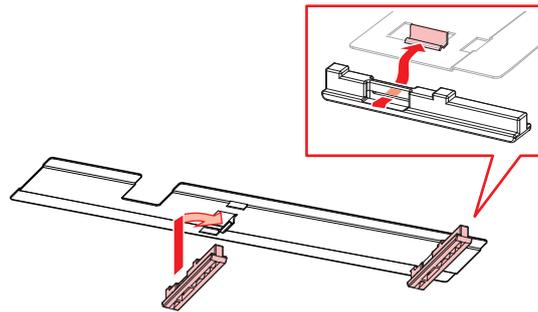
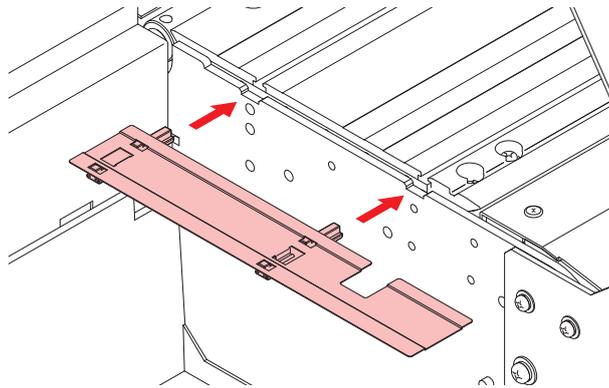
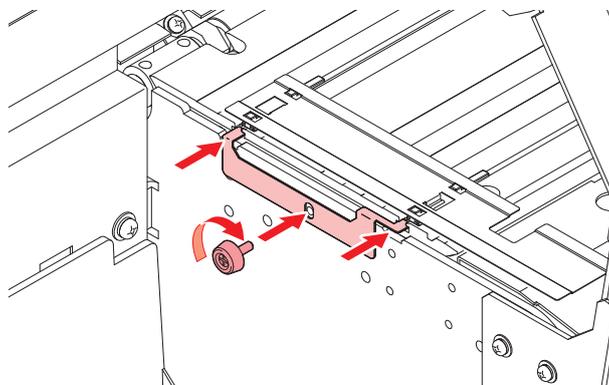
### 3 メディア押さえを外す。



- スライダーがメディア押さえにネジ止めされている場合は、取り外したメディア押さえを破棄し、付属のメディア押さえに交換してください。

**4** メディア押さえから、スライダーを外す。（ネジ止めタイプではない場合）**5** 新しいメディア押さえに、スライダーを取り付ける。

- メディア押さえの突起にスライダーの穴を引っ掛けます。

**6** プラテンに新しいメディア押さえをセットする。**7** メディア押さえストッパーをネジで固定する。**8** メンテナンスカバーを閉める。

## 廃インクタンクの交換

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機右下にある廃インクタンクにたまります。

本機はインクの排出量をカウントして、規定値になるとディスプレイに“廃インクタンク確認”が表示されません。廃インクタンクを交換する目安としてお使いください。



- 2Lタンクの容量が80%（1.6L）が規定値です。
- 廃インクを廃棄せずに使い続けると、廃インクタンクから廃インクがあふれ出るおそれがあります。1週間に1回を目安に、廃インクタンクの液量を目視でご確認頂くことをお勧めいたします。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

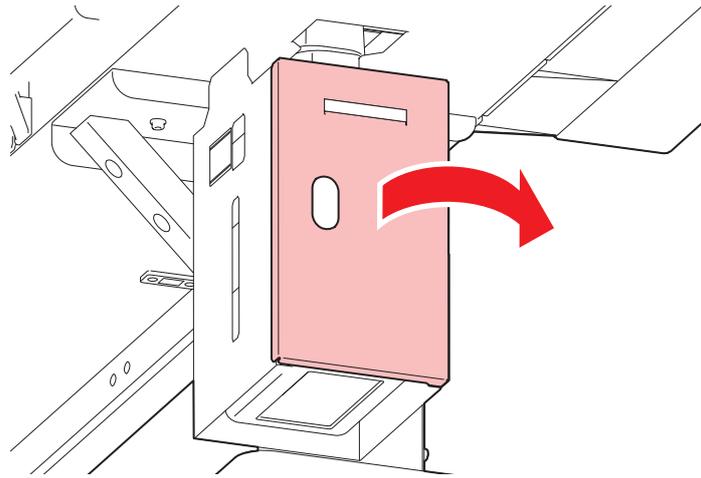
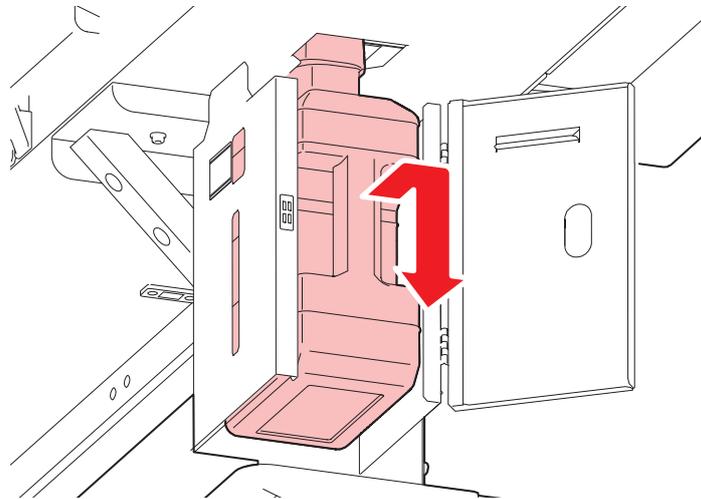
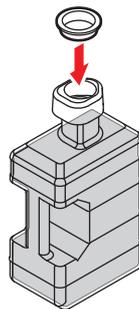


### メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら

- 1 ディスプレイに“廃インクタンク確認”が表示される。
- 2 廃インクタンクの中の廃インク量を確認する。
  - 実際の量と誤差がある場合は、次の手順に進んでください。
  - 実際の量と誤差がなく、廃インクタンクを交換（廃棄処分）する場合は、 「[廃インクタンクを交換する](#)」（P. 122）を実施してください。
- 3 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - メンテナンスメニューが表示されます。
- 4 [廃インクタンク交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ディスプレイに“廃インクタンク交換 level: 80%( 1.6L)”と表示されます。
- 5   を押して、レベルを調整する。
- 6 調整が終わったら、[ENTER]キーを押す。

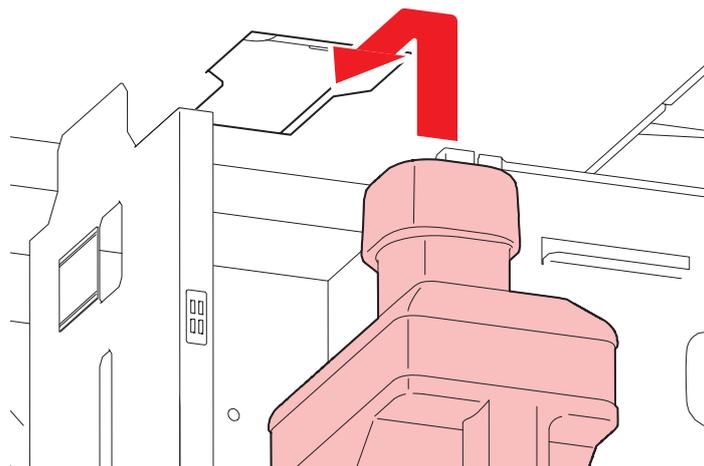
### 廃インクタンクを交換する

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [廃インクタンク交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ディスプレイに“廃インクタンク交換 level: 80%( 1.6L)”と表示されます。

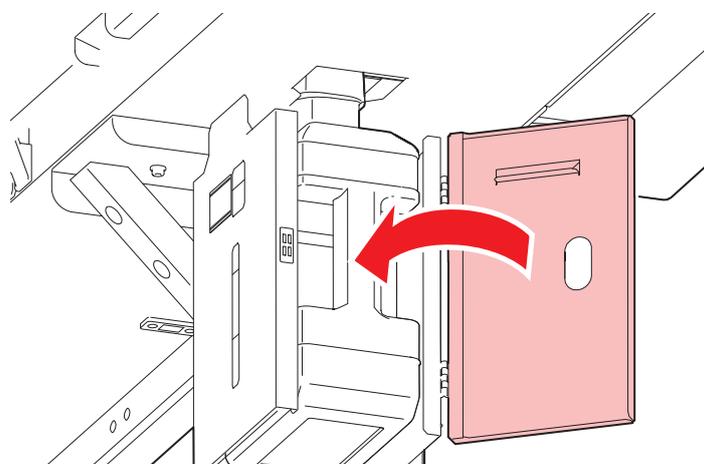
**3** 廃インクタンクのカバーを開く。**4** 廃インクタンクの取っ手を持ち、スライドさせて外す。**5** 取り外した廃インクタンクにキャップをはめて、テープなどを使用して廃インクが漏れないように処理する。

- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

## 6 新しい廃インクタンクをセットする



## 7 廃インクタンクのカバーを閉じる。



## 8 [ENTER]キーを押す。

- 廃インク排出量が初期化されます。

## インクボトルキャップの交換

1年を目安に交換してください。交換方法はインクを交換するを参照してください。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったおそれがあります。

# 第5章 困ったときは



## この章では...

故障かなと思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示されるメッセージの対処方法などについて説明しています。

故障かな?と思ったときは.....	126	Aフィルム（糊付きフィルム）の粘着剤に関するトラブル.....	134
電源が入らない.....	126	圧着ローラーの発泡材にAフィルム（糊付きフィルム）の粘着剤が付着した.....	134
プリントできない.....	126	カバー、キャリッジにAフィルム（糊付きフィルム）の粘着剤が付着した.....	135
メディア詰まり、メディアが汚れる.....	126	Aフィルム（糊付きフィルム）の粘着剤の上でジャムが発生した.....	136
圧着が不十分.....	126	メッセージを表示するトラブル.....	138
画質不良が発生した.....	127	ワーニングメッセージ.....	138
インクが漏れた.....	131	インクエラー.....	140
遮光カバーが外れてしまった.....	132	エラーメッセージ.....	141
ピンチローラーのゴムがずれた.....	133	SYSTEM HALT.....	148

## 5.1 故障かな?と思ったときは

故障かなと思ったときは、本章を参照して対処してください。また、本機に関するよくあるご質問やサポート動画などは、弊社ウェブサイト (<https://japan.mimaki.com/support/>) にてご覧になれます。

対処しても正常に戻らない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

### 電源が入らない

確認すること	対処方法
本機とコンセントが電源ケーブルで接続されていますか?	電源プラグの刃を根元まで挿し込んでください。☞ 「電源ケーブルを接続する」 (P. 32)
付属の電源ケーブルを使用していますか?	付属の電源ケーブルを使用してください。
主電源が入っていますか?	主電源を入れてください。☞ 「電源を入れる」 (P. 33)
操作パネルにある、[END/POWER] キーがオンになっていますか?	電源を入れてください。☞ 「電源を入れる」 (P. 33)

### プリントできない

確認すること	対処方法
USBインターフェースケーブルが、接続されていますか?	USB2.0ポートに、根元まで挿し込んでください。☞ 「USBケーブルを使う」 (P. 35)
LANケーブルが、接続されていますか?	LANポートに、根元まで挿し込んでください。☞ 「LANケーブルを使う」 (P. 35)
弊社指定のLANケーブルを使用していますか?	LANケーブルの種類を確認してください。☞ 「LANケーブルを使う」 (P. 35)
操作パネルにあるステータスランプが、赤色に点滅/点灯していませんか?	エラーが発生しています。ディスプレイのメッセージを確認してください。☞ 「操作パネル」 (P. 28)

### メディア詰まり、メディアが汚れる

確認すること	対処方法
弊社が推奨しているメディアを使用していますか?	推奨メディアを使用してください。 <a href="https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html">https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html</a>
カールしてるメディアを使用していないませんか?	カールのきついメディアや、先端が折れ曲がっているメディアは使わないでください。
メディアが斜行していませんか?	巻き取りユニットを使用してください。もしくはメディアを再セットしてください。☞ 「メディアをセットする」 (P. 51)

### 圧着が不十分

確認すること	対処方法
ヒーターはONになっていますか?	ヒーターの温度は60℃以上に設定して使用してください。

確認すること	対処方法
	AシートとBシートの圧着が不十分で成果物をうまく剥がせない場合は温度を上げてください(最大70℃)。

## 画質不良が発生した

現象	対処方法
白スジ、カスレ、色の濃いスジが発生する (キャリッジスキャン方向)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。☞「メディア押さえの清掃」(P. 104) ☞「プラテンの清掃」(P. 105)</li> <li>2. ☞「ヘッドクリーニングをする」(P. 69)を実施してください。</li> <li>3. ☞「フィード補正をする」(P. 70)を実施してください。</li> <li>4. ☞「ワイパーの清掃」(P. 95)を実施してください。</li> <li>5. ☞「キャップゴムの清掃」(P. 98)を実施してください。</li> <li>6. ☞「キャリッジ底面の清掃」(P. 99)を実施してください。</li> </ol>
文字がメディアフィード方向に2重、3重にズレが発生する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ☞「フィード補正をする」(P. 70)を実施してください。</li> </ol>
往復プリントでズレが発生する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ☞「ドット位置補正をする」(P. 72)を実施してください。</li> </ol>
プリント中にインク滴が落ちる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ☞「ワイパーの清掃」(P. 95)を実施してください。</li> <li>2. ☞「キャップゴムの清掃」(P. 98)を実施してください。</li> <li>3. ☞「キャリッジ底面の清掃」(P. 99)を実施してください。</li> <li>4. ☞「ヘッドクリーニングをする」(P. 69)を実施してください。</li> <li>5. オートメンテナンスを設定してください。☞「メンテナンスメニュー」(P. 83)</li> </ol>
ノズル詰まりを解消したい	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ☞「ヘッドクリーニングをする」(P. 69)を実施してください。</li> <li>2. ☞「プリントヘッドのノズル洗浄」(P. 127)を実施してください。</li> <li>3. [MENU] &gt; [メンテナンス] &gt; [インク充填]を実施してください。</li> <li>4. ☞「ワイパーの交換」(P. 113)を実施してください。</li> <li>5. ☞「ノズルリカバリーを登録する」(P. 84)を実施してください。</li> </ol>

## プリントヘッドのノズル洗浄

ヘッドクリーニング(☞「ヘッドクリーニングをする」(P. 69))を実行しても、吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)が直らないときは、プリントヘッドのノズル洗浄をしてください。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス] > [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [ノズル洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3 正面カバーを開く。
- 4 ワイパーとブラケットを清掃する。
  - ・☞「ワイパーの清掃」(P. 95)
- 5 清掃が終わったら、[ENTER]キーを押す。
  - ・ディスプレイに「キャップクリーニング 終了 次へ [ENT]」と表示されます。

**6** キャップゴムを清掃する。

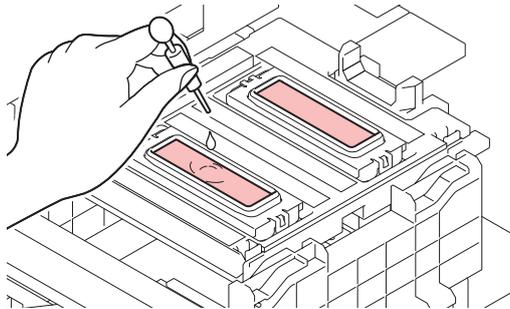
-  「キャップゴムの清掃」 (P. 98)

**7** 交換が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

- ディスプレイに“洗浄液を満たす 終了 次へ [ENT]”と表示されます。

**8** キャップいっぱいメンテナンス液を満たす。

- スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。

**9**  を押して、放置時間を入力する。

- ML007洗浄液をお使いの場合：推奨時間は1分
- ML016洗浄液をお使いの場合：ノズル状態に応じて5~10分浸漬し、復旧しない場合は時間を伸ばしてください。

**10** 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

- プリントノズルの洗浄を開始します。ディスプレイに経過時間が表示されます。
- プリントノズルの洗浄が終了すると、自動的にクリーニングを実行します。



- ノズル洗浄を何回か繰り返しても、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らないときは、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

## インクが混色した

---



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

**1** ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

**2** [空気抜き]を選択して、[ENTER]キーを押す。**3** 空気抜きをしたいヘッドにチェックを入れる。

- チェックが付くと、空気抜きの対象ヘッドとなります。
- ヘッド1と2を同時に選択することができます。

インクセット	Head 1				Head 2			
4色+CL+W	C	M	Y	K	CL	CL	W	W

#### 4 [ENTER]キーを押す。

- ・ワイパー上に対象ヘッドが移動します。

#### 5 正面カバーを開く。

#### 6 キャリッジ正面のフタを開く。

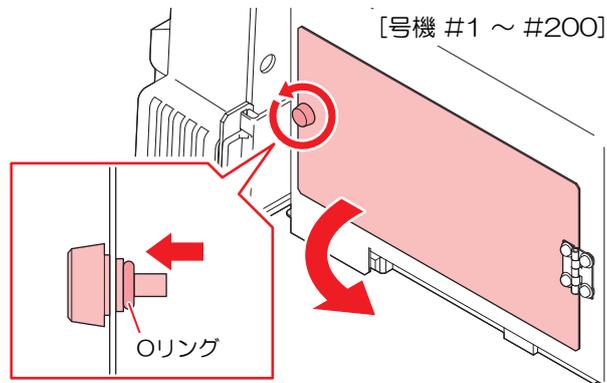


- ・ キャリッジ正面のフタは、号機により異なります。

##### ・ 号機 #1 ~ #200

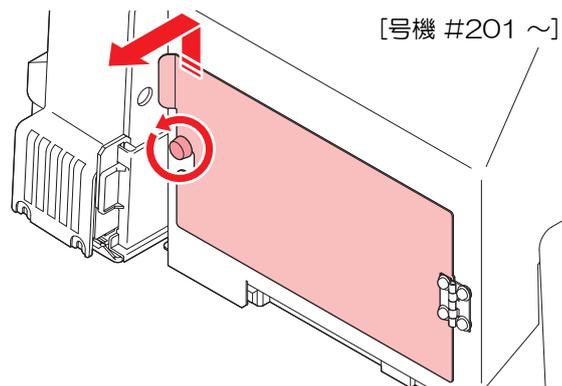
##### (1) 化粧ネジを回し、キャリッジカバーから外す。

- ・ ただし、化粧ネジはフタから外さないでください。
- ・ フタを開けた際、Oリングが化粧ネジから外れそうな場合は、矢印方向に寄せてください。
- ・ 化粧ネジ・ワッシャー・Oリングの紛失に注意してください。



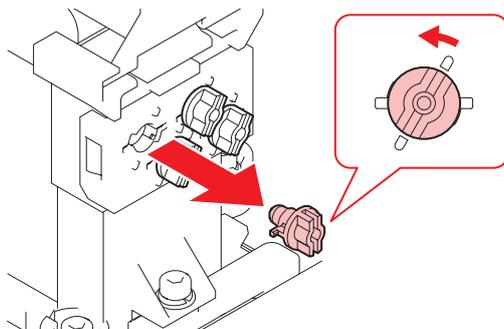
##### ・ 号機 #201 ~

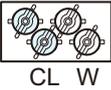
##### (1) 化粧ネジを1回転ほど回し、フタを矢印方向に軽く上げ、手前に引いて開ける。



## 7 対象となるポートのキャップを外す。

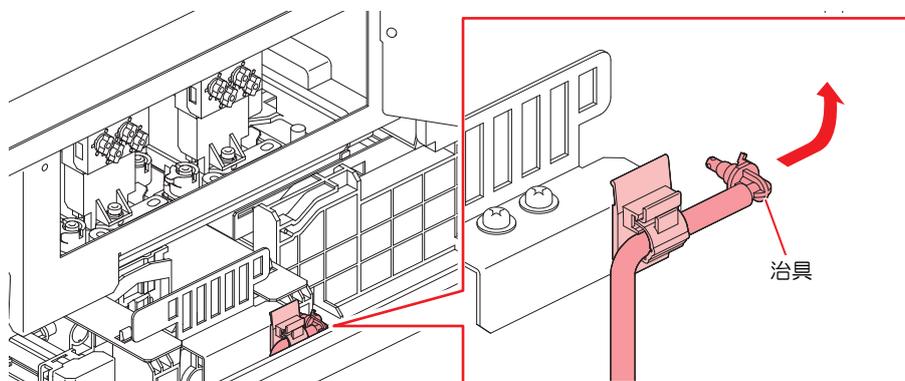
- ヘッド1と2を同時に選択した場合は、ディスプレイの右上に表示されるヘッドのポートに付いているキャップを外してください。
- キャップは反時計まわりに30°程度回してから外してください。
- キャップを外しても、インクがあふれ出すことはありません。
- 外したキャップにはインクが付着しています。周囲を汚さないよう、ペーパータオルなどの上に置いてください。
- プリントヘッドごとに空気抜きをします。ヘッド1の空気抜きを実行するときは、ヘッド2のキャップを外さないでください。



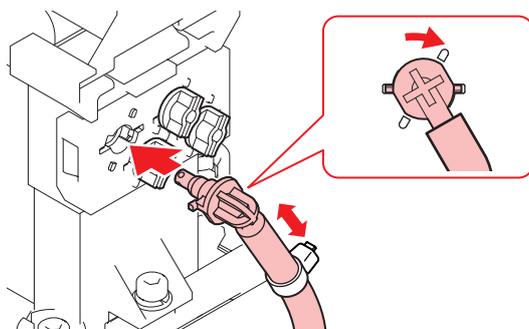
インクセット	Head 1	Head 2
4色+CL+W : CMYK CLCLWW	<p>C Y</p>  <p>M K</p>	<p>CL W</p>  <p>CL W</p>

## 8 ポートに治具を接続する。

- キャリッジ正面のフタを持ち上げて、治具を引き出してください。



- 治具の先端をポートに押し込み、時計方向へ30°回転させてください。



## 9 [ENTER]キーを押して、「空気抜き」を開始する。

**10** 治具のチューブ内に、インクが流れてきているかどうかを確認する。

- 混色、空気の混入がなくなるまで“空気抜き”をしてください。終了するときは、治具を外してから[ENTER]キーを押してください。
- 30秒経過すると自動で“空気抜き”を停止します。続けて“空気抜き”を実行したいときは、[リトライ]を選択してください。



- 1つのポートを連続して“リトライ”をしないでください。ノズル詰まりのおそれがあります。混色や空気の混入がなくなったら、“空気抜き”を終了してください。



- “空気抜き”を実行中に、[FUNC2]を押すと、約3秒の間インクを勢いよく排出します。

**11** 他の対象となるポートも同様に実行する。**12** “空気抜き”が終了したあとに、[ENTER]キーを押す。**13** ポートから治具を外す。

- 反時計方向へ30°回転させて、治具を外してください。

**14** ポートにキャップを付ける。

- 治具の先端を垂直に持ち上げて、チューブ内のインクを流してください。治具のチューブ内にインクが残っていると硬化するおそれがあります。

**15** キャリッジ正面のフタを閉め、化粧ネジを締める。

- 化粧ネジで、フタがしっかり固定されていることを確認してください。

**16** 正面カバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

- 自動でクリーニングを実行します。
- ヘッド1と2を同時に選択した場合は、ディスプレイの表示にしたがって、同様に“空気抜き”を実施してください。

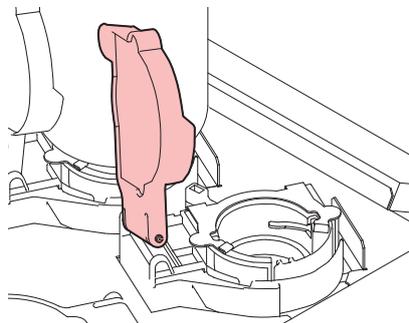
**インクが漏れた**

- インクが漏れてしまったときは、すぐに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのあと、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

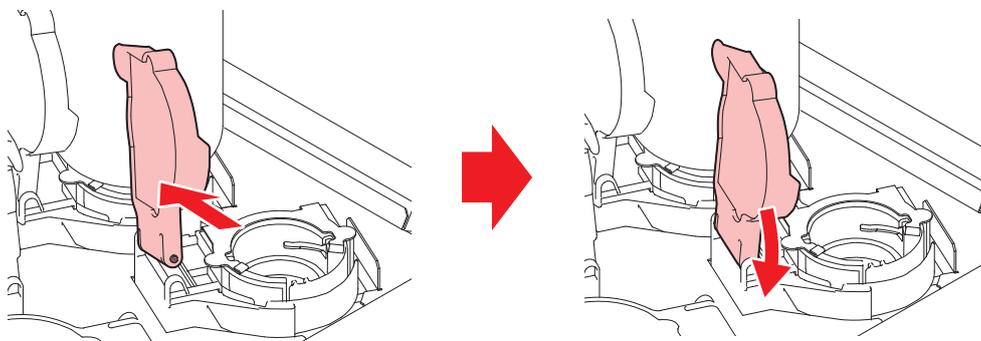
## 遮光カバーが外れてしまった

遮光カバーが外れたまま放置すると、タンク内部に光が射し込み、インクが硬化するおそれがあります。遮光カバーが外れたときは、次の手順で取り付けてください。

- 1 遮光カバーの片方の突起をタンクの穴に挿し込む。



- 2 手順1で挿し込んだ穴の方に押しながら、もう一方の突起を挿し込む。



## ピンチローラーのゴムがずれた

メディアをセットする時に、ピンチローラーのゴムがずれていないか確認してください。ゴムの位置がずれている場合、ゴムの位置を正常な位置に移動させてください。

○ OK



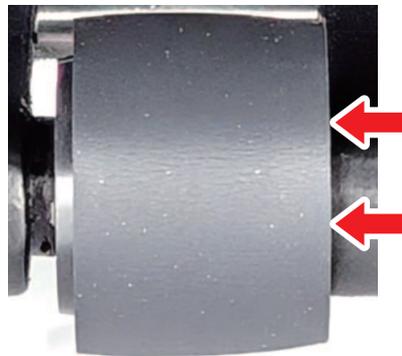
✕ No good



- ピンチローラー表面には素手で触れないように注意してください。ピンチローラーにAフィルム（糊付きフィルム）の粘着剤が貼り付きやすくなるおそれがあります。

### ● 手順

- 1 正面カバーを開く。
- 2 クランプレバーを上げる。
- 3 ピンチローラーのゴムがずれている部分を指で押し込む。



- ピンチローラーを回転させて全周で、ゴムがずれていないことを確認してください。

- 4 位置を確認、調整したら、正面カバーを閉じる。

## 5.2 Aフィルム（糊付きフィルム）の粘着剤に関するトラブル

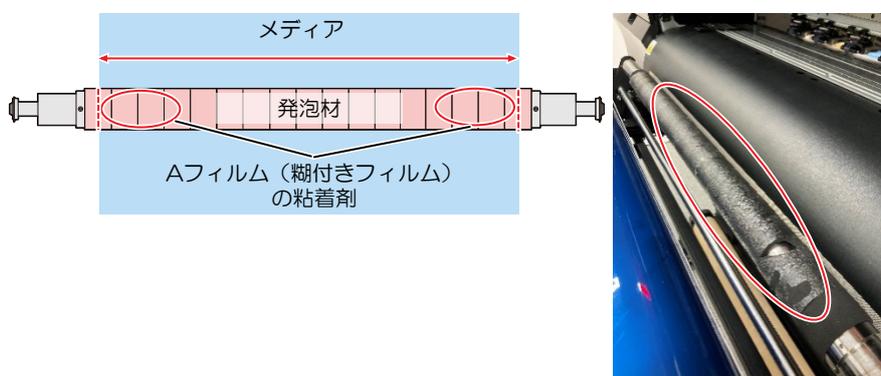
### 圧着ローラーの発泡材にAフィルム（糊付きフィルム）の粘着剤が付着した

圧着ローラーの発泡材にAフィルム（糊付きフィルム）の粘着剤が付着した状態でプリントを続けると、メディアが詰まり、ジャムが発生するおそれがあります。

粘着剤の付着位置に応じて次のように対応してください。

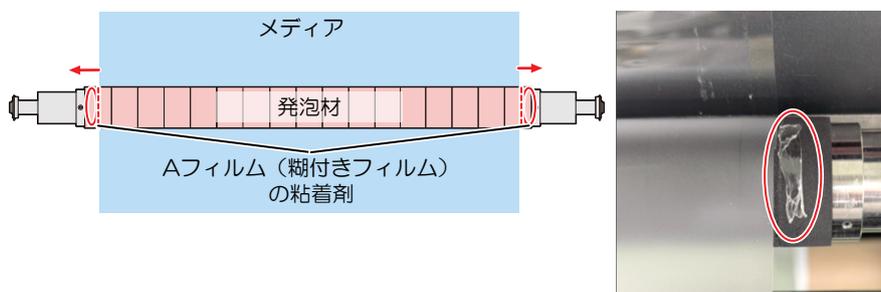
#### ● メディアセット位置の内側に粘着剤が付着した場合

発泡材を交換する必要があります。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。



#### ● メディアセット位置の外側に粘着剤が付着した場合

次の手順で発泡材に付着した粘着剤を除去してください。



- 1 メディアを取り除き圧着ローラーを上げる。
- 2 テープの粘着面で粘着剤を持ち上げるように除去する。





- 爪等で粘着剤をめくって除去すると、発泡材が破損するおそれがあります。

## カバー、キャリッジにAフィルム（糊付きフィルム）の粘着剤が付着した

### ● カバーに粘着剤が付着した場合



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

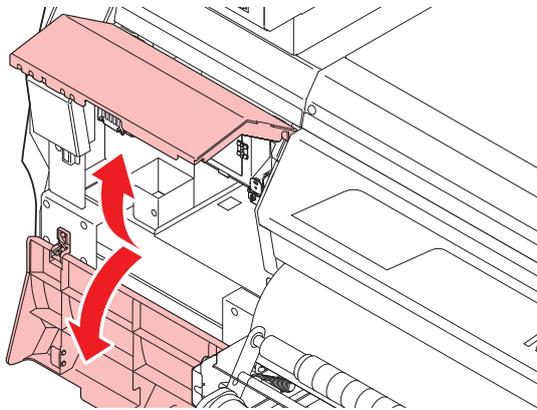
指やテープで粘着剤を除去してください。除去しきれないときは、柔らかい布にアルコールを含ませてふき取ってください。

### ● キャリッジ底面に粘着剤が付着した場合



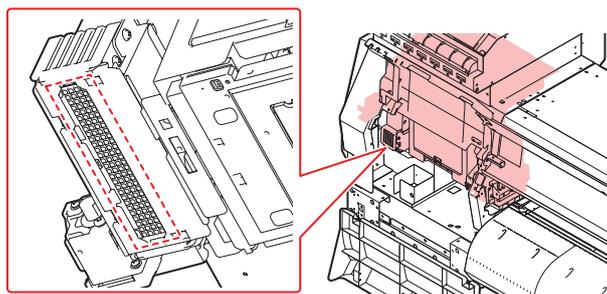
- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス] > [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ヘッドメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 3 メンテナンスカバーを開く。



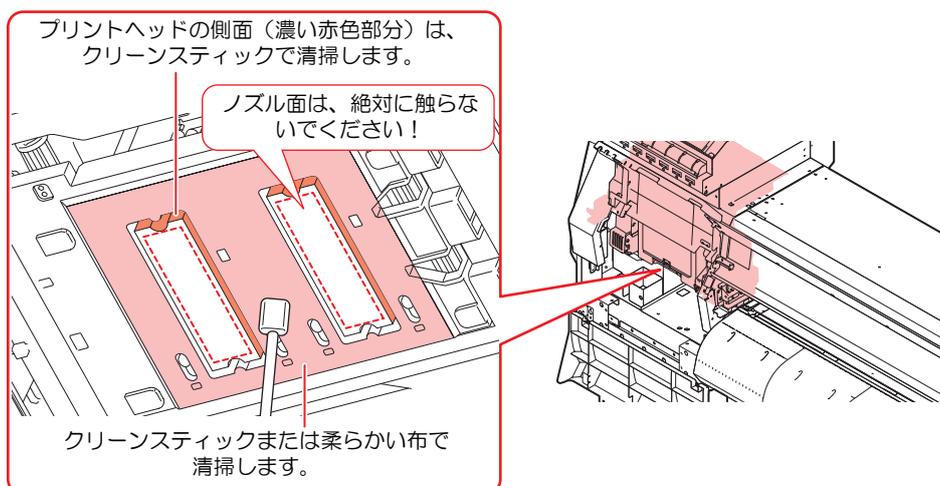
### 4 UV-LEDランプを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで粘着剤をふき取ってください。メンテナンス液が残らないようにふき取ってください。



## 5 プリントヘッド周辺を清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで粘着剤をふき取ってください。メンテナンス液が残らないようにふき取ってください。



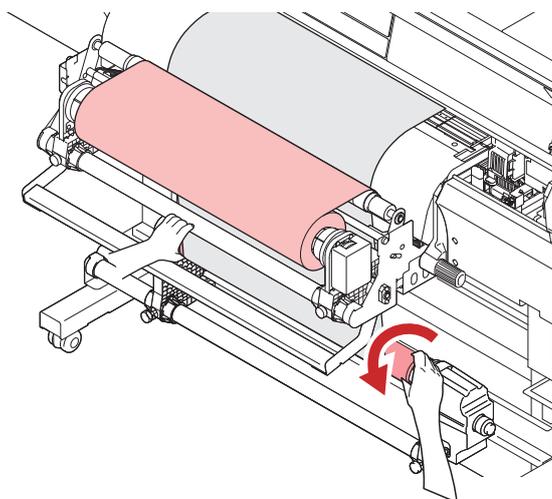
- プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。

## 6 清掃が終わったらカバーを閉めて、[ENTER]キーを押す。

### Aフィルム（糊付きフィルム）の粘着剤の上でジャムが発生した

プリント中に、Aフィルム（糊付きフィルム）の粘着剤の上でジャムが発生した場合、キャリッジ底面に粘着剤が付着するおそれがあります。次の手順でメディアを除去してください。

- 1 正面カバーを開く。
- 2 クランプレバーを上げる。
- 3 手動で紙管を回転させて200mmほどメディアを巻き取る。



- プラテン上のメディアが浮いていないことを確認してください。
- キャリッジの移動を妨げるものがないかどうかを確認してください。

4 正面カバーを閉めて[ENTER]キーを押す。

5 ローカル画面に戻ったことを確認してから接触したメディアを取り除く。



- ピンチローラーに粘着剤が付着している場合は指で粘着剤を除去してください。
  - キャリッジやジャムセンサーに粘着剤が付着している場合は清掃してください。  
☞ 「カバー、キャリッジにAフィルム（糊付きフィルム）の粘着剤が付着した」  
（P. 135）
  - ☞ 「ジャムセンサーの清掃」 （P. 104）
-

## 5.3 メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージが表示されます。

ローカルガイドンスでも確認することができます。☞ 「本機の情報を表示する（ローカルガイドンス）」（P. 31）

メッセージの内容に応じて、対処してください。記載されている処置をしても、再度メッセージが表示される場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

### ワーニングメッセージ

メッセージ	原因	対処方法
廃インクタンク確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃インクタンクのカウン트가規定量（80%）を超えた。</li> </ul>	1. 廃インクタンクの排液量を確認してください。☞ 「メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら」（P. 122）
廃インクタンク交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃インクタンクのカウン트가規定量（90%）を超えた。</li> </ul>	2. 廃インクタンクを交換して、廃液量を初期化してください。☞ 「廃インクタンクを交換する」（P. 122）
ワイパー交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワイピングのカウン트가規定量を超えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワイパーを交換して、カウン트가初期化してください。☞ 「ワイパーの交換」（P. 113）</li> </ul>
メディアがありません	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディアがセットされていない。もしくはセンサーが故障している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディアをセットしてください。☞ 「メディアをセットする」（P. 51）</li> <li>メディアをセットしても表示される場合は販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
プリントデータあり	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリント（RIP）データを受信している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモートモードに移行して、プリントしてください。またはデータクリアを実行して、プリントを中止します。</li> </ul>
装置温度/高 **°C	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内の温度が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様の範囲内（25°C～35°C）に室温を調節してください。範囲外の場合は、安定したプリント結果を得られないおそれがあります。</li> </ul>
装置温度/低 **°C	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内の温度が低い。</li> </ul>	
NCU接続異常	<ul style="list-style-type: none"> <li>NCUの接続に異常を検出した。</li> <li>ノズルチェック機能が使用できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞ 「電源を切る」（P. 34）</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
NCU交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>NCUのセンサー感度が低く、ノズル詰まり判定に異常を検出した。</li> <li>ノズルチェック機能が使用できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NCUの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
NCU接続異常	<ul style="list-style-type: none"> <li>NCUの接続に異常を検出した。</li> <li>ノズルチェック機能が使用できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞ 「電源を切る」（P. 34）</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>

メッセージ	原因	対処方法
NCU ケンシュツエラー(HW) ノズルチェックOFF	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノズル詰まり判定に異常を検出した。</li> <li>ノズルチェック機能が使用できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NCUを清掃してください。☞ 「NCUの清掃」 (P. 99)</li> </ul>
NCUケンシュツエラー(マーク) ノズルチェックOFF		
NCU センターイチケンシュツエラー ノズルチェックOFF		
NCU トシュツイチケンシュツエラー ノズルチェックOFF	<ul style="list-style-type: none"> <li>吐出位置の調整に失敗した。</li> <li>ノズルチェック機能が使用できない。</li> </ul>	
NCU SNチョウセイエラー ノズルチェックOFF	<ul style="list-style-type: none"> <li>センサー感度調整に失敗した。</li> <li>ノズルチェック機能が使用できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NCUを清掃してください。☞ 「NCUの清掃」 (P. 99)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
NCU インク吸収材交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>インク吸収材の交換時期になった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NCUのインク吸収材交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
NCU センサー感度低下	<ul style="list-style-type: none"> <li>センサー感度が低下している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NCUを清掃してください。☞ 「NCUの清掃」 (P. 99)</li> <li>エラーが解消されない場合、NCUの交換をお勧めします。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
NCU 感度調整エラー H	<ul style="list-style-type: none"> <li>センサー感度調整に失敗した。</li> </ul>	
NCU 感度調整エラー L		
ノズル抜け検出 印刷停止しました	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノズルチェックでノズル抜けと判定して、プリントを停止した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘッドクリーニング、ノズルチェック機能の条件を変更してください。再度表示される場合は、ノズルリカバリーをしてください。</li> <li>☞ 「ヘッドクリーニングをする」 (P. 69)</li> <li>☞ 「ノズルチェックメニュー」 (P. 88)</li> <li>☞ 「ノズルリカバリーを登録する」 (P. 84)</li> </ul>
NCU エラー ノズルチェックOFF	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノズルチェック中にNCU関連のエラーが発生したため、プリントを停止してノズルチェック機能をOFFにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
実行できません メディア未検出	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディアを検出していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディアを検出してください。</li> </ul>
実行できません MOTOR POWER OFF	<ul style="list-style-type: none"> <li>カバーを開けたあとなど、モーターが停止している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期化動作が終了するまでお待ちください。</li> </ul>
実行できません インクエラーあり	<ul style="list-style-type: none"> <li>インクエラーが発生している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいインクカートリッジに交換してください。</li> </ul>
実行できません カバーオープン	<ul style="list-style-type: none"> <li>カバーが開いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カバーを閉めてください。</li> </ul>

メッセージ	原因	対処方法
プリントデータあり	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリント（RIP）データを受信している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモートモードに移行して、プリントしてください。またはデータクリアを実行して、プリントを中止します。</li> </ul>

## インクエラー

メッセージ	原因	対処方法
インクIC異常	<ul style="list-style-type: none"> <li>インクICチップが正常に読めない。</li> <li>インクICチップの情報にエラーが発生した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノズル詰まりがないことを確認してください（特にホワイトインク）。</li> <li>1. インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。</li> <li>2. インクICチップを挿入しなおしてください。</li> <li>3. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞ 「電源を切る」 (P. 34)</li> <li>4. 再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
インク種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>充填されているインク種類とインクICチップに登録されているインク種類が異なる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しいインク種類のインクICチップをセットしてください。</li> </ul>
インク カラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>充填されているインクカラーとインクICチップに登録されているカラーが異なる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しいインクカラーのインクICチップをセットしてください。</li> </ul>
インクIC無し	<ul style="list-style-type: none"> <li>インクICチップがない（インクボトル未装填）</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>インクICチップをセットしてください。</li> <li>インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。</li> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞ 「電源を切る」 (P. 34)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ol>
インクエンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>インクがなくなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいインクに交換してください。☞ 「インクエンドが表示されたとき」 (P. 41)</li> </ul>
インク ニアエンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>インク残量が残りわずかになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>間もなくインクがなくなります。新しいインクを用意してください。☞ 「インクニアエンドが表示されたとき」 (P. 41)</li> </ul>
インク期限切れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>インクが期限切れになった（使用可能）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいインクに交換する、もしくは早めを使い切ってください。翌々月まで仕様可能です。☞ 「インクエンドが表示されたとき」 (P. 41)</li> </ul>
期限切れ（1か月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>インクが期限切れから、1か月经過した（使用可能）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいインクに交換する、もしくは早めを使い切ってください。翌月まで使用可能です。☞ 「インクエンドが表示されたとき」 (P. 41)</li> </ul>

メッセージ	原因	対処方法
期限切れ (2か月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>インクが期限切れから、2か月経過した (使用不可)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいインクに交換してください。☞ 「インクエンドが表示されたとき」 (P. 41)</li> </ul>

## エラーメッセージ

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
108	ERROR 108 HD THERMIS[12]	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリントヘッド温度制御に異常を検出した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞ 「電源を切る」 (P. 34)</li> </ul>
108	ERROR 108 HD CONNECT [12]	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリントヘッドの接続に異常を検出した。</li> </ul>	
108	ERROR 108 HD MEM EMP [12]	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリントヘッドに異常を検出した。</li> </ul>	
108	ERROR 108 HD TYPE [12]		
122	ERROR 122C HECK:SDRAM	<ul style="list-style-type: none"> <li>メイン基板に異常を検出した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞ 「電源を切る」 (P. 34)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
128	ERROR 128 HDC FIFO OVER	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリントヘッド制御に異常を検出した。</li> </ul>	
128	ERROR 128 HDC FIFO UNDER		
129	ERROR 129 バッテリー コウカン	<ul style="list-style-type: none"> <li>メイン基板の電池切れを検出した。</li> </ul>	
12a	ERROR 12a HDC SPEED	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリントヘッド制御に異常を検出した。</li> </ul>	
130	ERROR 130 HD DATA SEQ		
148	ERROR 148 E-LOG SEQ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ログの制御に異常を検出した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞ 「電源を切る」 (P. 34)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
151	ERROR 151 Main PCB V1R2	<ul style="list-style-type: none"> <li>メイン基板の電源系統に異常を検出した。</li> </ul>	
152	ERROR 152 Main PCB V2R5		<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞ 「電源を切る」 (P. 34)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
153	ERROR 153 Main PCB V3R3		
154	ERROR 154 Main PCB V05		
155	ERROR 155 Main PCB V36-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>メイン基板の電源に異常を検出した。</li> </ul>	
157	ERROR 157 Main PCB VTT		

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
15f	ERROR 15f HEAD DRIVE HOT	<ul style="list-style-type: none"> <li>COMドライブが高温になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
171	ERROR 171 NEW HEAD CONNECT	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいプリントヘッドの接続を認識した。</li> </ul>	
18c	ERROR 18c Main PCB V12	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリントヘッド制御に異常を検出した。</li> </ul>	
18e	ERROR 18e FLS NOT COMP		
18f	ERROR 18f OFSET START		
18f	ERROR 18f OFSET END		
19f	ERROR 19f LEDセツゾクイジョウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>UV-LED基板が認識できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
1dc	ERROR 1dc Station4 PCB V24	<ul style="list-style-type: none"> <li>Station4基板の電源に異常を検出した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
1dd	ERROR 1dd Station4 PCB V24-A		
1e1	ERROR 1e1 G5HDC PCB V5	<ul style="list-style-type: none"> <li>G5HDC基板の電源に異常を検出した。</li> </ul>	
1e2	ERROR 1e2 G5HDC PCB V36		
1e6	ERROR 1e6 PRAMサイズフソク	<ul style="list-style-type: none"> <li>メモリーサイズが不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
201	ERROR 201 コマンド エラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリント (RIP) データ以外のデータを受信した。もしくは受信したプリント (RIP) データに異常を検出した。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>データクリアを実行して、再度データを送信してください。</li> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> <li>USBケーブルの接続を確認してください。☞「USBケーブルを使う」(P. 35)</li> <li>規格に適合したUSBケーブルを使用してください。☞「USB接続についての注意事項」(P. 35)</li> </ol>
202	ERROR 202 パラメータ エラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>受信したプリント (RIP) データに異常を検出した。</li> </ul>	
206	ERROR 206 プリントモード エラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリントできないプリント条件のプリント (RIP) データを受信した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>RIP用ソフトウェアで、出力条件やプロファイルを変更してください。</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
304	ERROR 304 USB INIT ERR	<ul style="list-style-type: none"> <li>USBケーブルの接続に異常を検出した。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>USBケーブルの接続を確認してください。☞「USBケーブルを使う」(P. 35)</li> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> <li>規格に適合したUSBケーブルを使用してください。☞「USB接続についての注意事項」(P. 35)</li> </ol>
305	ERROR 305 USB TIME OUT		
318	ERROR 318 SDカード接続異常	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDカードの接続に異常を検出した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
401	ERROR 401 モータ-アラーム X	<ul style="list-style-type: none"> <li>Xモーターに過大な負荷がかかった。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>メディアが正しくセットされているかどうかを確認してください。☞「メディアをセットする」(P. 51)</li> <li>正面カバーを開けて、キャリッジの移動に障害のあるものがないかどうかを確認してください。</li> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ol>
402	ERROR 402 モータ-アラーム Y	<ul style="list-style-type: none"> <li>Yモーターに過大な負荷がかかった。</li> </ul>	
403	ERROR 403X オーバー カレント	<ul style="list-style-type: none"> <li>Xモーターの過電流エラーを検出した。</li> </ul>	
404	ERROR 404Y オーバー カレント	<ul style="list-style-type: none"> <li>Yモーターの過電流エラーを検出した。</li> </ul>	
44e	ERROR 44e UV ユニットファンイ ジョウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>UV-LEDユニットのファンに異常を検出した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
44f	ERROR 44f マキトリロールセンサ イジョウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻き取りユニットの巻き軸センサーに異常を検出した。(巻軸センサーを正しく読めない)</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>[マシン設定] &gt; [巻取ユニット] が、[ON] に設定されているかどうかを確認してください。</li> <li>メディアのセット状態を確認してください。☞「ロールメディアをセットする」(P. 55)</li> <li>巻き取りユニットのスイッチで動作するかどうかを確認してください。☞「成果物と離型紙の巻き取りユニットについて」(P. 52)</li> </ol>
4b5	ERROR 4b5 圧着ローラーUP	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリント動作中に圧着ローラーのUPを検出した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリントを継続する場合は、圧着ローラーを下げてからプリントを再開してください。</li> <li>プリントを終了する場合は、データクリアをして、プリントを終了してください。</li> </ul>
4b6	ERROR 4b6 Bフィルムエンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>Bフィルム(アプリケーションフィルム)のエンドを検出した。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>Bフィルム(アプリケーションフィルム)を交換してください。</li> </ol>

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
			2. Bフィルム（アプリケーションフィルム）が残っている状態でもエラーが表示される場合、Bフィルム（アプリケーションフィルム）のセット状態を確認してください。
504	ERROR 504CLAMP UP	<ul style="list-style-type: none"> <li>クランプレバーを上げた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クランプレバーを下げてください。</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
505	ERROR 505 メディアジャム	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディアジャムセンサーが反応した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>接触したメディアを取り除き、きれいなメディアをセットし直してください。☞「メディアをセットする」(P. 51)</li> <li>正面カバーを開けて、キャリッジの移動に障害のあるものがないかどうかを確認してください。</li> </ul>
509	ERROR 509 HDC POSCNT	<ul style="list-style-type: none"> <li>位置制御に異常を検出した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> </ul>
50a	ERROR 50a Yゲンテンケンシュツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>Y原点検出（初期化動作）に異常を検出した。</li> </ul>	
50c	ERROR 50c メディアハバセンサー カクニン	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディア幅の検出に異常を検出した。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>メディアのセット位置を確認してください。☞「メディアをセットする」(P. 51)</li> <li>メディア幅センサーを清掃してください。☞「メディアセンサーの清掃」(P. 103)</li> </ol>
50f	ERROR 50f L-SCALE BLACK	<ul style="list-style-type: none"> <li>リニアスケールに異常を検出した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> </ul>
516	ERROR 516 メディアイチミギスギ マス	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディアが範囲外にセットされている。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>メディアのセット位置を確認してください。☞「メディアをセットする」(P. 51)</li> <li>メディア幅センサーを清掃してください。☞「メディアセンサーの清掃」(P. 103)</li> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> </ol>
519	ERROR 519 ファツセンサーイジョウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>負圧センサーの自動認識に失敗した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
525	ERROR 525 イオナイザーイジョウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>イオナイザーの内部回路が破損したか、異常放電が発生している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
526	ERROR 526 イオナイザーイオンレ ベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>電極針の汚れや摩耗によって、イオン発生量が低下している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イオナイザー取扱説明書を参照して、電極針を清掃してください。</li> </ul>

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
			<ul style="list-style-type: none"> <li>症状が改善しない場合、該当の除電針を交換してください。</li> </ul>
527	ERROR 529 イオナイザーコンディション	<ul style="list-style-type: none"> <li>周囲の金属によってイオンが吸収されるなど、設置環境の不安定さから除電能力に影響が出ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イオナイザーの近くに導体や別の除電器がある場合は、導体や除電器を遠ざけてください。</li> </ul>
528	ERROR 528 ポンプモーター センサ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポンプセンサー検出に異常を検出した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
549	LEnc. Count DIO	<ul style="list-style-type: none"> <li>DIO基板へのリニアスケール配線に異常を検出した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
551	HDC DIO LENC count	<ul style="list-style-type: none"> <li>HDC基板とDIO基板のエンコーダー値に異常を検出した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
608	ERROR 608 インクICイジョウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>インクICチップの情報にエラーが発生した。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。</li> <li>新しいインクに交換してください。☞「インクを交換する」(P. 42)</li> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ol>
61A	ERROR 61A インクオーバーフロー	<ul style="list-style-type: none"> <li>サブタンクのフロートセンサーがLimitを検出した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[メンテナンス]&gt;[オーバーフローメンテ]を実施してください。</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
61B	ERROR 61B インクキョウキュウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>サブタンクへのインク供給に失敗した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
61d	ERROR 61D フアツイジフソク	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正範囲の負圧を維持できなくなった。(プラス側)</li> </ul>	
61e	ERROR 61E フアツイジオーバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正範囲の負圧を維持できなくなった。(マイナス側)</li> </ul>	
620	ERROR 620 セイアツイジフソク	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正範囲の正圧を維持できなくなった。(マイナス側)</li> </ul>	

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
621	ERROR 61A セイアツイジオーバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正範囲の正圧を維持できなくなった。(プラス側)</li> </ul>	
650	ERROR 650 NCUセツソクイジョウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>NCUの接続に異常を検出した。</li> <li>ノズルチェック機能が使用できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
651	ERROR 651 NCUコウカン	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノズル詰まり判定に異常を検出した。</li> <li>ノズルチェック機能が使用できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NCUの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
652	ERROR 652 NCUケンシュツエラー (HW)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノズル詰まり判定に異常を検出した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NCUを清掃してください。☞「NCUの清掃」(P. 99)</li> </ul>
653	ERROR 653 NCUケンシュツエラー (マーク)		
654	ERROR 654 NCUセンターイチケン シュツエラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>吐出位置の調整に失敗した。</li> </ul>	
655	ERROR 655 NCUトシュツイチケン シュツエラー		
656	ERROR 656 NCU SNチョウセイエ ラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>センサー感度調整に失敗した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NCUを清掃してください。☞「NCUの清掃」(P. 99)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
657	ERROR 657 NCU インクキュウシュ ウザイコウカン	<ul style="list-style-type: none"> <li>NCUのインク吸収材が満杯になった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NCUのインク吸収材交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
658	ERROR 658 NCU センサーカンドテ イカ	<ul style="list-style-type: none"> <li>センサー感度が低下している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NCUを清掃してください。☞「NCUの清掃」(P. 99)</li> <li>エラーが解消されない場合、NCUの交換をお勧めします。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
65b	ERROR 65b NCUカンドチョウセイ エラーH	<ul style="list-style-type: none"> <li>センサー感度調整に失敗した。</li> </ul>	
65c	ERROR 65c NCUカンドチョウセイ エラーL		
715	ERROR 715 インクヒーターサーミ スタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>インクヒーターのサーミスタに異常を検出した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
716	ERROR 716 インクヒーターオンド		
717	ERROR 717		

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
	インクヒーターダンセン		
901	ERROR 901 ジッコウデキマセン	<ul style="list-style-type: none"> <li>何らかのエラーにより機能が実行できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーの内容を確認してください。</li> </ul>
902	ERROR 902ミサクズ データアリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリントデータを受信した状態では実行することができない操作を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データクリアを実行して、プリントを中止します。</li> </ul>
90d	ERROR 90d ヘッドセンタクナシ	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリントヘッドに異常を検出した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
90f	ERROR 90f プリントエリアフソク	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリント領域が不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディア幅が広い、もしくはメディア長さが十分なメディアに交換してください。</li> <li>原点移動により、プリントできる領域が狭くなっている場合は、原点を移動してプリントできる領域を広げてください。</li> </ul>
B0A	ERROR B0A CTC PCB Vpow	<ul style="list-style-type: none"> <li>CTC基板の電源電圧に異常を検出した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
B0B	ERROR B0B CTC PCB V24		
B0C	ERROR B0C CTC PCB V5R0		
B0D	ERROR B0D CTC PCB V3R3		
B0E	ERROR B0E CTC PCB V2R5		
B0F	ERROR B0F DIO PCB Uvpow	<ul style="list-style-type: none"> <li>UV-DRV基板の電源電圧に異常を検出した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>
B19	ERROR B19 Station4 PCB V36	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステーションIV基板の電源に異常を検出した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」(P. 34)</li> <li>再度表示する場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。</li> </ul>

**SYSTEM HALT**

エラー番号	メッセージ	対処方法
406	WIPER ORG	<ol style="list-style-type: none"><li>ワイパーとワイパー周辺を清掃してください。 ☞ 「ワイパーの清掃」 (P. 95)</li><li>主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。 ☞ 「電源を切る」 (P. 34)</li></ol>



- その他のSYSTEM HALT番号が表示された場合は、主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞ 「電源を切る」 (P. 34)

## 第6章 付録



この章では...  
本機の仕様など説明しています。

## 6.1 仕様

項目		UJV300DTF-75	
プリントヘッド	方式	オンデマンドピエゾヘッド	
	仕様	ヘッド（4列）を2つ搭載（インライン配列）	
	解像度	Y：300dpi、600dpi、1,200dpi X：600dpi、900dpi、1,200dpi	
インクセット	4-color、W、CL	C、M、Y、K、W、CL	
メディア	種類	UV DTFメディア	
	最大プリント幅	620mm	
		最大幅	650mm <sup>*1</sup>
		最小幅	210mm
		厚さ	1.0mm以下
	ロール	ロール外径 <sup>*2</sup>	ø250mm以下（紙メディア）、ø210mm以下（その他）
		ロール重量 <sup>*2、*3</sup>	45kg以下
		紙管内径 <sup>*4</sup>	2インチ、または3インチ
		プリント面	外面、内面
		巻き終り処理	紙管にテープ止め、または弱粘着
プリントマージン	左右	15.0mm（デフォルト値）、最小値：左右 15mm	
	前端	120mm	
	後端	150mm	
距離精度 <sup>*5</sup>	絶対精度	±0.3mm、または指定距離の±0.3%の大きい方	
	再現性	±0.2mm、または指定距離の±0.1%の大きい方	
直角度		±0.5mm/1,000mm	
メディアスキュー		5mm以下/10m	
プリントギャップ		手動3段階（2.0、2.5、3.0mm）	
原点位置合わせ		LEDポインター式	
インク供給		インクボトル	
メンテナンス液供給		なし	
廃インクタンク		ボトル式（2,000ml）	
巻き取りユニット		内巻き、外巻き 切り替え可能	
離型紙ユニット		内巻き、外巻き 切り替え可能	
メディアヒーター		POST	
NCU（ノズル詰まり検出）		搭載	
UV装置		空冷LED UV照射装置2基	
画像展開メモリー		SD-RAM：2GB	

項目		UJV300DTF-75
インターフェイス	データ転送機能	USB 2.0 Hi-speed、Ethernet 1,000BASE-T
コマンド		MRL-V
言語		日本語、英語、中国語、トルコ語、ポルトガル語
騒音	待機時	55dB以下（FAST-A、前後左右1m）
	連続動作時	65dB以下
	不連続動作時	70dB以下
適合規格		VCCI-classA、FCC-classA、IEC62368-1 準拠ETL、CE マーキング（EMC 指令、低電圧指令、機械指令、RoHS指令）、CB 認証、REACH、EnergyStar、RCM、KC
電源仕様 <sup>*6</sup>		単相AC100-120V±10%/12A、単相AC200-240V±10%/6A、50/60±1Hz
消費電力	標準	600W
	最大	1,440W
	最小	-
設置環境 <sup>*7</sup>	使用可能温度	20 - 30°C
	相対湿度	35 - 65%Rh（結露なきこと）
	精度保証温度	20 - 25°C
	転写保証温度	20 - 25°C
	温度勾配	±10°C/h 以下
	粉塵	0.15mg/m <sup>3</sup> （オフィス相当）
	動作最高高度	2,000m
外形寸法 <sup>*8</sup>	幅	2,090 mm（2,380 mm）
	奥行き	930 mm（1,150 mm）
	高さ <sup>*インクボトル除く</sup>	1,475 mm（1,054 mm）
重量 <sup>*8</sup>		180 kg（250 kg）

\*1. Bフィルム（アプリケーションフィルム）が2インチ紙管の場合、640mm

\*2. メディア巻き取り後の外径および重量

\*3. 重量によるたわみがない範囲

\*4. 高速プリント時は3インチのみ

\*5. メディアの伸縮、セット初期蛇行は除く

\*6. オプション類除く

\*7. 範囲外の環境ではインク吐出安定性が低下する

\*8. ( ) 内は、梱包時のサイズ

## 6.2 LICENSE Library (EPL5 StarterWare)

Mimaki printer Firmware

Copyright ©2020 MIMAKI ENGINEERING CO.,LTD. All rights reserved.

This product contain open source software listed in the tables below.

Component	License
StarterWare for ARM® based TI Sitara Processors	BSD-TI

The following license terms and conditions shall apply to the open source software listed in the table above:

BSD-TI

Copyright (C) 2010 Texas Instruments Incorporated - <http://www.ti.com/>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Texas Instruments Incorporated nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## 索引

アイコン	
圧着ローラー発泡材 .....	93
A	
ACインレット .....	23
E	
[END/POWER]キー .....	27, 28, 33, 34
[ENTER]キー .....	28
F	
[FUNCTION]キー .....	28, 30
J	
[JOG]キー .....	28
L	
LANケーブル .....	35
LANポート .....	23
M	
MAPS .....	82
Mimakiドライバー .....	38
MRA (Mimaki Remote Access) .....	87
N	
NCU .....	24, 93, 99
P	
PINコード .....	87
R	
RasterLink .....	38, 39, 40, 74, 75, 81
S	
[SEL]キー .....	28
SYSTEM HALT .....	28
U	
USBインターフェイスクーブル .....	35
USBポート .....	23

UV-LEDランプ.....	93, 100, 135
UV光量調整.....	82
UVモード.....	82
UVランプ.....	89

---

V

---

VCCI.....	6
-----------	---

---

あ

---

圧着フィード.....	86
圧着ローラー.....	22
アプリケーションフィルムユニット.....	22

---

い

---

イオナイザー.....	82
インクICチップスロット.....	22
インクICチップ.....	46, 47
インクエラー.....	29
インクエンド.....	41
インク供給ユニット.....	22, 26, 46
インク交換レポート.....	89
インク残量.....	29
インク充填.....	84
インク状態確認ランプ.....	26
インクステータスランプ.....	22
インクニアエンド.....	41
インクの状態.....	29
インク排出経路.....	93, 102
インクふき取りフィルター.....	22, 23
印刷中チェック.....	88
インストールガイド.....	38, 39, 40
インターロック.....	18
インレット.....	32

---

え

---

エラー履歴.....	89
エラー.....	28, 138

---

お

---

オートクリーニング.....	81
オートパワーオフ.....	86
オートメンテナンス.....	84

オーバーフローメンテ..... 84

---

か

---

確認フィード..... 86

カラープロファイル..... 38

乾燥時間..... 80

---

き

---

キーブザー..... 86

キーライフタイム..... 87

キャッピングステーション..... 22, 24

キャップ吸収材交換..... 114

キャップ吸収材..... 114

キャップ..... 93, 98

キャリッジアウト..... 83

キャリッジの移動..... 28

キャリッジ..... 22, 24, 93, 94, 99

キャンセル..... 28

吸着ファン..... 23, 81

---

く

---

空気抜き..... 84

クランプレバー..... 22, 23

クリーニング後チェック..... 82

繰り出しユニット..... 23

グリットローラー..... 22

グリットローラー..... 25

---

け

---

警告ラベル..... 19

---

こ

---

コンセント..... 32

---

し

---

時刻設定..... 86

自動ノズルリカバリー..... 88

自動リモート..... 87

遮光カバー..... 42

ジャムセンサー..... 93, 104

受信障害..... 6

受信バッファ..... 78

主電源スイッチ .....	23, 27, 33
使用時間 .....	89
使用状況 .....	89
情報メニュー .....	89
シンボルマーク .....	7

---

 す
 

---

スイッチングハブ .....	36
ステーションメンテ .....	83
ステータスランプ .....	28
スムージングレベル .....	82

---

 せ
 

---

設置スペース .....	17
設定メニュー .....	80
センサー感度 .....	139, 146

---

 そ
 

---

操作パネル .....	22, 28
-------------	--------

---

 た
 

---

高さ調整レバー .....	50
単位 / 温度 .....	86
単位 / 長さ .....	86

---

 て
 

---

定期ワイピング .....	82
ディスプレイ .....	28, 29
テストプリント .....	28, 67
電源ケーブル .....	32
電源プラグ .....	32
電波障害自主規制 .....	6

---

 と
 

---

吐出不良 .....	126
ドット位置補正 .....	30, 72, 80
トルクリミッター .....	52

---

 ね
 

---

ネットワーク .....	87
--------------	----

---

 の
 

---

ノズル洗浄 .....	83, 127
-------------	---------

ノズルチェックメニュー .....	88
ノズルリカバリ .....	83
ノットレディモード .....	29

---



---

は

バージョン .....	89
廃インクタンク交換 .....	84, 122
廃インクタンク .....	22, 89, 93, 122
排気ファンBOX .....	93, 117
排気ファンフィルター .....	93, 117
判定条件 .....	88

---



---

ひ

ヒーター .....	81
ピンチローラー .....	22, 25, 118

---



---

ふ

フィード速度 .....	81
フィード補正 .....	30, 70, 80
プラテン .....	22, 25, 93, 105
プリント原点 .....	76
プリント長 .....	89
プリント面積 .....	89

---



---

へ

ヘッドクリーニング .....	28, 69
ヘッド高さ .....	50
ヘッドメンテナンス .....	83

---



---

ほ

保管洗浄 .....	83, 110
ボトルキャップ .....	42, 43, 44, 45
ホワイトインク .....	68
ポンプチューブ洗浄 .....	83, 102

---



---

ま

マージン .....	81
巻取スイッチ .....	86
巻き取りユニット .....	22, 52
巻取ユニット .....	86
マシン設定メニュー .....	86

---



---

み

ミストフィルター.....	93, 101, 116
<hr/> <b>め</b> <hr/>	
メディア押さえ.....	93, 104
メディア検出.....	86
メディア残量.....	86
メディアセンサー.....	23, 26, 93, 103
メディアフィード.....	28
メディア.....	51
メニューモード.....	29
免責事項.....	6
メンテナンスカバー.....	22
メンテナンスメニュー.....	83
<hr/> <b>り</b> <hr/>	
離型紙巻き取りユニット.....	23
リスト.....	89
リファレンスガイド.....	75
リモートコントロール.....	87
リモートモード.....	28, 29
<hr/> <b>ろ</b> <hr/>	
ローカルガイダンス.....	31
ローカルモード.....	28, 29
ロジカルシーク.....	80
<hr/> <b>わ</b> <hr/>	
ワイパー交換.....	83, 113
ワイパー.....	93, 95, 113
ワイピング.....	89

## 取扱説明書

2025年10月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング  
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング  
〒389-0512  
長野県東御市滋野乙2182-3

